

# 目 次

令和2年度(2020年度)富山大学学年暦	1
令和2年度(2020年度)カレンダー	2
はじめに	3
<b>I 富山大学における教養教育について</b>	<b>4</b>
1 富山大学の教育方針	4
(1) デイプロマ・ポリシー	4
(2) カリキュラム・ポリシー	4
(3) アドミッション・ポリシー	4
2 富山大学教養教育カリキュラム・ポリシー	5
(1) 教育課程編成方針	5
(2) 教育課程実施方針	5
(3) 学修内容	5
① 人文科学系	5
② 社会科学系	5
③ 自然科学系	5
④ 理系基盤教育系	5
⑤ 医療・健康科学系	5
⑥ 総合科目系	5
⑦ 外国語系	6
⑧ 保健体育系	6
⑨ 情報処理系	6
(4) 学修方法	6
(5) 学修成果の評価方法	6
<b>II 教養教育における授業の仕組み</b>	<b>7</b>
1 学年・学期・授業時間	7
(1) 学年	7
(2) 学期	7
(3) 授業時間	7
2 教養教育における卒業要件単位	7
3 科目の種類	7
(1) 必修科目	7
(i) 必修科目	7
(ii) クラス指定科目	7
(2) 選択科目	8
(i) 選択必修科目	8
(ii) 選択科目	8
(3) 自由科目	8
(4) 地域志向科目	8
4 単位・成績	9
(1) 単位	9
(2) 成績の評価	9
(3) GPA(グレード・ポイント・アベレージ)	9
5 各学部・学科における卒業要件単位一覧及び令和2年度教養教育開設授業科目一覧	10
(1) 各学部・学科における卒業要件単位一覧	10
(2) 令和2年度教養教育開設授業科目一覧	20
6 シラバス	28
7 ヘルン・システム(富山大学 学務情報システム)	28
8 その他	28
(1) 教員免許取得に必要な教養教育科目	28
<b>III 履修登録</b>	<b>29</b>
1 履修計画	29
2 年次・学期ごとの履修上限単位数(CAP制)	29
3 教養教育科目の履修登録	29
(1) 必修科目・クラス指定科目の履修登録	29
① 英語科目の履修登録	29
② 「健康・スポーツ」科目の履修登録	30
③ 選択必修科目履修登録(医学部医学科及び薬学部のみ対象)	30

④英語以外の外国語（初修外国語）履修登録	31
(i) 初修外国語の履修について	31
(ii) 発展多言語演習の履修について	34
(2) 選択科目の履修登録	35
(3) 集中講義の履修登録	38
(4) 外国人留学生の履修登録	38
4 履修登録の日程	38
5 履修登録の確認・修正	39
6 履修計画の作成	39
(1) 履修計画作成の手順	39
(i) クラス指定科目の確認	39
(ii) 選択科目の検討	39
7 履修登録の方法	40
(1) 履修登録の手順	40
(i) 履修登録	40
(ii) 追加登録	40
<b>IV 履修上の注意</b>	<b>45</b>
1 教室	45
2 出欠管理システム	45
3 欠席等の取扱い	45
(1) 欠席の取扱いについて	45
(2) シャトルバス及び公共交通機関の遅延等に係る取扱いについて	45
4 授業に関する諸連絡（休講・補講・試験等）	45
5 レポートの提出	46
(1) レポート課題について	46
(2) レポート提出について	46
6 「健康・スポーツ/実技」履修上の注意	47
(1) 服装について	47
(2) 「学生教育研究災害傷害保険」の加入について	47
(3) 定期健康診断の受診について	47
<b>V 単位認定</b>	<b>48</b>
1 試験	48
2 不正行為	48
3 追試験	49
4 成績評価の確認	49
(1) 成績評価の確認	49
(2) 成績評価に対する異議申立て	49
5 不可となった科目の取扱い	50
(1) 再履修	50
(2) 再試験	51
6 既修得単位等の認定	51
(1) 入学前の既修得単位の認定	51
(2) 大学以外の教育施設等における学修の認定	51
<b>VI 地域課題解決型人材育成プログラム</b>	<b>53</b>
1 地域課題解決型人材育成プログラム	53
2 プログラムを構成する科目（COC + 科目）群	53
(1) 地域志向科目群	53
(2) 地域課題解決科目群	53
(3) 地域関連科目群	53
<b>VII 教養教育に関する Q&amp;A</b>	<b>54</b>
<b>VIII 関係規則</b>	<b>59</b>
1 富山大学教養教育履修規則	59
2 富山大学教養教育追試験内規	87
3 富山大学教養教育再履修内規	88
4 富山大学教養教育再試験内規	88
共通教育棟マップ	89
教養教育で使用する各学部棟の情報端末室配置図	90
巻末資料（各種担当窓口一覧）	92

## 令和2年度（2020年度） 富山大学学年暦

	五福キャンパス	五福キャンパス 高岡キャンパス	杉谷キャンパス	備 考
	クォーター制	セメスター制	セメスター制	
入学式(4月期)	4/8(水)			
新入生 オリエンテーション	4/2(木), 4/3(金), 4/6(月), 4/7(火)			
前学期授業期間	4/9(木)～6/2(火) 6/10(水)～7/30(木)	4/9(木)～7/30(木) ( 4/1(水)～8/6(木) 8/25(火)～9/30(水) 医学部2,3,4年次のみ )		
補講・試験期間(※)	6/3(水)～6/9(火) 7/31(金)～8/6(木)	7/31(金)～8/6(木)	7/31(金)～8/6(木) 9/1(火)～9/30(水)	
夏季休業期間	8/7(金)～9/30(水)		8/7(金)～8/31(月) ( 8/7(金)～8/24(月) 医学部2,3,4年次のみ )	
学位記授与式(9月期)	9/28(月)			
開学記念日	10/1(木)			入学式(10月期) 10/1(木)
後学期授業期間	10/2(金)～11/20(金) 12/1(火)～12/24(木)	10/2(金)～12/24(木) ( 10/2(金)～12/25(金) 医学部2,3,4年次のみ )		
冬季休業期間	12/25(金)～1/4(月)		( 12/26(土)～1/4(月) 医学部2,3,4年次のみ )	
後学期授業期間	1/5(火)～1/29(金)		( 1/5(火)～3/19(金) 医学部2,3,4年次のみ )	1/15(金)は休講 (大学入学共通テスト準備) 大学入学共通テスト 1/16(土),17(日)
補講・試験期間(※)	11/24(火)～11/30(月) 2/1(月)～2/8(月)	2/1(月)～2/8(月)	2/1(月)～2/15(月)	
春季休業期間	2/9(火)～3/31(水)		2/16(火)～3/31(水) ( 3/20(土)～3/31(水) 医学部2,3,4年次のみ )	一般入試(前期日程) 2/25(木),26(金) (26日は、医学部医学科のみ実施) 一般入試(後期日程) 3/12(金),13(土) (13日は、医学部医学科のみ実施)
学位記授与式(3月期)	3/23(火)			

※ クォーター制の補講・試験期間には授業を含む。

### ◆オープンキャンパス日程

五福キャンパス	8月8日(土)	人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部, 都市デザイン学部
高岡キャンパス	7月18日(土)	芸術文化学部
杉谷キャンパス	8月4日(火)	医学部医学科
	8月5日(水)	医学部看護学科
	7月25日(土)	薬学部(「楽しい薬学部への一日体験入学」(日本薬学会北陸支部共催)として実施予定)

### ◆大学祭日程

五福キャンパス	10月10日(土)～11日(日)
高岡キャンパス	10月17日(土)～18日(日)
杉谷キャンパス	10月24日(土)～25日(日)

(大学祭準備等のため、10/23(金)午後及び10/26(月)午前は休講とし、休講分は別途指示し補講を実施する。(杉谷キャンパスのみ))

# [セメスター制]

## 令和2年度(2020年度)五福・高岡キャンパスカレンダー

学期・月	日	月	火	水	木	金	土	
前学期	4			1	2	3	4	
		5	6	7	8	① 9	① 10	11
		12	① 13	① 14	① 15	② 16	② 17	18
		19	② 20	② 21	② 22	③ 23	③ 24	25
		26	③ 27	③ 28	29	④ 30		
	5					水③ 1	2	
		3	4	5	6	水④ 7	④ 8	9
		10	④ 11	④ 12	⑤ 13	⑤ 14	⑤ 15	16
		17	⑤ 18	⑤ 19	⑥ 20	⑥ 21	⑥ 22	23
		24	⑥ 25	⑥ 26	⑦ 27	⑦ 28	⑦ 29	30
		31						
	6		⑦ 1	⑦ 2	⑧ 3	⑧ 4	⑧ 5	6
		7	⑧ 8	⑧ 9	⑨ 10	⑨ 11	⑨ 12	13
		14	⑨ 15	⑨ 16	⑩ 17	⑩ 18	⑩ 19	20
		21	⑩ 22	⑩ 23	⑪ 24	⑪ 25	⑪ 26	27
		28	⑪ 29	⑪ 30				
	7				⑫ 1	⑫ 2	⑫ 3	4
		5	⑫ 6	⑫ 7	⑬ 8	⑬ 9	⑬ 10	11
		12	⑬ 13	⑬ 14	⑭ 15	⑭ 16	⑭ 17	18
		19	⑭ 20	⑭ 21	金⑮ 22	23	24	25
26		⑮ 27	⑮ 28	⑮ 29	⑮ 30	⑯ 31		
8							1	
	2	⑯ 3	⑯ 4	⑯ 5	⑯ 6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
30	31							
9			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				

学期・月	日	月	火	水	木	金	土	
後学期	10				① 1	① 2	3	
		4	① 5	① 6	① 7	① 8	② 9	10
		11	② 12	② 13	② 14	② 15	③ 16	17
		18	③ 19	③ 20	③ 21	③ 22	④ 23	24
		25	④ 26	④ 27	④ 28	④ 29	⑤ 30	31
	11	1	⑤ 2	3	⑤ 4	⑤ 5	火⑤ 6	7
		8	⑥ 9	⑥ 10	⑥ 11	⑥ 12	⑥ 13	14
		15	⑦ 16	⑦ 17	⑦ 18	⑦ 19	⑦ 20	21
		22	⑧ 23	⑧ 24	⑧ 25	⑧ 26	⑧ 27	28
		29	⑧ 30					
	12				⑨ 1	⑨ 2	⑨ 3	4
		6	⑨ 7	⑩ 8	⑩ 9	⑩ 10	⑩ 11	12
		13	⑩ 14	⑪ 15	⑪ 16	⑪ 17	⑪ 18	19
		20	⑪ 21	⑫ 22	⑫ 23	⑫ 24	25	26
		27	28	29	30	31		
	1						1	2
		3	4	月⑫ 5	⑬ 6	⑬ 7	⑫ 8	9
		10	11	⑬ 12	月⑬ 13	金⑬ 14	⑬ 15	16
		17	⑭ 18	⑭ 19	⑭ 20	⑭ 21	⑭ 22	23
		24	⑮ 25	⑮ 26	⑮ 27	⑮ 28	⑮ 29	30
31								
2		⑯ 1	⑯ 2	⑯ 3	⑯ 4	⑯ 5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28							
3		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				

5月1日, 7日は水曜日の授業を行う。  
7月22日は金曜日の授業を行う。

11月6日は火曜日の授業を行う。  
1月5日, 13日は月曜日の授業を行う。  
1月14日は金曜日の授業を行う。

授業期間  
補講・試験  
夏季一斉休業

履修登録等関連日程	
4月6日	教養教育事前履修登録期間
4月10日	教養教育履修科目確定・通知日 (4/11:教科書【教養教育科目】販売予定)
4月10日~15日	学部等履修登録期間
4月16日~28日	履修修正・取消期間
9月1日	成績開示 (9月卒業・修了予定者は、別途指定する場合があります)

履修登録等関連日程	
9月2日~11日	教養教育事前履修登録期間
9月24日	教養教育履修科目確定・通知日
10月1日~8日	学部等履修登録期間
10月9日~22日	履修修正・取消期間
2月18日	成績開示[最高学年]
3月12日	成績開示[最高学年以外]

行事	
4月3日	教養教育オリエンテーション
4月6日	教養教育事前履修登録
4月6, 7日	新入生オリエンテーション
4月8日	入学式

行事	
1月16日~17日	大学入学共通テスト
2月25日	一般選抜(前期日程)
3月12日	一般選抜(後期日程)
3月23日	学位記授与式

△:開学記念日  
◇:大学入学共通テスト準備のため1日休講

# はじめに

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。富山大学は平成30年度から「都市デザイン学部」を新設し、9学部になりました。また、全ての学修の基礎となる「教養教育」を9学部全ての学生を対象に五福キャンパスで実施しています。

これから皆さんは、この富山大学において様々な知識・技術を修得するために、多くの専門教育を学ぶとともに、学問のすそ野を広げ、豊かな人間性と創造的問題解決能力を養うため、全学部共通の「教養教育」を学ぶことになります。

大学では、高等学校等とは違い、授業時間割の作成や履修登録、卒業に必要な単位の確認等、様々なことを全て自分の責任で行わなければなりません。この教養教育ガイドは、そのために必要な教養教育に関する様々な情報がまとめられています。本学の教養教育を有意義に学べるよう、授業開始までに内容を熟読し、卒業までの間、十分に活用してください。

なお、本ガイドを読んで不明な点や疑問に思う点があれば、学務課教養教育支援室又は所属学部の教務担当窓口（P. 92「巻末資料 各種担当窓口一覧」参照）を訪ねてください。

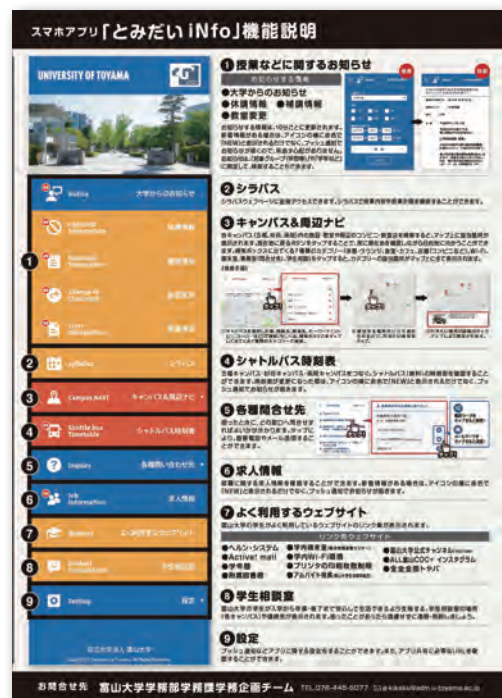
また、本学では、教養教育に関する情報発信として、教養教育院ウェブサイトを公開しているほか、在学者を対象としたスマートフォン用アプリケーション「とみだい iNfo」により情報を公開しています。スマートフォン用アプリケーションでは、キャンパス内や周辺のナビゲーション等様々な機能を利用できますので、併せて活用してください。

教養教育院ウェブサイト

URL <http://www.las.u-toyama.ac.jp>



とみだい iNfo (Android 版) (iPhone 版)





# I 富山大学における教養教育について

## 1 富山大学の教育方針

### (1) ディプロマ・ポリシー

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に、高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的發展に寄与することを理念としている。

本学では、この理念に基づいて、幅広い知識や深い専門的学識を持ち、問題提起し解決する能力、組織や社会の一員として貢献する能力、他者と意思を疎通するコミュニケーション能力、新しいものやことを創造する能力、地域を志向する意識を身に付け、各学部が示す学修成果を上げた者に学士の学位を授与する。なお、その身に付ける能力を以下のとおり示す。

#### ○幅広い知識

自然・社会・文化・人間について幅広く普遍的な知識を持ち続け、自立した市民として社会生活に活かす能力を身に付けている。

#### ○専門的学識

それぞれの専門性に応じた深い知識を持ち、活用する能力を身に付けている。

#### ○問題発見・解決力

自ら問題を発見し、情報や知識を複眼的、理論的に分析して問題を解決するとともに、新たに様々なものやことなどを創り出す能力を身に付けている。

#### ○社会貢献力

組織や社会の一員として自らの役割を認識し、責任を持って自己を管理するとともに、倫理観と使命感を持って自ら行動し、地域と国際社会に貢献する能力を身に付けている。

#### ○コミュニケーション能力

他者の考えを理解し、自らも情報発信する能力を身に付けている。また、適切な手段や言語を使い、多様な人々との意思疎通と協働を可能にする能力を身に付けている。

### (2) カリキュラム・ポリシー

富山大学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した5項目の能力について、体系的な教育課程を編成する。授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことができるものとする。その評価は各能力における学修成果の到達目標に対する達成度について、客観的な成績評価基準に基づいて行う。

### (3) アドミッション・ポリシー

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

## 2 富山大学教養教育カリキュラム・ポリシー

教養教育院は、地域社会及び国際社会において活躍できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材の育成を目指し、学修の基礎となる幅広い知性・知恵・実践的能力の形成と市民的公共性・社会的公共性・本源的公共性を身に付けるための全学共通の教養教育を次のとおり編成し、教養教育の評価基準に基づき、学修成果を評価する。

### (1) 教育課程編成方針

中等教育との連続性に配慮し、教育課程を体系的に編成するとともに、次に掲げる系に様々な授業科目を設け、多様な能力を養う全学共通の授業科目で編成する。

なお、教養教育は一部の授業科目を除き、五福キャンパスで開講し、全学生に多彩な選択肢を提供する。

### (2) 教育課程実施方針

教養教育では、学修の基礎となる幅広い知識を身に付けるため、次に掲げる系に様々な授業科目を設け、講義、演習、アクティブ・ラーニング等を取り入れた学生参加型授業、フィールドワーク、実験・実習等により、幅広い知性・知恵・実践的能力の形成を全学共通で実施する。

### (3) 学修内容

#### ①人文科学系

人文科学全般に及ぶ幅広い知識と教養を修得し、様々な立場や分野の人々と協同し対話できる力、総合的に考える力及び自己表現力を身に付ける。

#### ②社会科学系

様々な社会事象において、経済・経営・法などが相互に密接に関連している現実に鑑みて、経済学、経営学及び法学を中心とした社会科学全般の基礎的な知識、地域及び世界を適切に理解する能力を身に付ける。

#### ③自然科学系

自然現象や科学技術を理解するための基礎となる、知識と論理的思考法を学び、様々な分野の人々と協同し、対話できる力、総合的に考える力を身に付ける。

#### ④理系基盤教育系

理系専門分野の基盤となる、実践的な自然科学の基礎専門知識を身に付ける。

#### ⑤医療・健康科学系

生命、特に人体の働きに関する様々な知識を学修することにより、心も身体も健やかな社会生活を送るための基礎となる、医学的・社会的知識及び医療に関する最新の科学的素養を身に付け、個人のみならず、広く人類の健康・保健に寄与できる力を育む。

#### ⑥総合科目系

地域社会、国際社会及び学際における現代の諸課題に対し、既存の学問分野の枠組みを超えて学び、課題解決に向けて考える力、多角的なものの見方、思考態度を総合的に身に付ける。

#### ⑦外国語系

文化・習慣・言語を異にする他者と協働するため、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を身に付ける。また、英語以外の言語の基礎を学ぶことを通じて、国際的な行動力の幅を広げるとともに、世界の多様性の認識、異文化の理解を深める。

#### ⑧保健体育系

健康及びスポーツについての理論を学び、運動・スポーツの合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたってのスポーツライフを楽しむ資質や能力を育む。

また、健康の保持増進のための実践力を育成し、体力の向上を図る。

#### ⑨情報処理系

文書作成，データ処理，プレゼンテーションなど基本的な情報リテラシーに加え，情報倫理，情報セキュリティに関する知識と技術を身に付ける。

### (4) 学修方法

学生は、教養教育が提供する多様な授業科目から、主体的・能動的に授業科目を選択することで、幅広い分野の知識を身に付ける。さらに、アクティブ・ラーニング等を取り入れた学生参加型授業やICT機器を活用した授業、少人数授業等により、理解度を向上させる。

### (5) 学修成果の評価方法

- ①成績評価の基準・方法について、あらかじめシラバス等で詳細に公表する。
- ②単一の観点でなく、科目の性格に応じた複数の観点から、学修到達度を総合的に評価する。



## Ⅱ 教養教育における授業の仕組み

### 1 学年・学期・授業時間

#### (1) 学年

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。

#### (2) 学期

教養教育では、1学年を2分割する2学期制で実施し、それぞれを前学期（4月1日～9月30日）と後学期（10月1日～翌年3月31日）とします。両学期とも8週又は15週の授業を行います。

#### (3) 授業時間

授業は1回の授業時間（1時限）当たり90分で行います。時限ごとの授業時刻は次のとおりです。

時 限	時 間
1時限	8：45～10：15
2時限	10：30～12：00
3時限	13：00～14：30
4時限	14：45～16：15
5時限	16：30～18：00
6時限	18：10～19：40

### 2 教養教育における卒業要件単位

富山大学を卒業するには、「富山大学教養教育履修規則」（P.59）第6条の規定により、学部・学科ごとに定められた卒業要件単位を修得しなければなりません。単に修得単位の合計数が卒業要件単位を超えていればよいというものではなく、「地域志向科目の単位は修得しているか」、「各系の選択科目の必要単位は修得しているか」など、自身が所属する学部・学科の卒業要件を十分に確認してください。

学部・学科における卒業要件単位一覧及び令和2年度教養教育開設授業科目一覧については、P.10～P.27「Ⅱ-5 各学部・学科における卒業要件単位一覧及び令和2年度教養教育開設授業科目一覧」に掲載しています。

### 3 科目の種類

科目には、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」の3種類があります。「必修科目」、「選択科目」については、学部や学科、専攻（コース）ごとに卒業に必要な単位数を定めています。その他、全学部の学生が「地域志向科目」を修得しなければなりません。

#### (1) 必修科目

##### (i) 必修科目

教養教育の授業科目（以下、「教養教育科目」という）には、卒業要件として必ず単位を修得しなければならない「必修科目」があります。学部・学科によって「必修科目」の指定は異なりますので、自身が所属する学部・学科が「必修科目」に指定している教養教育科目を確認し、必ず単位を修得してください。

##### (ii) クラス指定科目

教養教育科目のうち、「英語リテラシーⅠ、Ⅱ」、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」、「健康・スポー

ツ/実技」及び「情報処理」は、学籍番号によって履修するクラスをあらかじめ指定しています。新入生オリエンテーション時に「履修登録確認表」を配布しますので、自身が指定されたクラスが開講される曜日・時限を確認し、履修するクラスを間違えないよう注意してください。

なお、前学期開講の英語リテラシーⅠにおいて、「気候変動」、「環境」をテーマとした英語科目を火曜1限に開講します。英語リテラシーⅠの指定クラスが火曜1限の入学生からクラス変更希望を受け付けます。詳細については、入学後のオリエンテーションで説明します。当該クラスへの変更を希望する入学生は、説明を受けた上で、4月3日（金）までにクラス変更の申し込みを教養教育支援室で行ってください。

## (2) 選択科目

### (i) 選択必修科目

「選択必修科目」とは、特定の教養教育科目の組合せの中から、いずれかの科目を履修し、定められた単位数を必ず修得しなければならない科目を示します。学部・学科ごとに「選択必修科目」が定められていますので、自身の学部・学科の「選択必修科目」を確認し、必ず単位を修得してください。

### (ii) 選択科目

「選択科目」とは、必修科目及び選択必修科目を除き、複数の教養教育科目の中から、履修を希望する科目を学生が自由に選択できる科目を示します。自身の学部・学科の卒業要件単位を確認し、修得単位数が不足しないよう注意して科目を選択してください。

卒業要件単位数を超えて教養教育科目を履修し、単位を修得した場合には自由単位として単位を認定します。この場合、修得した単位は卒業要件単位として算入しませんので注意してください。

## (3) 自由科目

「自由科目」とは、単位は修得できますが、卒業要件単位には算入しない科目を指します。「自由科目」として履修可能な教養教育科目は学部・学科ごとに定められています。

## (4) 地域志向科目

「地域志向科目」とは、地域課題解決型人材育成プログラムに関して、富山県に関する基礎的な要素を含む富山の歴史・経済・自然に係る教養教育科目を指します。教養教育科目における「地域志向科目」は、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系、総合科目系の一部科目が該当します。全学部において、1科目2単位（ただし、都市デザイン学部は2科目4単位）以上を修得する必要があります。

### 教養教育科目における地域志向科目一覧

系	教養教育科目名
人文科学系	日本の歴史と社会、言語と文化
社会科学系	現代社会論、地域の経済と社会・文化
自然科学系	地球と環境
医療・健康科学系	医療と地域社会
総合科目系	環境、現代文化、人権と福祉、環日本海、アカデミック・デザイン、ビジネス思考、万葉学、日本海学、富山大学学、とやま地域学、災害救援ボランティア論、富山学、地域ライフプラン、産業観光学、富山のものづくり概論、富山の地域づくり

## 4 単位・成績

### (1) 単位

1単位は、大学で授業を行う時間及び学生が事前学修及び事後学修を行う時間の合計45時間をもって構成されます。授業の種類・方法ごとの学修時間等は以下のとおりです。2単位の講義科目の場合、授業時間30時間、授業時間外の学修時間60時間、計90時間をもって2単位修得することとなります。

#### 授業の種類・方法

授業の種類・方法	大学での授業時間	授業時間外の学修時間
講義, 演習	15～30時間	30～15時間
実験, 実習, 実技	30～45時間	15～0時間

### (2) 成績の評価

成績の評価は、原則として、1学期8週又は15週の授業を履修した後、授業担当教員が授業における学修態度、レポートや試験等に基づき総合的に判定を行います。成績は100点を満点として、90点以上を「秀」、80点以上90点未満を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、60点未満を「不可」とします。このうち、「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とします。合格した科目には単位が与えられます。

### (3) GPA (グレード・ポイント・アベレージ)

富山大学では、GPA制度（GPA：履修科目の成績の平均値）を導入しています。

成績評価を下表のGP（グレード・ポイント）の数値に換算し、学期GPA、学年GPA及び累積GPAを算出します。このうち、学年GPAと累積GPAを各学年の成績通知書に記載します。各GPAの算出方法は以下のとおりです。

$$(i) \text{ 学期GPA} = \frac{(\text{当該学期の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{当該学期の履修科目総単位数}}$$

$$(ii) \text{ 学年GPA} = \frac{(\text{当該学年の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{当該学年の履修科目総単位数}}$$

$$(iii) \text{ 累積GPA} = \frac{(\text{在学期間中の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{在学期間中の履修科目総単位数}}$$

※履修登録科目の確認を怠り、履修しない授業科目が履修登録されている場合や、履修取消の手続きを行わず受講しなかった場合の成績は「不可」となり、GPAに算入されるので注意すること。

評点に対する評価及びGPの対応表

評点	評価	GP
90点以上	秀	4
80点以上90点未満	優	3
70点以上80点未満	良	2
60点以上70点未満	可	1
60点未満	不可	0

## 5 各学部・学科における卒業要件単位一覧及び 令和2年度教養教育開設授業科目一覧

### (1) 各学部・学科における卒業要件単位一覧

#### (i) 人文学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	2単位以上	地域志向科目を1科目 2単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	2単位以上	
自然科学系	—	4単位以上	
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4単位以上	
外国語系	4単位	4単位	英語以外の外国語は同一言語のみで4単位選択必修
保健体育系	2単位	—	
情報処理系	2単位		
計	8単位	16単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として16単位を超えて修得した単位は、16単位まで卒業要件単位として算入する。

ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 人文科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ② 社会科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ③ 自然科学系及び医療・健康科学系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ④ 総合科目系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ⑤ 外国語系で4単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ⑥ 情報処理系で修得した単位は2単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(ii) 人間発達科学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	10 単位以上 ただし、人文科学系から 2 単位以上、社会科学系から 2 単位以上、自然科学系から 2 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	2 単位以上	
外国語系	4 単位	2 単位以上	英語以外の外国語は同一言語のみで 2 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	14 単位以上	
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 14 単位を超えて修得した単位は、医療・健康科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>			



(iii) 経済学部 (昼間主コース)

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位以上	} 2 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—			
自然科学系	—	} 4 単位以上		
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	2 単位以上		
外国語系	4 単位	4 単位		英語以外の外国語は同一言語のみで 4 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—		
情報処理系	2 単位			
計	8 単位	16 単位以上		

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 16 単位を超えて修得した単位は、社会科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(iv) 理学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	6 単位	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。 (自然科学系は含まない。)
社会科学系	—	6 単位	
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—	} 6 単位以上	
総合科目系	—		
外国語系	4 単位	2 単位以上	英語以外の外国語は同 一言語のみで 2 単位選 択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	20 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 20 単位を超えて修得した単位は、12 単位まで卒業要件単位として算入する。

ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 人文科学系，社会科学系でそれぞれ 6 単位を超えて修得した単位及び自然科学系で取得した単位は、合計 4 単位まで。
- ② 医療・健康科学系及び総合科目系で 6 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。
- ③ 外国語系で 2 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。
- ④ 情報処理系で修得した単位は 2 単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(v) 医学部医学科

	必修科目	選択科目			
人文科学系	—	} 6 単位	} 理系基盤教育系, 医療・健康科学系及び保健体育系から2単位以上を含め4単位	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)	
社会科学系	—				
理系基盤教育系	11 単位	次の組み合わせから各2単位, 計6単位 ①「解析学-A」と「解析学-B」 ②「物理学I-A」と「物理学I-B」 ③「物理学II-A」と「物理学II-B」			
医療・健康科学系	1 単位				
総合科目系	—				
外国語系	4 単位	2 単位			英語以外の外国語は同一言語のみで2単位選択必修
保健体育系	1 単位				
情報処理系	2 単位	—			
計	19 単位	18 単位			

(vi) 医学部看護学科

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	} 6 単位	} 5 単位 <sup>**2</sup>	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—			
自然科学系	—	} 4 単位		
理系基盤教育系	4 単位 <sup>**1</sup>			
医療・健康科学系	—	4 単位		
総合科目系	—			
外国語系	4 単位			
保健体育系	—	1 単位		
情報処理系	2 単位			
計	10 単位 <sup>**3</sup>	20 単位 <sup>**4</sup>		

※3 年次編入学生については、次のとおりとする。

※1 : 「—」, ※2 : 「9 単位」, ※3 : 「6 単位」, ※4 : 「24 単位」

## (vii) 薬学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位	4 単位
社会科学系	—	4 単位	
理系基盤教育系	9 単位	次の組み合わせから各 2 単位, 計 6 単位 ①「解析学 - A」と「解析学 - B」 ②「物理学 I - A」と「物理学 I - B」 ③「物理学 II - A」と「物理学 II - B」	
医療・健康科学系	—	2 単位	
総合科目系	—		
外国語系	—	次の組み合わせから各 1 単位以上修得し, 計 6 単位修得 ①「英語リテラシー I - C」と「英語リテラシー II - C」 ②「英語コミュニケーション I - C」と「英語コミュニケーション II - C」	
保健体育系	1 単位		
情報処理系	2 単位	—	
計	12 単位	26 単位	



## (vii) 工学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	12 単位以上 ただし、人文科学系 4 単位以上、社会科学系 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—		
自然科学系	—		
理系基盤教育系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位	
外国語系	4 単位		外国人留学生は「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」、「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」を必修とする。
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、人文科学系及び社会科学系で合計 12 単位を超えて修得した単位、自然科学系、理系基盤教育科目並びに医療・健康科学系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。

ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 総合科目系で 4 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。
- ② 外国語系で 4 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。
- ③ 保健体育系で 1 単位を超えて修得した単位は 1 単位まで。
- ④ 情報処理系で 2 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(ix) 芸術文化学部

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位	} 3 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位		
自然科学系	—	} 4 単位		
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	4 単位		
外国語系	4 単位	2 単位		外国人留学生は外国語系科目全てを選択科目とし、当該留学生にとっての外国語科目の中から 6 単位以上
理系基盤教育系	—			
保健体育系	1 単位			
情報処理系	2 単位	—		
計	7 単位	21 単位以上		
卒業要件単位として算入する単位の上限 1. 選択科目として 21 単位を超えて修得した単位は、10 単位まで卒業要件単位として算入する。 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。				

(x) 都市デザイン学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	16 単位以上 ただし、人文科学系から 4 単位以上、社会科学系から 4 単位以上、総合科目系から 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 2 科目 4 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、外国語系並びに情報処理系で修得した選択科目を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>			

(2) 令和2年度教養教育開設授業科目一覧

(i) 人文科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考	
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
哲学のすすめ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人間と倫理	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
こころの科学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
現代と教育	2		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本の歴史と社会	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東洋の歴史と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
西洋の歴史と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本文学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外国文学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
言語と文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
音楽	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
美術	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
言語表現	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
治療の文化史	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
異文化間コミュニケーション	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
異文化理解 <sup>※1</sup>	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

※1. 「異文化理解」は外国人留学生のみ履修可能

## (ii) 社会科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考	
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
現代社会論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本国憲法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国家と市民	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
経済生活と法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市民生活と法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
はじめての経済学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
産業と経済を学ぶ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
経営資源のとらえ方	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市場と企業の関係	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域の経済と社会・文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可

## (iii) 自然科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考	
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
地球と環境	2	*	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
生命の世界	2		○	○	○	○	△	－	△	○	○	○	○	
物理の世界	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
化学物質の世界	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
自然と情報の数理	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
社会と情報の数理	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
技術の世界	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
材料の科学	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
生活の科学	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
コンピュータの話	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	
デザインと生物	2		○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可



## (iv) 理系基盤教育系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考
			人 文 学 部	人 間 発 達 科学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イン 学 部	
解析学 - A	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	選 択 必 修
解析学 - B	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	
微分積分 I - A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
微分積分 I - B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
微分積分 I - C	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●	
微分積分 I - D	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●	
微分積分 I - E	2		-	-	-	-	-	-	△	-	○	●	
線形代数学	2		-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	
線形代数 I - A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
線形代数 I - B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
線形代数 I - C	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●	
線形代数 I - D	2		-	-	-	-	-	-	△	-	-	●	
線形代数 I - E	2		-	-	-	-	-	-	△	-	○	●	
自然現象のモデル化とその解析	2		-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	
物理学序説 I	2		-	-	-	●	-	-	△	○	-	-	
物理学序説 II	2		-	-	-	●	-	-	△	○	-	-	
物理学 I - A	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	選 択 必 修
物理学 I - B	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	
物理学 II - A	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	選 択 必 修
物理学 II - B	2		-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	
物理学実験 - A	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
物理学実験 - B	1		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
基礎物理学 - A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
基礎物理学 - B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
現代物理学入門	2		-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	
基礎化学 - A	2		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
基礎化学 - B	2		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
生体有機化学	2		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
化学実験 - A	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
化学実験 - B	1		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
基礎化学 - C	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
基礎化学 - D	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
基礎化学 - E	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考
			人 文 学 部	人 間 発 達 科学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
量子化学入門	2		-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	
生命科学Ⅰ-A	2		-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	
生命科学Ⅰ-B	2		-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-	
生命科学Ⅰ-C	2		-	-	-	-	-	◎	-	○	-	-	
生命科学Ⅱ-A	2		-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	
生命科学Ⅱ-B	2		-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-	
生命科学Ⅱ-C	2		-	-	-	-	-	◎	-	○	-	-	
生物学実験-A	1		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
生物学実験-B	1		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
基礎生物学-A	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
基礎生物学-B	2		-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	
生物無機化学入門	2		-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	
生物圏環境科学概論	2		-	-	-	●	-	-	△	○	-	-	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可，●：専門科目として開講

#### (v) 医療・健康科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考
			人 文 学 部	人 間 発 達 科学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
医療心理学	2		○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	
概説医療心理学	1		-	○	-	○	◎	○	○	○	○	○	
認知科学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
脳科学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
生命科学入門	1		-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	
免疫学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
身近な医学	2		○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
障害とアクセシビリティ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
医療と地域社会	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

## (vi) 総合科目系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考	
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
環境	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ジェンダー	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
技術と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
現代文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権と福祉	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
環日本海	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
科学と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アカデミック・デザイン	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ビジネス思考	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平和学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東アジア共同体論 －政治・経済・文化－	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
新聞投稿に挑戦	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山から考える震災・復興学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
環境と安全管理	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
万葉学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本海学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山大学学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
とやま地域学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
時事的問題	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
災害救援ボランティア論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
感性をはぐくむ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本事情／芸術文化 <sup>※1</sup>	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本事情／自然社会 <sup>※1</sup>	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
学士力・人間力基礎	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域ライフプラン	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
産業観光学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山のものづくり概論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山の地域づくり	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可

※1. 「日本事情／芸術文化」及び「日本事情／自然社会」は外国人留学生のみ履修可能とする。

## (vii) 外国語系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
英語リテラシーⅠ-A	1		○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	
英語リテラシーⅠ-B	1		-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
英語リテラシーⅠ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
英語リテラシーⅠ-D	1		-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
英語リテラシーⅠ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
英語リテラシーⅡ-A	1		○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	
英語リテラシーⅡ-B	1		-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
英語リテラシーⅡ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
英語リテラシーⅡ-D	1		-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
英語リテラシーⅡ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
英語コミュニケーションⅠ-A	1		○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	
英語コミュニケーションⅠ-B	1		-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
英語コミュニケーションⅠ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
英語コミュニケーションⅠ-D	1		-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
英語コミュニケーションⅠ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
英語コミュニケーションⅡ-A	1		○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	
英語コミュニケーションⅡ-B	1		-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
英語コミュニケーションⅡ-C	1		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
英語コミュニケーションⅡ-D	1		-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
英語コミュニケーションⅡ-E	1		-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
ドイツ語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝鮮語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考	
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
朝鮮語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝鮮語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝鮮語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語基礎Ⅰ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語基礎Ⅱ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語コミュニケーションⅠ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語コミュニケーションⅡ	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本語リテラシーⅠ <sup>※1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>※2</sup>	○	○	○	
日本語リテラシーⅡ <sup>※1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>※2</sup>	○	○	○	
日本語コミュニケーションⅠ <sup>※1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>※2</sup>	○	○	○	
日本語コミュニケーションⅡ <sup>※1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>※2</sup>	○	○	○	
発展多言語演習ドイツ語	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
発展多言語演習中国語	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
日本語コミュニケーションⅢ <sup>※1</sup>	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
日本語リテラシーⅢ <sup>※1</sup>	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
日本語／専門研究 <sup>※1</sup>	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
日本語／ビジネス <sup>※1</sup>	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可

※1. 日本語科目は外国人留学生のみ履修可能とする。

※2. 工学部に所属する外国人留学生は英語4単位必修に代わり，日本語4単位必修とする。

(viii) 保健体育系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考	
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
健康・スポーツ／講義	1		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	
健康・スポーツ／実技	1		◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可



(ix) 情報処理系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名										備 考
			人 文 学 部	人 間 発 達 科 学 部	経 済 学 部	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
情報処理 - A	2		◎	◎	◎	◎	-	-	-	◎	-	◎	
情報処理 - B	2		-	-	-	-	◎	◎	◎	-	-	-	
情報処理 - C	2		-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	
応用情報処理	2		○	○	○	○	△	○	△	○	-	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

## 6 シラバス

授業科目ごとに、担当教員名や授業計画、成績評価方法、使用する教科書、履修上の注意などを詳しく紹介したものをシラバスと言います。シラバスは富山大学ウェブサイト「富山大学ウェブシラバス」又はヘルン・システムから参照することができます。

自分が履修しようとする教養教育科目のシラバスをよく読み、履修計画を立ててください。

### ◆ 富山大学ウェブシラバス

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>



## 7 ヘルン・システム（富山大学 学務情報システム）

ヘルン・システムとは、富山大学の学生、教職員が利用できるウェブシステムです。

ヘルン・システムでは、履修登録や成績照会を行うだけでなく、休講・補講情報、シラバス、就職関連情報など教養教育に限らず、様々な情報を管理・発信しています。

「ヘルン・システム利用の手引き」に各種作業マニュアルを掲載していますので、内容をよく読んで利用してください。

### ◆ ヘルン・システム

[https://www.u-toyama.ac.jp/student-staff/hearn\\_system.html](https://www.u-toyama.ac.jp/student-staff/hearn_system.html)



## 8 その他

### (1) 教員免許取得に必要な教養教育科目

教員免許取得を希望する学生は、所属する学部を問わず、以下の教養教育科目の単位を修得する必要があります。

#### 教員免許取得に必要な教養教育科目一覧

系	教養教育科目名
社会科学系	日本国憲法
外国語系	英語コミュニケーション I, II ドイツ語コミュニケーション I, II フランス語コミュニケーション I, II 中国語コミュニケーション I, II 朝鮮語コミュニケーション I, II ロシア語コミュニケーション I, II 日本語コミュニケーション I, II (外国人留学生限定)
保健体育系	健康・スポーツ / 実技 健康・スポーツ / 講義
情報処理系	情報処理

## Ⅲ 履修登録

所属する学部の卒業要件を把握した上で履修計画を作成し、履修計画に基づき履修登録を行います。

### 1 履修計画

大学では、学生自身が履修する授業科目を選択し、履修計画を立てることになります。

必修科目等一部の科目を除き、自由に授業科目が選べる一方、自己責任・自己管理が一層重要となります。

#### ○ 履修計画を立てるためのポイント

- ① 自身が所属する学部のディプロマ・ポリシーを必ず確認してください。
- ② 教養教育の卒業要件単位（P. 10～19 II-5（1）「各学部・学科における卒業要件単位一覧」を参照）は、1年次で修得することが原則です。2年次以降は専門科目の授業が中心となります。その際、教養教育科目の修得単位が不足していると履修科目数が増え、自身にとって大きな負担となります。
- ③ 必修科目は必ず履修してください。
- ④ 自身が所属する学部・学科の卒業要件単位を把握し、履修する選択科目を決めてください。
- ⑤ 教員免許取得を希望する場合は、P. 28「II-8（1）教員免許取得に必要な教養教育科目」を必ず履修してください。
- ⑥ 学部・学科によっては、教養教育科目の修得単位数を進級要件としています。自身が所属する学部・学科の進級要件を確認し、教養教育科目の修得単位数が不足しないように注意してください。

### 2 年次・学期ごとの履修上限単位数（CAP制）

履修できる科目の合計単位数には、年次・学期ごとに上限を設けています。これは、履修できる授業科目数を制限することで適切な学修時間を確保し、学修内容を深く身に付けることを目的としています。

### 3 教養教育科目の履修登録

授業科目を履修するためには、学生自身が学務情報システム（以下、ヘルン・システムという。）を利用して、学期ごとに定められた教養教育履修登録期間内に履修登録を行う必要があります。指定された期間外に履修登録はできませんので、登録忘れや登録間違いがないよう注意してください。

#### (1) 必修科目・クラス指定科目の履修登録

教養教育科目の必修科目・クラス指定科目（英語科目、健康・スポーツ科目、選択必修科目、初修外国語科目）については、あらかじめ履修登録されていますので、ヘルン・システムの履修登録画面で確認してください。

#### ① 英語科目の履修登録

英語科目については、クラス指定科目のため、選択必修科目として履修が必要な学部・学科においてもあらかじめ履修登録してあります。選択必修科目として履修が必要な学部・学科の学生で英語科目の履修を希望しない学生は、授業開始までに必ず学務課教養教育支援室にその旨を申し出てください。

また、英語科目の履修に当たって、自身の英語力が英語科目の習熟度レベルを超えている外国人留学生等で英語圏出身者や日本の高校レベルの英語教育を受けていないなどの場合は、教養教育事前履修登録期間中のなるべく早い時期に学務課教養教育支援室に相談してください。

## ② 「健康・スポーツ」科目の履修登録

前学期開講の「健康・スポーツ／実技」については、クラス指定科目のため、必修科目ではない学部・学科においてもあらかじめ履修登録してあります。必修科目ではない学部・学科の学生で「健康・スポーツ／実技」の履修を希望しない学生は、授業開始までに必ず学務課教養教育支援室にその旨を申し出てください。

後学期開講の「健康・スポーツ／講義」については、必修科目とする学部においてクラス指定科目としてあらかじめ履修登録してあります。必修とする学部以外の学生で、教員免許取得のため、「健康・スポーツ／講義」の修得を必要とする学生は、選択科目履修登録において履修登録してください。

## ○ 「健康・スポーツ／実技」が必修科目ではない学部・学科について

医学部看護学科，工学部及び都市デザイン学部の学生は「健康・スポーツ／実技」は選択科目となります。「健康・スポーツ／実技」及び「健康・スポーツ／講義」から1単位以上修得してください。

## ○ 「健康・スポーツ／実技」の種目の選択について

指定された曜限に開講される種目から、履修する種目を1種目選択します。下記の種目の中から第1週の授業に出席しなかった場合、希望する種目を選択できないことがありますので、注意してください。

テニス，バドミントン，バレーボール，卓球，サッカー，ゴルフ，ソフトボール，バスケットボール，フィットネス

履修する種目が決定した後の履修登録は、学務課教養教育支援室の事務担当が行います。ヘルン・システムで改めて履修登録内容を確認してください。

## ○ 「健康・スポーツ／実技」の第1週目の集合場所について

### 健康・スポーツ／実技 第1週集合場所

学部名	保健体育系 卒業要件単位
人文学部，人間発達科学部，経済学部 理学部，工学部，都市デザイン学部	五福キャンパス第1体育館
医学部，薬学部	杉谷キャンパスアリーナ
芸術文化学部	高岡キャンパス (集合場所は、別途掲示によりお知らせします。)

## ○ 「特別体育」の履修登録について

様々な理由により、集団での運動・スポーツ活動が困難な学生を対象として、通常の学生が履修する「健康・スポーツ／実技」とは別に、「特別体育」を開講します。「特別体育」は、原則として個別指導としており、授業内容、開講時間等を授業担当教員と相談の上、履修の可否を決定します。「特別体育」の履修を希望する学生は、第1週の授業時間中に授業担当教員に申し出るか、学務課教養教育支援室に申し出てください。

## ③ 選択必修科目履修登録（医学部医学科及び薬学部のみ対象）

医学部医学科及び薬学部の学生は、下表の選択必修科目について、選択方法に従い、必ずいずれか一科目を選択し、単位を修得する必要があります。解析学については「解析学－B」、物理学Iについては「物理学I－A」があらかじめ履修登録してあります。履修科目の変更を希望する場合は、教養教育支援室に申し出てください。科目の変更方法の詳細は授業中に指示します。

## 選択必修科目一覧

教養教育科目名	選択方法
解析学－A	「解析学－A」と「解析学－B」からいずれか一つを選択
解析学－B	
物理学Ⅰ－A	「物理学Ⅰ－A」と「物理学Ⅰ－B」からいずれか一つを選択
物理学Ⅰ－B	
物理学Ⅱ－A	「物理学Ⅱ－A」と「物理学Ⅱ－B」からいずれか一つを選択
物理学Ⅱ－B	

### ④ 英語以外の外国語（初修外国語）履修登録

初修外国語における履修する言語及び履修方法については、入学前の希望調査によりあらかじめ履修登録してあります。学部の専門教育科目との受講曜限の重複等により、やむを得ず変更を希望する場合は、4月3日（金）まで教養教育支援室に申し出てください。

#### (i) 初修外国語の履修について

教養教育の外国語系科目の履修について、一部の学部・学科を除き、「英語」と「英語以外の外国語」（以下、「初修外国語」という。）を修得する必要があります。

「英語」並びに「初修外国語」において修得しなければならない単位数の内訳は、下表のとおりです。

#### 各学部・学科における外国語卒業要件単位数

学部・学科	英語（必修科目） 卒業要件単位数	初修外国語（選択科目） 卒業要件単位数
人文学部	4単位	4単位
人間発達科学部	4単位	2単位
経済学部	4単位	4単位
理学部	4単位	2単位
医学部・医学科	4単位	2単位
医学部・看護学科	4単位	－
薬学部	次の組み合わせから各1単位以上修得し、初修外国語を含め計6単位修得 ①「英語リテラシーⅠ－C」と「英語リテラシーⅡ－C」 ②「英語コミュニケーションⅠ－C」と「英語コミュニケーションⅡ－C」	
工学部	4単位 ※外国人留学生は英語に代わり、日本語を必修とする。	－
芸術文化学部	4単位	2単位
都市デザイン学部	4単位	－

### ○ 初修外国語履修方法について

#### ① 選択科目卒業要件単位数が4単位の場合

4単位履修の場合は、学修する言語を1つ選び、それぞれの言語について、前学期に「基礎Ⅰ」、「コミュニケーションⅠ」、後学期に「基礎Ⅱ」、「コミュニケーションⅡ」を履修してください。

#### ② 選択科目卒業要件単位数が2単位の場合

2単位履修の場合は、言語によって履修モデルが指定されていますので、「各言語における履修

単位別履修方法」を確認し、履修してください。

前学期の開講科目を履修せず、後学期の「基礎Ⅱ」,「コミュニケーションⅡ」から履修するような履修計画は避けてください。前学期・後学期で段階的に学んでいくことが基本となります（既修得単位の認定や高校などで学修経験のある学生でⅡからの受講を希望する場合は、授業担当教員に早めに相談してください）。内容をよく読み、履修計画を立ててください。

指定の2単位を超えた場合は、一部の学部・学科を除き、選択科目として卒業要件単位に含めることができます（P. 10～19 Ⅱ-5（1）「各学部・学科における卒業要件単位一覧」を参照）。

また、卒業要件単位に含まれていない場合にも自由単位として履修することが可能です。

③ 卒業要件での指定がない場合

卒業要件の指定がない場合にも、選択科目として卒業要件単位に含めることができる場合があります（P. 10～19 Ⅱ-5（1）「各学部・学科における卒業要件単位一覧」を参照）。

また、卒業要件外でも自由単位としての履修は可能です。英語以外の外国語に興味のある学生は是非履修してください。

### 各言語における履修単位別履修方法

外国語名	履修 単位数	履修方法
ドイツ語	4単位 履修	前学期 ドイツ語基礎Ⅰ及びドイツ語コミュニケーションⅠ 後学期 ドイツ語基礎Ⅱ及びドイツ語コミュニケーションⅡ を履修
	2単位 履修	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ及びドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱから いずれか2科目2単位を履修 ○ドイツ語2単位履修者の履修モデル (1) ドイツ語入門モデル ドイツ語基礎Ⅰ及びドイツ語コミュニケーションⅠを学ぶこと で、未知の言語であるドイツ語をとりあえず知りたいという学生に 週2回授業でより記憶に残る学修ができます。 手応えを感じた学生は、後学期で、更にドイツ語基礎Ⅱ及びドイ ツ語コミュニケーションⅡを学ぶことができます。  (2) ドイツ語基礎モデル ドイツ語基礎Ⅰ,Ⅱを学ぶことで、一通りの語学知識を修得します。 将来、ドイツ語に接したときに辞書やネット検索等の補足ツール を使いながら、自分で学んで行けるような総合的な基礎力を身に付 けることができます。 ドイツ語コミュニケーションⅠ,Ⅱを履修しないで受講する場合 には、曖昧な点が出ないように、自己学修にも気をつけ、積極的に教 員に分からない点を質問しましょう。  ○学部・学科の指定は2単位だが、それを超えて学ぶ場合 (3) プラスアルファ型モデル（選択時には4単位として選択） (1),(2)を履修の核にしながら、更にドイツ語コミュニケーショ ンⅠ,Ⅱ,ドイツ語基礎Ⅱを受講します。 (1),(2)の履修モデルより実践的な学修ができます。 また、並行学修、追加学修をすることで、知識の定着はより容易 になります。興味・関心がある場合、1年次の学修計画全体を見据 えながら、積極的に履修してください。



外国語名	履修 単位数	履修方法
フランス語	4 単位 履修	前学期 フランス語基礎Ⅰ及びフランス語コミュニケーションⅠ 後学期 フランス語基礎Ⅱ及びフランス語コミュニケーションⅡ を履修
	2 単位 履修	前学期 フランス語基礎Ⅰ及びフランス語コミュニケーションⅠ の2科目2単位を履修 発展的にフランス語を学びたい場合や将来的にフランス語圏への研修 参加や留学を考えている場合は、後期に開講されるフランス語基礎Ⅱ及 びフランス語コミュニケーションⅡの履修を強くお勧めします。
	その他	自由科目としてフランス語を履修する場合は、上記2単位履修の場合 と同じ履修プランを強くお勧めします。 高校などでフランス語の学修経験がある学生は、資格試験等による単 位認定制度があります。 教員免許取得に必要な教養教育科目としてフランス語を履修する場合 は、前学期フランス語基礎Ⅰ及びフランス語コミュニケーションⅠを履 修した上で、後学期フランス語コミュニケーションⅡを履修してくださ い。この場合も、後学期フランス語基礎Ⅱを併せて履修することを強く お勧めします。 フランス語については、2年次以降の発展多言語演習ドイツ語・中国 語に相当するものは開講されません。人文学部専門科目で履修できる科 目（基礎フランス語、実践フランス語演習Ⅰ、フランス語演習Ⅰ等）が あるので、これらの科目の履修を検討してください。人文学部生は学部 の専門科目、他学部生は他学部履修となります。

外国語名	履修 単位数	履修方法
中国語	4 単位 履修	前学期 中国語基礎Ⅰ及び中国語コミュニケーションⅠ 後学期 中国語基礎Ⅱ及び中国語コミュニケーションⅡ を履修
	2 単位 履修	中国語基礎Ⅰ及び中国語基礎Ⅱ の2科目2単位を履修することを強くお勧めします。 (ただし、中国語コミュニケーションⅠ、Ⅱも併せて履修することがで きます。)

外国語名	履修 単位数	履修方法
朝鮮語	4 単位 履修	前学期 朝鮮語基礎Ⅰ及び朝鮮語コミュニケーションⅠ 後学期 朝鮮語基礎Ⅱ及び朝鮮語コミュニケーションⅡ を履修
	2 単位 履修	前学期 朝鮮語基礎Ⅰ及び朝鮮語コミュニケーションⅠを履修
	その他	高校などで朝鮮語の学修経験がある学生は、教養教育事前履修登録期 間内に朝鮮語担当教員に申し出ること。面談して語学力を確認の上、履 修クラスを決定します。



外国語名	履修単位数	履修方法
ロシア語	4単位履修	前学期 ロシア語基礎Ⅰ及びロシア語コミュニケーションⅠ 後学期 ロシア語基礎Ⅱ及びロシア語コミュニケーションⅡを履修
	2単位履修	前学期 ロシア語基礎Ⅰ及びロシア語コミュニケーションⅠの2科目2単位を履修 (ただし、これ以外の組合せも排除するものではありません。) 更に発展的にロシア語を学びたい場合は、後期に開講されるロシア語基礎Ⅱ及びロシア語コミュニケーションⅡの履修をお勧めします。
	その他	自由科目としてロシア語を履修する場合は、上記2単位履修の場合と同じ履修プランをお勧めします。

外国語名	履修単位数	履修方法
日本語	4単位履修	前学期 日本語リテラシーⅠ及び日本語コミュニケーションⅠ 後学期 日本語リテラシーⅡ及び日本語コミュニケーションⅡを履修
	2単位履修	前学期 日本語リテラシーⅠ及び日本語コミュニケーションⅠの2科目2単位を履修

### ○ 初修外国語事前登録について

履修を希望する言語・履修方法を第1希望から第3希望まで選択し、「初修外国語履修希望調査票」に記入の上、入学手続き書類に同封し、入学手続き日までに返送してください。

履修する言語及び履修方法については、調整を行います。特定の言語に希望者が集中した場合には、抽選を行った後、4月3日（金）の教養教育オリエンテーションで結果をお知らせします。

履修する言語をやむを得ず変更したい場合は、4月3日（金）までに教養教育支援室に願い出てください。

### ○ 初修外国語事前登録における留意事項

- ① ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、ロシア語、日本語（外国人留学生のみ履修可能）の中から1言語を選択し、選択科目として単位を修得してください。  
「初修外国語、何を学ぶ？」や「シラバス」をよく読み、授業内容等を十分理解した上で、履修する言語を選択してください。
- ② 高校などで学修経験のある言語については、選択できない場合があります。選択する場合には、各言語の担当教員に確認して下さい（P. 32「各言語における履修単位別履修方法」の指示も参照）。
- ③ 同一言語で各学部の卒業要件単位まで修得しなければなりません。
- ④ 履修言語決定後の言語の変更は、できません。
- ⑤ 履修希望が同一言語に集中した場合は、人文学部、経済学部の4単位履修が必要な学部生の希望が優先されます。

### (ii) 発展多言語演習の履修について

いくつかの初修外国語科目では、更なる応用力の育成を目指す「発展多言語演習」を開設しています。これらの科目は、卒業要件とはしない自由科目です。履修のために条件を設定している科目もあります。

また、発展多言語演習のみの言語として、「発展多言語演習ラテン語」を履修することができます。「発展多言語演習ラテン語」の授業内容は、他の発展多言語演習とは違い、初級の内容となっています。

## 発展多言語演習科目一覧

科目名	履修条件
発展多言語演習ドイツ語	ドイツ語基礎Ⅰ、Ⅱ及び ドイツ語コミュニケーションⅠ、Ⅱ から計3単位以上修得していること
発展多言語演習中国語	中国語基礎Ⅰ、Ⅱの単位を修得していること 中国語コミュニケーションⅠ、Ⅱを履修していること が望ましい
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	履修条件なし
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	
日本語リテラシーⅢ	履修条件なし ※外国人留学生対象科目
日本語コミュニケーションⅢ	
日本語／専門研究	
日本語／ビジネス	

なお、発展多言語演習の開講時期については、言語により通常の授業期間中には開講されない（夏季、冬季休業期間、土日開講）場合があります。履修を希望する学生は、履修登録の際、開講時期を必ず確認してください。

### (2) 選択科目の履修登録

各学部・学科における卒業要件単位に基づいて、定められた系の科目を卒業要件単位まで修得しなければなりません。

#### ○ 選択科目履修登録における留意事項

- ① 自身が所属する学部・学科の卒業要件単位を把握した上で、履修する選択科目を決めてください。
- ② 授業科目名だけで判断せず、シラバスをよく読み、授業内容等を十分理解した上で、履修する選択科目を決めてください。
- ③ 同じ名称の教養教育科目は、授業内容、担当教員名が違っていても重複登録することはできません。ただし、単位が欠落した場合は、同じ名称の科目を再度履修することができます。
- ④ 履修登録では、各学部・学科の「履修を指定する系」、「選択できる科目数」（P36, 37 参照）を超えて、履修登録することはできません。
- ⑤ 追加登録では、「履修を指定する系」、「選択できる科目数」にかかわらず、履修登録することが可能です。ただし、学部のCAPの上限までとなります。
- ⑥ 地域志向科目を各学部で定められた単位数まで修得してください。
- ⑦ 選択科目では、授業科目ごとに定員を定めています。教養教育履修登録期間終了後、定員を上回る履修希望者がいる教養教育科目は、抽選を行い、履修者を決定します。抽選の結果、履修が認められなかった場合は、教養教育履修科目確定・通知日に、履修登録状況照会画面において、科目が削除されています。
- ⑧ 選択科目の抽選の結果、受け入れ人数に余裕のある授業科目については、追加登録期間に先着順で追加募集を行います。詳細は、「学務課共通教育棟A棟1階掲示板」およびヘルプ・システムで通知します。追加登録期間外では履修登録はできませんので、掲示の確認を怠らないようにしてください。
- ⑨ 自由科目は、卒業要件単位となりません。

令和2年度前学期 履修登録における各学部・学科の「履修を指定する系」, 「選択できる科目数」

学部・学科	履修を指定する系	選択できる科目数
人文学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然又は医療・健康系	1科目
	総合科目系	1科目
人間発達科学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系	1科目
	総合科目系	1科目
経済学部	人文科学系	1科目
	自然又は医療・健康系	2科目
	総合科目系	1科目
理学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	2科目
	総合又は医療・健康系	2科目
医学部医学科	人文科学系	2科目
	社会科学系	1科目
	医療・健康系	1科目
医学部看護学科	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	自然科学系	1科目
	医療・健康系	1科目
薬学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	医療・健康系	1科目
工学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	総合科目系	1科目
芸術文化学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系	1科目
	総合科目系	2科目
都市デザイン学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	2科目
	総合科目系	2科目

令和2年度後学期 履修登録における各学部・学科の「履修を指定する系」、「選択できる科目数」

学部・学科	履修を指定する系	選択できる科目数
人文学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系又は医療・健康系	1科目
	総合科目系	2科目
人間発達科学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，総合）	1科目
経済学部	人文科学系	2科目
	自然科学系又は医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，医療・健康，総合）	1科目
理学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	医療・健康科学系又は総合科目系	3科目
医学部医学科	人文科学系又は社会科学系	2科目
	理系基盤	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	その他（人文，社会，理系，医療・健康，総合，保健体育）	1科目
医学部看護学科	人文科学系又は社会科学系	2科目
	自然科学系	1科目
	理系基盤	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	その他（人文，社会，理系，医療・健康，総合，保健体育，情報処理）	3科目
薬学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	理系基盤	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	その他（人文，社会，理系，医療・健康，総合，保健体育）	3科目
工学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	総合科目系	2科目
	その他（人文，社会，総合）	1科目
芸術文化学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	2科目
	自然科学系又は医療・健康科学系	2科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，理系，医療・健康，総合，保健体育）	2科目
都市デザイン学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，医療・健康，総合）	2科目

### (3) 集中講義の履修登録

集中講義は主として休業期間中（夏季，冬季休業期間，土日）に開講します。集中講義の履修登録方法及び開講時期については，授業実施期間中に「共通教育棟A棟1階掲示板」及びヘルン・システムで通知します。

### (4) 外国人留学生の履修登録

#### ① 外国人留学生を対象とした教養教育科目について

教養教育科目では，外国人留学生のための教養教育科目として，以下の科目を開設しています。外国人留学生以外の学生は履修することはできません。

#### 外国人留学生を対象とした教養教育科目一覧

系	教養教育科目名
人文科学系	異文化理解
総合科目系	日本事情 / 芸術文化，日本事情 / 自然社会
外国語系	日本語リテラシーⅠ，日本語リテラシーⅡ 日本語コミュニケーションⅠ，日本語コミュニケーションⅡ， 日本語リテラシーⅢ，日本語コミュニケーションⅢ， 日本語 / 専門研究，日本語 / ビジネス

#### ② 外国語の履修登録

外国人留学生の外国語履修登録は，英語の他，初修外国語としてドイツ語，中国語，フランス語，ロシア語，朝鮮語，日本語から言語を選択します。ただし，母語を選択することはできません（大学が母語を指定することがあります）。例えば，中国語圏出身者は，中国語を除く5言語から初修外国語を選択することになります。また，日本語を母語とする学生は，たとえ外国人留学生であっても日本語を選択することはできません。

なお，工学部に所属する外国人留学生は，日本語リテラシーⅠ，Ⅱ及び日本語コミュニケーションⅠ，Ⅱを必修科目として指定しています。

## 4 履修登録の日程

前 学 期		後 学 期	
4月3日（金）	教養教育オリエンテーション	7月上旬	後学期履修登録に関するガイダンス
4月6日（月）	教養教育科目履修登録	9月2日（水） ～9月11日（金）	教養教育科目履修登録
4月10日（金）	履修登録結果発表	9月24日（木）	履修登録結果発表
4月13日（月） ～4月15日（水）	教養教育科目追加登録期間	9月25日（金） ～9月30日（水）	教養教育科目追加登録期間
4月16日（木） ～4月28日（火）	履修科目確認・修正期間	10月1日（木） ～10月22日（木）	履修科目確認・修正期間
9月1日（火）	前学期成績開示	3月12日（金）	後学期成績開示

## ○ 前学期履修登録に当たっての留意事項

- ① 4月6日(月)に総合情報基盤センター及び端末室等でヘルン・システムから履修登録を行います。
- ② 履修登録期間内(4月6日(月))は、登録内容の変更が可能です。
- ③ 履修希望者が集中した授業科目は、抽選となる場合があります。
- ④ 履修登録結果は、4月10日(金)に、ヘルン・システム>時間割の画面でお知らせします。
- ⑤ 受入定員に余裕のある授業科目について、追加登録を行います。追加登録の対象となる科目は、4月10日(金)に掲示又はヘルン・システムでお知らせします。
- ⑥ 専門教育科目の履修登録は、4月10日～15日までです。

## ○ 後学期履修登録に当たっての留意事項

- ① 後学期の履修登録は、履修登録期間内に各自ヘルン・システムで行います。
- ② 前学期の成績を確認し、修得単位を把握した上で、履修登録を行ってください。
- ③ 履修登録結果は、9月24日(木)にお知らせします
- ④ 後学期の追加登録期間は、9月25日(金)～30日(水)です。追加登録の対象となる科目は、9月24日(木)に掲示又はヘルン・システムでお知らせします。
- ⑤ 専門教育科目の履修登録は、10月1日(木)～8日(木)までです。

## 5 履修登録の確認・修正

### ○ 履修登録科目の確認

履修登録結果については、必ずヘルン・システム内の「履修登録・登録状況照会」もしくは「時間割」画面から確認してください。

### ○ 履修科目の修正

履修登録された科目については、履修取消のみ行えることとし、原則として別の教養教育科目への修正登録は認めません。ただし、特別な事情がある場合にのみ、履修科目の修正登録を認めることがあります。履修登録科目の修正を希望する学生は、必ず教養教育履修科目履修修正・取消期間中に学務課教養教育支援室まで申し出てください。

## 6 履修計画の作成

### (1) 履修計画作成の手順

富山大学では、1年次に教養教育科目を履修し、学部・学科等で定められた卒業要件単位を修得することとしています。1年間で教養教育科目の卒業要件単位を充足するよう履修計画を立てましょう。

#### (i) クラス指定科目の確認

自分の受講するクラス指定科目(英語リテラシーⅠ、英語コミュニケーションⅠ、健康・スポーツ/実技、情報処理科目、初修外国語)の曜日・時限を確認する。

#### (ii) 選択科目の検討

P. 36 Ⅲ-3 (2)「令和2年度前学期 履修登録における各学部・学科の『履修を指定する系』、『選択できる科目数』」を確認し、(i)で確認したクラス指定科目を受講する曜日・時限以外の曜限について、巻末の「令和2年度前学期授業時間割表」から各系の開講科目から履修したい科目を選択する。その結果を「教養教育科目履修計画表」に記入する。



## 7 履修登録の方法

### (1) 履修登録の手順

#### (i) 履修登録

ヘルン・システム>履修・出欠・レポート>履修登録>履修登録・登録状況照会において、履修を希望する授業科目を登録する。

- ① クラス指定科目の曜限を確認する。
- ② クラス指定科目の登録されていない曜限に、履修を希望する選択科目を登録する。履修登録に当たっては、各学部・学科における履修を指定する系、選択できる科目数の範囲内とする。

#### (ii) 追加登録

ヘルン・システム>履修・出欠・レポート>履修登録>履修登録・登録状況照会において、履修を希望する授業科目を登録する。(先着順)

### ○ ヘルン・システム利用に当たっての留意事項

- ① ヘルン・システムを利用する際は「情報基盤センター承認書」記載のID、パスワードが必要です。
- ② 前学期の教養教育科目の履修登録日(事前履修登録期間内(4月6日(月)))の総合情報基盤センターは、21時に閉館となります。
- ③ ヘルン・システムは、通常、学内限定で利用可能です。学外からヘルン・システムを利用したい場合は、別途VPN接続が必要となります。VPN接続の方法は、富山大学情報基盤センターのホームページにマニュアルが掲載されていますので、必要に応じて各自で設定を行ってください。なお、設定マニュアルは学内ネットワークからしか参照できません。また、VPN接続は、同時接続可能数に上限があり、混雑時は接続が不安定な場合がありますので注意してください。

#### (i) クラス指定科目の履修登録確認

□履修登録方法

履修登録・登録状況照会

氏名: 大石 大志 学籍番号: 00990999

所属: 教養教育 学年: 1年

年度・学期: 20XX年度 前期 履修 20XX/MM/DD 00:00 件数: 6件

最終更新日時:

前学期	後学期	時間割から検索	集中講義を登録		
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
101004 英語リテラシーI-A	101220 健康・スポーツ/実技	未登録	未登録	未登録	未登録
101058 情報処理-A	101246 英語コミュニケーションI-A	未登録	未登録	未登録	未登録
101080 ドイツ語基礎I	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	101311 ドイツ語コミュニケーションI	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

必修クラス、クラス指定科目については、既に登録されています。  
 クラス割振表のとおりに登録されているか確認してください。  
 ※健康・スポーツ/実技は、1回目の授業(種目決定)まで仮のクラスを登録しています。  
 登録がない曜限の青字で書かれた「未登録」をクリック

## (ii) 選択科目履修登録

### □履修登録方法

Copyright(c) 2001- NS Solutions Corporation All rights reserved.

履修登録画面が表示されるので、履修したい科目の時間割コードを入力（時間割コードはシラバスや時間割表に記載されている）  
時間割コードがわからない場合は、青字で記載された「時間割コード検索」をクリック

14

### □履修登録方法

検索条件入力画面が表示される

ここでは、先ほど選択した曜限の情報等が入力されており、変更の必要がなければ、「検索開始」をクリック

15



## □履修登録方法

履修登録・登録状況照会/検索結果

1件目 から 27件目の検索結果を表示しています (全部で 27件あります)

検索結果ページ: << 前へ 1 次へ >>

No.	学期	学号	履修科目	時間割コード	科目名	担当	シラバス
1	前	前	月3月4	101403	異文化理解コミュニケーション		Syllabus
2	前	前	月4	101079	ドイツ語基礎Ⅰ		Syllabus
3	前	前	月4	101111	日本の歴史と社会		Syllabus
4	前	前	月4	101112	西洋の歴史と社会		Syllabus
5	前	前	月4	101113	経営資源のとうえり		Syllabus
6	前	前	月4	101114	市民生活と法		Syllabus
7	前	前	月4	101115	コンピュータの概		Syllabus
8	前	前	月4	101116	基礎物理学-A		Syllabus
9	前	前	月4	101117	基礎物理学-A		Syllabus
10	前	前	月4	101118	基礎物理学-B		Syllabus
11	前	前	月4	101119	基礎物理学-B		Syllabus
12	前	前	月4	101120	生命科学 I-A		Syllabus
13	前	前	月4	101121	医療心理学		Syllabus
14	前	前	月4	101122	ドイツ語基礎Ⅰ		Syllabus
15	前	前	月4	101123	ドイツ語基礎Ⅰ		Syllabus
16	前	前	月4	101124	ドイツ語基礎Ⅰ		Syllabus
17	前	前	月4	101125	フランス語基礎Ⅰ		Syllabus
18	前	前	月4	101126	中国語基礎Ⅰ		Syllabus
19	前	前	月4	101127	中国語基礎Ⅰ		Syllabus
20	前	前	月4	101128	中国語基礎Ⅰ		Syllabus
21	前	前	月4	101129	中国語基礎Ⅰ		Syllabus
22	前	前	月4	101130	中国語基礎Ⅰ		Syllabus
23	前	前	月4	101131	中国語基礎Ⅰ		Syllabus
24	前	前	月4	101132	中国語基礎Ⅰ		Syllabus
25	前	前	月4	101133	朝鮮語基礎Ⅰ		Syllabus
26	前	前	月4	101134	英会		Syllabus
27	前	前	月4	101135	ドイツ語基礎Ⅰ		Syllabus

1件目 から 27件目の検索結果を表示しています (全部で 27件あります)

検索結果が表示されるので、履修登録を行いたい科目について、科目名をクリック

16

## □履修登録方法

HEARN SYSTEM

HOME 休講情報等 履修・出欠 出欠・判定 シラバス 掲示板 学生カルテ 就職支援 各種申請

履修登録・登録状況照会

履修登録する時間割を入力してください

曜日	月曜日
時間	4時
時間割所属	教養教育
時間割コード	101134

不明の場合は時間割コード検索で検索できます。

登録 クリア 履修登録画面に戻る

Copyright(c) 2001- NS Solutions Corporation All rights reserved.

時間割コード欄に履修したい時間割コードが入力されていることを確認し、「登録」をクリック

17

## □履修登録方法

先ほど登録した科目が表示されていれば、登録完了（以上の作業を繰り返す）  
 ※各科目には定員があるため、人数が集中した場合、抽選を行います。  
 最終的な登録結果は、4月10日に確定します。各自、再度ヘルンシステムにログインし、この履修登録状況の画面を確認してください。

18

### (iii) 選択科目履修登録におけるエラー

## □履修登録方法

Copyright(c) 2001- NS Solutions Corporation All rights reserved.

登録時に登録エラーが出た場合、エラー内容を確認し、  
 内容に準じて修正の上、登録を行ってください。

19

## ○ 選択科目履修登録におけるエラー

選択科目履修登録時に、登録内容にエラーがある場合はエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージのとおり対応しても登録ができない場合は、学務課教養教育支援室まで連絡してください。

### 履修登録エラーメッセージ例と対応方法

履修登録エラーメッセージの例	対応方法
学期に履修可能な単位数を超えています。	学部で定めたCAP上限に抵触しています。自分が所属する学部・学科の履修の手引きを確認してください。
修得済の単位 / 授業科目数が排他単位 / 授業科目数の制限を超えています。	履修できない科目の登録もしくは履修登録可能な科目数を超える登録です。履修可能な科目、科目数の中で履修登録してください。
カリキュラム制限科目です。	履修できない科目です。履修可能な科目を登録してください。

## Ⅳ 履修上の注意

### 1 教室

教養教育科目の授業は、主に五福キャンパス共通教育棟（以下、「共通教育棟」という）で行いますが、一部の教養教育科目や情報処理、健康・スポーツ/実技等は、各学部や総合情報基盤センター、体育館等で行います。

また、「教養教育授業時間割表」には各授業の実施教室を掲載していますが、教室を変更することがあります。教室変更については共通教育棟A棟1階の掲示及びヘルン・システムで確認することができますので、授業開始前に必ず確認してください。

### 2 出欠管理システム

教養教育科目の一部の授業では出欠管理システムを導入しています。履修者は、授業開始前に教室設置型カードリーダー又は携帯型カードリーダーに学生証を読み取らせ、出席処理を行ってください。学生証の紛失等により出席処理が行うことができない場合は、授業開始前に教養教育支援室窓口で「出欠調査表」を受け取り、必要事項をすべて記入した上で、科目担当教員から備考欄にサイン又は押印をもらい、教養教育支援室に提出してください。

なお、授業担当教員によっては、出欠管理システムによらず、名簿による読上げやレポート等の提出によって出欠を確認することがあります。出欠管理システムを利用しない授業においては、出欠調査表の提出は不要です。

また、他人の学生証を利用して出席処理を行う等の行為により、あたかもその学生が出席したかのように装うことは、不正行為とみなし、懲戒処分の対象になりますので注意してください。他人に頼まれても絶対に断ってください。

### 3 欠席等の取扱い

#### (1) 欠席の取扱いについて

病気・忌引等によりやむを得ず授業を欠席することになった場合は、必ず自身が所属する学部の教務担当窓口へ連絡し、次回授業時に授業担当教員に申し出てください。

#### (2) シャトルバス及び公共交通機関の遅延等に係る取扱いについて

本学が運行するシャトルバスを利用する学生について、万一、シャトルバス運行に遅延が生じたことにより授業に遅刻又は欠席する場合は、各キャンパス担当窓口又はシャトルバス運転手より「シャトルバス遅延証明書」の発行を受け、授業担当教員へ提出してください。

公共交通機関を利用する学生については、各公共交通機関で発行される遅延証明書を受け取り、授業担当教員へ提出してください。

遅延への配慮については、授業担当教員が判断します。

### 4 授業に関する諸連絡（休講・補講・試験等）

休講・補講・試験等の通知は各学部及び共通教育棟A棟1階の掲示、ヘルン・システムにて行います。メールや電話等による学生への個別連絡は行いません。

掲示板には、休講等の通知だけでなく、授業に関する様々な通知、TOEIC等の試験案内、海外留学説明会開催案内等も掲示されます。各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムは毎日確認してください。これらを確認しないことによる不利益は、一切保証しません。



## 5 レポートの提出

### (1) レポート課題について

教養教育の授業では、授業期間中又は期末試験としてレポートを課すことがあります。レポート作成に当たっては、授業担当教員の指示する課題内容を十分理解し、作成してください。

#### ○ レポート作成時の主な注意点

- ① レポートの表紙に教養教育授業科目名、授業担当教員名、所属学部学科名、学籍番号、氏名を明記すること。
- ② 他人の著作物を引用する際は、引用箇所を明確にすること（「」で囲む等）。
- ③ 引用する文章は改編しないこと。
- ④ 引用した文献等の出典を明記すること（インターネットからの引用の場合は、URL、表題及びページ取得日）。

他人が書いた文章を無断で引用したり、自分の意見であるかのように書くことを「剽窃行為」といいます。他の学生が作成したレポートを丸写しする行為も同様です。こうした行為により作成されたレポートが提出された場合、不正行為とみなし、懲戒処分の対象になりますので、絶対に行わないでください。これには、情報処理科目等で提出しなければならないデータの課題等も該当します。

### (2) レポート提出について

教養教育の授業に関するレポートの提出先は、授業担当教員の指示に従ってください。教養教育科目のレポートボックスに提出を指示された場合、提出先は共通教育棟A棟1階（C11教室前）に設置しているレポートボックスとなります。各学部設置されているレポートボックスは専門科目用レポートボックスとなりますので注意してください。また、授業担当教員によってはレポートボックスへの提出以外の提出方法を指示することがあります（例：Moodle、ヘルン・システム、メール、授業中に提出等）。

複数の教員により授業が行われる場合、教員ごとにレポートボックスが設置されることがあります。また、学期末には多くの授業でレポートが課されるため、同時期にレポートボックスを多数設置します。レポートボックスには、それぞれの授業科目名、授業担当教員名、開講曜日・時限、提出期限を表示していますので、レポートボックスを間違えないよう注意し、提出期限を守ってレポートを提出してください。

なお、提出期限を過ぎたレポートは一切受け付けません。また、誤ったレポートボックスに提出されたレポートは評価対象とならないことがあります。レポートボックスを間違えて提出した場合は、速やかに学務課教養教育支援室に申し出てください。

#### ○ レポート提出時の注意点

- ① レポート提出期限までに提出すること。
- ② レポートボックスに表示された科目名、授業担当教員名等と提出するレポートが一致していることを確認してから提出すること。
- ③ レポートが複数枚に及ぶ場合は、ホッチキスで留めて提出すること。
- ④ 学籍番号、名前、所属（学部等）が記入されているか確認すること。

## 6 「健康・スポーツ / 実技」履修上の注意

### (1) 服装について

「健康・スポーツ / 実技」における服装は、運動に適したものを着用してください。また、体育館で実施する種目では内履き専用の運動靴が、テニスではテニスシューズが必要となります。

### (2) 「学生教育研究災害傷害保険」の加入について

本学では、正課中（授業中）に、身体に被ったケガに対して補償対象となる「学生教育研究災害傷害保険」に全員加入しています。万が一、正課中（授業中）にケガを負った場合は、速やかに授業担当教員に報告し、必要に応じて医療機関等で診療行為を受けてください。

補償対象となる「正課中のケガ」とは、授業担当教員の指示に基づき授業を受けている間（準備もしくは後始末を行っている間も含む）に生じた「急激」かつ「偶然」な「外来」の事故により、身体に被ったケガに対して通院・入院日数に応じた保険金が支払われます。

#### ○ 「急激」かつ「偶然」な「外来」の事故とは

「急激」とは、事故が突発的に発生し、被保険者にとって予測・回避できないことを意味します。「偶然」とは、事故の原因または結果の発生が、被保険者にとって予知できないこと、被保険者の意思に基づかないことを意味します。「外来」とは、事故の原因が、被保険者の身体に内在するものではなく、外部からの作用によることをいいます。

ただし、どんな場合でも補償対象となるものではありません。必ず、学生会館1階学生支援課の学生保険担当窓口にご相談・報告してください。

### (3) 定期健康診断の受診について

「健康・スポーツ / 実技」を履修する学生は全員、本学が実施する定期健康診断を受診しなければなりません。定期健康診断を受診していない学生は、「健康・スポーツ / 実技」の履修を認めません。

# V 単位認定

## 1 試験

成績評価は、シラバスに記載された成績評価方法に基づき行います。成績評価方法には、学期末に実施する試験や授業期間中に実施する小テスト、課題レポートなど、科目により様々な方法があります。

試験実施等については、各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムにて通知するほか、授業担当教員によっては授業中に試験実施等の通知を行うことがあります。また、試験実施日や試験実施教室は、通常授業、教室から変更することがありますので注意してください。

### ○ 受験時の注意事項

- ① 試験は履修登録が認められた科目のみ受けることができる。
- ② 受験の際は、必ず学生証を机上に提示すること。学生証を紛失している場合は、試験日までに再発行の手続きを取ること。試験日までに学生証の再発行が間に合わない場合は、授業担当教員に事前に相談し、指示に従うこと。
- ③ 授業担当教員より座席が指定されている場合は、指定された座席において受験すること。
- ④ 携帯電話やスマートフォン等、音の出る機器は必ず電源を切り、カバン等に入れること。携帯電話等を時計代わりに使用することはできない。
- ⑤ 受験中、机上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及び特に指定されたものに限る。それ以外のものについてはカバン等に入れて足元に置き、机の棚入れは何も入っていない状態にすること。
- ⑥ 解答用紙には学籍番号、氏名等必要事項を必ず記載すること。
- ⑦ 受験中は、不正行為はもちろんのこと、不正を疑われるような行為・態度は慎み、厳正な態度で臨むこと。
- ⑧ その他、試験中は授業担当教員の指示に従うこと。

## 2 不正行為

試験等における不正行為は、学生としてあるまじき行為であり、絶対に許されるものではありません。本学では、不正行為に対して厳正に対処し、不正行為が認定された場合は、35日間を規準とする停学に加え、当該科目のみならず、当該試験期間中に受験した全ての試験科目を無効とし、卒業が半年以上延期となります。

### ○ 試験実施について不正行為とみなされる行為例

- ① 試験中に、使用が許可されていないノートや電子辞書、スマートフォン等を参照又は使用すること。
- ② 身体や筆記用具等に書込みをして試験に臨むこと。
- ③ 試験中に、他の学生の答案をのぞき見ること。
- ④ 答案を交換すること。
- ⑤ 代理で試験を受けること、又は受けさせること。
- ⑥ 授業担当教員の指示に従わない等、試験の公正な実施を妨げること。

### ○ レポート課題において不正行為とみなされる行為例

- ① 他人が書いた文章やインターネット上に公開している文章を無断で引用したり、自分の意見であるかのように書くこと（剽窃行為）。
- ② 他人のレポートを代筆すること。
- ③ 自身のレポートを他の学生に見せること。

これらはあくまで一例です。これらの行為以外でも、行為によっては不正行為と見なされることがありますので、不正を疑われるような行為は決して行わないでください。

### 3 追試験

教養教育科目については、真にやむを得ない欠席理由によって試験が受けられなかった場合、追試験許可願及び欠席理由を証明する書類を提出することにより、1授業科目につき1回に限り追試験を許可することがあります。

追試験を願い出る場合は、当該科目の試験実施日以前又は試験実施の翌日から原則として5日以内（土、日及び祝日を除く。）に「追試験許可願」及び欠席理由を証明する書類等を学務課教養教育支援室に提出してください。

#### 欠席理由及び欠席理由を証明する書類等

欠席理由	欠席理由を証明する書類等
本人の傷病	医師の診断書
親族（三親等以内）の死亡	会葬礼状又は死亡診断書
就職活動 （ただし、採用面接（試験）の受験、採用面接（試験）の受験資格となる説明会への出席に限る。）	企業、官公庁等が発行する証明書又は通知文（就職活動の採用面接（試験）又は採用面接（試験）の受験資格となる説明会の場所、日時及び内容が明記されていること。）
交通機関の遅延	交通機関の遅延証明書
災害（台風、水害、火災、地震等）	罹災証明書等災害の状況が把握できる書類
実習 （ただし、教育実習、介護等体験、臨床実習、臨地実習、臨床実務実習、博物館実習及びインターンシップに限る。）	実習期間が明記されている協定書等の書類
課外活動等における地区大会等を経た全国大会レベル以上の大会出場（ただし、選手または団員として、競技や実演に出場する場合に限る。）	次に掲げる書類 （1）招聘機関等発行の証明書又は派遣依頼書 （2）当該大会等の内容が分かる書類
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの要請等を証明する書類
交通事故	警察が発行した事故証明
その他公的機関からの要請	公的機関からの要請等を証明する書類等

### 4 成績評価の確認

#### (1) 成績評価の確認

成績開示日以降、ヘルン・システム内の「履修成績照会」画面より成績評価を確認することができます。学生に対して個別に成績通知は行いませんので、必ず自身で確認し、成績評価及び単位修得状況を確認してください。

#### 令和2年度成績開示日

学 期	成績開示日
前学期	9月1日
後学期	2月18日（最高学年）
	3月12日（最高学年以外）

#### (2) 成績評価に対する異議申立て

成績発表後、自身の成績評価について、以下に該当する場合は、教養教育院長に対し、異議を申し立てることができます。ただし、成績評価の理由や根拠に関する申し立ては認めません。

(i) 成績評価の誤記入等、明らかに授業科目担当教員の誤りであると思われるもの。



(ii) シラバス等により学生に周知している達成目標及び成績評価の方法に照らして、明らかに誤りがあると思われるもの。

成績評価異議申立ての方法及び受付期間については、各学期に各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムで通知します。

## 5 不可となった科目の取扱い

### (1) 再履修

成績評価が「不可」となった教養教育科目は、次学期以降に再履修することができます。再履修の履修登録方法は、他の教養教育科目と同様、教養科目事前履修登録期間中に事前登録にて行います。ただし、外国語科目等の一部科目については、再履修方法が指定されています。

#### 再履修方法が指定されている教養教育科目

教養教育科目名	再履修方法
英語 (リテラシーⅠ・Ⅱ／コミュニケーションⅠ・Ⅱ)	次学期に再履修すること。 再履修方法については、学期開始前に行うガイダンスの説明に従うこと。
フランス語 (基礎Ⅰ・Ⅱ／コミュニケーションⅠ・Ⅱ)	次学期に再履修すること。 再履修方法については、学期開始前に行うガイダンスの説明に従うこと。
ドイツ語 (基礎Ⅰ・Ⅱ／コミュニケーションⅠ・Ⅱ)	次年度に再履修すること。 再履修方法については、学期開始前に行うガイダンスの説明に従うこと。
ロシア語 (基礎Ⅰ・Ⅱ／コミュニケーションⅠ・Ⅱ)	次年度に再履修すること。 再履修方法については、学期開始前に行うガイダンスの説明に従うこと。
中国語 (基礎Ⅰ・Ⅱ／コミュニケーションⅠ・Ⅱ)	基礎Ⅰ：後学期に再履修クラスを履修すること。 基礎Ⅱ：次年度の前学期に再履修クラスを履修すること。 コミュニケーションⅠ，Ⅱ：次年度に通常のクラスで再履修すること。
朝鮮語 (基礎Ⅰ・Ⅱ／コミュニケーションⅠ・Ⅱ)	事前履修登録期間内に朝鮮語担当教員に申し出ること。 面談により学修到達度を確認の上、履修クラスを決定する。
健康・スポーツ／実技	後学期 健康・スポーツ／実技（再履修クラス） 又は 次年度の前学期 健康・スポーツ／実技 を履修すること。
情報処理－A	後学期 情報処理－A（再履修クラス） 又は 次年度の前学期 情報処理－A（再履修クラス） を履修すること。
情報処理－B，C	後学期 情報処理－B，C（再履修クラス）又は 次年度の前学期 情報処理－B，C を履修すること。

その他の教養教育科目について再履修方法に指定がある場合は、各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムにて別途通知します。

## (2) 再試験

所属学部が必修としている教養教育科目（ただし、講義科目に限る）について、成績評価が「不可」とされ、再履修ができない特段の事情があると認められた場合に限り、再試験を行うことがあります。再試験を願い出る場合は、「再試験許可願」に再試験が必要となる理由書を添付して、所属する学部の教務担当窓口へ提出してください。

提出された「再試験許可願」等により再試験の実施の可否について決定します。再試験の実施が認められた場合、所属する学部を通じて通知します。また、その場合の再試験実施日は、原則として次学期又は次年度の試験期日となります。

なお、再試験による成績評価は、「可」又は「不可」のみとします。

## 6 既修得単位等の認定

### (1) 入学前の既修得単位の認定

学生が本学に入学する前に、他の大学等において単位を修得した教養教育に関する科目について、教養教育科目の履修により単位を修得したものと見なし、所属学部により単位を認定することがあります。他の大学等における既修得単位の認定を希望する学生は、入学時に行う学部オリエンテーションの際、所属する学部の教務担当窓口へ申し出てください。

なお、単位認定に当たり、授業科目のシラバス、教科書等の提出を求めることがあります。

### (2) 大学以外の教育施設等における学修の認定

一部の教養教育科目については、富山大学教養教育履修規則第16条に基づき大学以外の教育施設等における学修を本学の教養教育科目の履修とみなし、単位を修得することができます。学修の認定を希望する学生は、所属する学部の教務担当窓口へ申し出てください。

対象となる教養教育科目及び単位数は以下のとおりです。

#### (i) 英語

英検	TOEIC (990)	TOEFL		IELTs (9.0)	ケンブリッジ 英検	国連英検	対応する教養教育科目及び与える単位数
		ITP (677)	iBT (120)				
2級	500～649	450～509	42～64	4.0 4.5	142～153	C	1単位
準1級	650～799	510～569	65～87	5.0 5.5	154～168	B	2単位
	800～859	570～592	88～96	6.0 6.5	169～184		3単位
1級	860～	593～	97～	7.0～	185～	A	4単位

(注) TOEIC は、カレッジ TOEIC (TOEIC IP テスト) を含む。TOEFL (PBT) は TOEFL (ITP) を含む。

対応する教養教育科目は、英語リテラシーⅠ、Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ、Ⅱとする。

#### (ii) ドイツ語

ドイツ語技能検定試験	対応する教養教育科目及び与える単位数
4級	ドイツ語基礎Ⅰ及び ドイツ語コミュニケーションⅠ 2単位
3級以上	ドイツ語基礎Ⅰ、Ⅱ及び ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 4単位

### (iii) フランス語

実用フランス語 技能検定試験（仏検）	DELF・DALF	対応する教養教育科目及び与える単位数
5級	A1	フランス語基礎Ⅰ又は フランス語コミュニケーションⅠ 1単位
4級		フランス語基礎Ⅰ及び フランス語コミュニケーションⅠ 2単位
3級以上	A2以上	フランス語基礎Ⅰ、Ⅱ及び フランス語コミュニケーションⅠ、Ⅱ 4単位

### (iv) ロシア語

ロシア語能力 検定試験	対応する教養教育科目及び与える単位数
4級	ロシア語基礎Ⅰ ロシア語コミュニケーションⅠ 2単位
3級以上	ロシア語基礎Ⅰ、Ⅱ及び ロシア語コミュニケーションⅠ、Ⅱ 4単位

### (v) 朝鮮語

「ハングル」能力 検定試験	韓国語能力 試験	対応する教養教育科目及び与える単位数
4級	3級	朝鮮語基礎Ⅰ及び 朝鮮語コミュニケーションⅠ 2単位
3級以上	4級以上	朝鮮語基礎Ⅰ、Ⅱ及び 朝鮮語コミュニケーションⅠ、Ⅱ 4単位

上記に記載がない場合でも、学修の認定を行う機関等が決定した場合、別に学内掲示板およびヘルプ・システムでお知らせします。

## Ⅵ 地域課題解決型人材育成プログラム

### 1 地域課題解決型人材育成プログラム

富山大学は、未来の地域リーダーの育成に向けて、「富山大学地域課題解決型人材育成プログラムに関する規則」を制定し、以下に示す3つの科目群から4科目8単位以上履修(単位修得)した学生に、地域課題解決型人材育成プログラム修了証を授与し、「未来の地域リーダー」の称号を付与しています。

### 2 プログラムを構成する科目(COC+科目)群

#### (1) 地域志向科目群

富山県に関する基礎的な要素を含む富山の歴史・経済・自然に関する教養教育科目(P. 8「Ⅱ-3(4) 地域志向科目」を参照)

#### (2) 地域課題解決科目群

学部の専門分野に応じた企業等及び地域でのフィールドワーク並びに地方公共団体及び企業等からの課題及び問題点に対する演習に取り組む等、地域に密着し課題を解決する力を養う内容の専門教育科目

#### (3) 地域関連科目群

富山県の歴史・生活・風土・環境その他の地域の特性を基に展開する授業内容を持つ専門教育科目

教養教育科目では、上記科目群のうち、地域志向科目群が履修可能です。

※それぞれの科目群に属する授業科目については、「富山大学シラバス> COC + 科目検索」を参照してください。

※ <http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>



## Ⅶ 教養教育に関するQ & A

### 履修

Q 1 履修登録をするときに担当教員が異なる同じ科目を登録することはできますか。

A 1 同一名称科目は担当教員が異なる場合でも履修登録をすることはできません。また、一度修得した科目についても、履修登録をすることはできません。

Q 2 ヘルン・システムから履修登録をしようとしたが、エラーの表示が出て科目の登録ができません。

A 2 エラーにより科目の登録ができない場合は、エラーメッセージの指示に従い、登録内容を見直してください。それでも解決しない場合は、速やかに教養教育支援室に申し出てください。

Q 3 選択科目を履修しましたが単位を修得できませんでした。次学期や次年度に同じ科目を履修することはできますか。

A 3 単位を修得していない場合は同じ科目を再度履修することができます。

Q 4 履修登録で、「履修を指定する系」にない科目を履修したいです。

A 4 「履修を指定する系」にない系の科目を履修したい場合は、追加登録期間中（令和2年度前学期の場合：4月13日（月）～4月15日（水））にヘルン・システムより履修登録をすることができます。ただし、追加登録は先着順となります。定員に達し次第、募集を締め切りますので、注意してください。追加募集の対象となる科目は、4月10日（金）にヘルン・システム及び掲示により周知します。なお、令和2年度後学期の履修手続き日程の詳細については、別途掲示で指示します。

Q 5 英語、情報処理、健康・スポーツ/実技のクラス指定科目の単位を落としてしまいました。再履修の手続きはどうしたらよいですか。

A 5 英語、情報処理、健康・スポーツ/実技の再履修の登録はヘルン・システム上で行うことができません。1年次後学期の履修登録、次年度前学期の履修登録についてガイダンスを行います。ガイダンスで再履修の方法について説明するので必ず出席してください。また、掲示板やヘルン・システムでも通知しますので掲示に注意してください。

Q 6 「各学部・学科における卒業要件単位一覧」（10 ページ参照）にある単位数は、前学期に全て修得しなければならないのですか。

A 6 半期ではなく、1年間で修得すべき単位数です。教養教育科目での履修は、1年次で終了することが原則です。2年次以降は、専門科目の履修が中心となりますので、1年間で教養教育科目の単位が修得できるように履修計画を立ててください。

.....

Q 7 地域志向科目は、全ての系から1科目ずつ修得しなければならないのですか。

A 7 全ての系から1科目ずつ地域志向科目を修得する必要はありません。選択科目（人文科学系，社会科学系，自然科学系，医療・健康科学系，総合科目系）のうち，地域志向科目となっている科目を1科目2単位（都市デザイン学部のみ2科目4単位）以上修得する必要があります。どの科目が地域志向科目に該当するかは，10～27ページ「各学部・学科における卒業要件単位一覧及び令和2年度教養教育開設授業科目一覧」で確認してください。

.....

Q 8 「自由科目」「自由選択科目」「自由単位」とはなんですか？

A 8 (1) 自由科目

単位は修得できるが，卒業要件単位には算入しない科目を指します。「自由科目」として履修可能な教養教育科目は学部，学科ごとに定められています。

詳しくは，「令和2年度教養教育開設授業科目一覧」（10ページ参照）をご覧ください。

(2) 自由選択科目

選択科目として学部の定める単位数を超えて修得した単位を，卒業要件単位として算入できる科目を指します。ただし，算入できる単位数は各学部により異なっているため，所属学部に確認してください。

(3) 自由単位

自由科目を履修して修得できた単位を指します。また，卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位を含みます。

.....

Q 9 集中講義の履修登録はいつできますか。

A 9 教養教育科目の集中講義の履修登録は，通常の履修登録期間と別の日程で行われます。登録期間の前に，ヘルシ・システム掲示板等により登録期間・方法等について通知しますので，掲示の確認を怠らないでください。

.....

Q 10 英検2級の資格を持っているので英語科目の単位認定を申請したいです。

A 10 英検やTOEIC等大学以外の教育施設等における学修の認定は，学部により申請期間が定められています。申請を希望する学生は，所属する学部の教務担当窓口に申し出てください。初修外国語についても，単位認定が可能な科目があります。詳しくは，51ページを参照してください。

.....

Q 11 英語科目の単位認定はTOEIC IPテストのスコアでもよいのですか。

A 11 TOEIC IPテストでも単位を認定することができます。認定の基準はTOEIC公開テストと同じです。

.....



Q12 現在の履修状況で、教養教育の卒業要件単位を満たすことができるのか確認をしたいです。

A12 ヘルン・システムから、教養教育の卒業要件単位を満たしているかを確認することができます。

ヘルン・システム>「成績・判定」>「判定」>「資格自己判定」をクリックし、自身の所属する学部、学年、資格を選択し、「判定」をクリックすると画面が表示されます。

本機能による資格判定は、あくまで補足的なものです。自身の所属する学部の卒業要件単位をみたしているか、必ず卒業要件や単位数を自身で確認してください。

単位認定の申請をした場合、資格自己判定に反映が遅れる場合があります。わからないことや不安なことがあれば教養教育支援室まで相談に来てください。

## 初修外国語

Q13 履修する言語を途中で変えることができますか。

A13 できません。自身の初修外国語の卒業要件単位を満たしたうえで、さらに他の言語を学びたいということであれば教養教育支援室に相談に来てください。

Q14 学部の卒業要件単位上は2単位のための修得でよいため、前学期に2単位モデルの履修登録をしていましたが、初修外国語をより深く学びたいので、引き続き後学期も履修したいです。追加で履修登録をすることはできますか。

A14 追加の履修は可能です。詳しくは、履修登録ガイダンス内及び掲示板、ヘルン・システムで別途通知します。掲示の確認を怠らないでください。

Q15 4単位モデルで履修登録をしたが、専門科目と曜限が重複したため、後学期の履修を取り消したいです。卒業に必要な初修外国語の単位が修得できる見込みです。

A15 取消は可能です。取消方法については、別途お知らせします。ただし、人文学部・経済学部については4単位修得することが必要なため、履修取消はできません。

## その他

Q16 レポートを間違えたボックスに入れました。どうしたらよいですか。

A16 速やかに教養教育支援室まで申し出てください。

Q17 講義内容について質問があり、先生と連絡を取りたいです。

A17 ヘルン・システムから学内向けシラバスを確認してください。先生のメールアドレス等、連絡先が記載されていることがあります。Web シラバス・とみだい iNfo からでは学内向けのシラバスを確認できないため、注意してください。連絡先が記載されていない場合は、オフィスアワーを確認し、先生の研究室を訪ねてください。

担当教員が非常勤の場合も、シラバスに連絡先やオフィスアワーが記載されていることがありますので、一度シラバスを確認してください。シラバスに連絡先の記載がなく、至急の場合は、教養教育支援室まで来てください。

Q18 学生証を忘れてしまい、カードリーダーにタッチすることができませんでした。

A18 教養教育科目では、カードリーダーによる出席管理をしています。学生証を忘れた、紛失した、再発行中等の理由でカードリーダーにかざすことができない場合は「出欠調査票」により出欠登録を行います。教養教育支援室で「出欠調査票」を渡していますので、授業前に窓口に取りに来てください。「出欠調査票」に必要事項を記入し、担当教員のサインまたは確認印を付した上で教養教育支援室へ提出することでヘルン・システムに出席と登録されます。

Q19 出席登録をする際に、誤って、異なる教室のカードリーダーに学生証をかざしてしまいました。正しく登録されますか。

A19 履修登録されていない授業の教室で学生証をかざした場合、エラーとなり登録されません。誤った教室で学生証をかざした後でも、当該授業時間中に正しい教室でかざせば問題なく登録されます。

Q20 やむを得ず授業を欠席したいです。

A20 病気、忌引き等、やむを得ず授業を欠席する場合は、自身が所属する学部の教務担当窓口ご連絡し(92ページ「緊急時の問い合わせ窓口」参照)、次回授業時に担当教員に申し出てください。教養教育では、公欠制度はありません。ただし、試験時に真にやむを得ない理由により欠席する場合は、追試験を受けることができます。詳しくは本ガイド49ページをご覧ください。



.....

Q21 共通教育棟で落とし物をしてしまいました。どこに問い合わせをすればよいですか。

A21 まずは、教室など心当たりのある場所を探してみましょう。机の中や横に忘れ物をしていませんか？忘れ物が教室の前方に集められている場合もあります。C11 教室前のガラスケース内に自身のものである場合は、教養教育支援室までお声がけください。

教室を探しても、ガラスケースの中にもない場合は、教養教育支援室に来てください。届けられていることもあります。

共通教育棟以外で落とし物や忘れ物をした場合は、各学部教務事務室や学生支援課に届けられますので確認をしてください。

名前が記入してあると連絡をすることができますので、持ち物には記名をしてください。

.....

Q22 落とし物を拾いました。どこに届ければよいですか。

A22 落とし物を拾った場合は、拾得した場所の最寄りの事務室に届けてください。

.....

教室はキレイに使いましょう。

退室する時は、忘れ物がないか確認しましょう。

教室を最後に退室する方は、窓を閉め、照明や暖房・冷房を切りましょう。

## Ⅷ 関係規則

### 富山大学教養教育履修規則

平成30年3月27日制定

令和元年9月24日改正

令和2年3月16日改正

#### (趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学学則（以下「学則」という。）第60条第3項の規定に基づき、富山大学における教養教育の授業科目（以下「教養教育科目」という。）、単位数及び履修方法に関し、必要な事項を定める。

#### (教養教育の目的)

第2条 教養教育では、学修の基礎となる幅広い知識を身に付け、地域社会及び国際社会において活躍できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材の養成を目的とする。

#### (定義)

第3条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 必修科目 卒業要件として必ず単位を修得すべき授業科目をいう。
- (2) 選択科目 学生の履修目的に応じて選択することができる授業科目であって、修得単位を卒業要件に算入する授業科目をいう。
- (3) 自由科目 認定した単位を卒業要件に算入しない授業科目をいう。
- (4) 地域志向科目 富山大学地域課題解決型人材育成プログラムに関する授業科目履修内規第2条に規定する地域志向科目群に属する教養教育科目をいう。

#### (授業科目の区分)

第4条 教養教育科目の区分は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 人文科学系
- (2) 社会科学系
- (3) 自然科学系
- (4) 理系基盤教育系
- (5) 医療・健康科学系
- (6) 総合科目系
- (7) 外国語系
- (8) 保健体育系
- (9) 情報処理系

#### (授業科目及び単位数)

第5条 教養教育科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

- 2 学部が教養教育科目として履修させる授業科目名、必修・選択の別、単位数等については、別表第2から2の11までのとおりとする。

#### (修得単位数)

第6条 教養教育科目として修得しなければならない単位数については、別表第3のとおりとする。

#### (単位計算方法)

第7条 各授業科目の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- 2 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、前項に規定する基準を考慮し、その組み合わせに応じて定めることができる。

(授業科目の公示)

第8条 各学期に開設する授業科目、授業時間数及び授業担当教員等は、学年又は学期の初めに公示する。

(履修申告)

第9条 学生は、履修しようとする授業科目（以下「履修科目」という。）について、あらかじめ所定の期間内に履修申告をしなければならない。

- 2 履修申告をしなかった授業科目は、単位の認定を受けることができない。
- 3 履修科目を登録した後に、履修科目を変更するとき又は授業科目の履修を取りやめるときは、所定の期日までに履修科目の変更又は取消しを登録しなければならない。
- 4 同じ授業科目が、同一時間帯に複数開設される場合、指定された授業クラス以外の受講は、原則として認めない。
- 5 経済学部夜間主コース以外の学生は、教養教育院が特に認めた場合を除き、経済学部夜間主コースに開講する授業科目を履修することができない。
- 6 経済学部夜間主コースの学生は、別表第2の4に掲げる授業科目で、富山大学授業に関する要項第2条第1項において規定する経済学部夜間主コース1時限及び2時限以外に開講するものについても履修することができる。

(履修科目の登録単位数の上限)

第10条 学生が教養教育の履修科目として登録することができる単位数の上限は、各学部の定めるところによる。

(成績評価及び単位の授与)

第11条 授業科目を履修し、試験等に合格した者には、教養教育院長は所定の単位を与える。

- 2 授業科目の成績は、100点を満点として次のとおりとし、秀、優、良及び可を合格とする。

秀	90点以上
優	80点以上90点未満
良	70点以上80点未満
可	60点以上70点未満
不可	60点未満

(試験)

第12条 試験は、学期末に行う。ただし、必要がある場合は、学期末以外の時期に行うことがある。

- 2 試験に関し必要な事項は、別に定める。

(追試験)

第13条 学生が、病気その他やむを得ない事由により試験を受けることができなかった場合は、願い出により追試験を受けることができる。

- 2 追試験に関し必要な事項は、別に定める。

(再履修)

第14条 成績評価の結果、成績が不可と評価された授業科目の単位を修得する場合は、次学期以降に開講される当該授業科目を再履修することができる。

- 2 再履修に関し必要な事項は、別に定める。

(再試験)

第15条 成績評価の結果、所属学部が必修としている授業科目（講義に限る。）の成績が不可と評価され再履修ができない特段の事情があると認められる場合に限り、再試験を行うことがある。

- 2 再試験に関し必要な事項は、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第16条 学則第65条の規定に基づき、文部科学大臣が別に定める学修を、本学の教養教育科目の履修とみなし、

学部の定めるところにより単位を与えることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第17条 学則第66条の規定に基づき、教養教育に関する入学前の既修得単位は、所属学部と教養教育院で審査の上、本学における教養教育科目の履修により修得したものとみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。

(その他)

第18条 この規則に定めるもののほか、教養教育科目の履修に関し必要な事項は、教養教育院教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 平成31年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表第1 授業科目及び単位数 (第5条関係)

系列	授業科目名	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	2	
	人間と倫理	2	
	こころの科学	2	
	現代と教育	2	
	日本の歴史と社会	2	
	東洋の歴史と社会	2	
	西洋の歴史と社会	2	
	日本文学	2	
	外国文学	2	
	言語と文化	2	
	音楽	2	
	美術	2	
	言語表現	2	
	治療の文化史	2	
	異文化間コミュニケーション	2	
	異文化理解	2	外国人留学生限定
	現代社会論	2	
	日本国憲法	2	
	国家と市民	2	
	経済生活と法	2	
市民生活と法	2		
はじめての経済学	2		
産業と経済を学ぶ	2		
経営資源のとりえ方	2		
市場と企業の関係	2		
地域の経済と社会・文化	2		
地球と環境	2		
生命の世界	2		
物理の世界	2		
化学物質の世界	2		
自然と情報の数理	2		
社会と情報の数理	2		
技術の世界	2		
材料の科学	2		
生活の科学	2		
コンピュータの話	2		
デザインと生物	2		
解析学-A	2		
解析学-B	2		
微分積分I-A	2		
微分積分I-B	2		
微分積分I-C	2		
微分積分I-D	2		
微分積分I-E	2		
線形代数	2		
線形代数I-A	2		
線形代数I-B	2		

	線形代数I-C	2	
	線形代数I-D	2	
	線形代数I-E	2	
	自然現象のモデル化とその解析	2	
	物理学序説I	2	
	物理学序説II	2	
	物理学I-A	2	
	物理学I-B	2	
	物理学II-A	2	
	物理学II-B	2	
	物理学実験-A	1	
	物理学実験-B	1	
	基礎物理学-A	2	
	基礎物理学-B	2	
	現代物理学入門	2	
	基礎化学-A	2	
	基礎化学-B	2	
	生体有機化学	2	
	化学実験-A	1	
	化学実験-B	1	
	基礎化学-C	2	
	基礎化学-D	2	
	基礎化学-E	2	
	量子化学入門	2	
	生命科学 I-A	2	
	生命科学 I-B	2	
	生命科学 I-C	2	
	生命科学 II-A	2	
	生命科学 II-B	2	
	生命科学 II-C	2	
	生物学実験-A	1	
	生物学実験-B	1	
	基礎生物学-A	2	
	基礎生物学-B	2	
	生物無機化学入門	2	
	生物圏環境科学概論	2	
	医療心理学	2	
医療・健康科学系	概説医療心理学	1	
	認知科学	2	
	脳科学入門	2	
	生命科学入門	1	
	免疫学入門	2	
	身近な医学	2	
	障害とアクセシビリティ	2	
	医療と地域社会	2	
	環境	2	
	ジェンダー	2	
	技術と社会	2	
	現代文化	2	
	人権と福祉	2	

環日本海	2		
科学と社会	2		
アカデミック・デザイン	2		
ビジネス思考	2		
平和学入門	2		
東アジア共同体論-政治・経済・文化- 新聞投稿に挑戦	2		
富山から考える震災・復興学	2		
環境と安全管理	2		
万葉学	2		
日本海学	2		
富山大学学	2		
とやま地域学	2		
時事問題	2		
災害救援ボランティア論	2		
感性をほぐくむ	2		
日本事情/芸術文化	2	外国人留学生限定	
日本事情/自然社会	2	外国人留学生限定	
学士力・人間力基礎	2		
富山学	2		
地域ライフプラン	2		
産業観光学	2		
富山のものづくり概論	2		
富山の地域づくり	2		
英語リテラシーⅠ-A	1		
英語リテラシーⅠ-B	1		
英語リテラシーⅠ-C	1		
英語リテラシーⅠ-D	1		
英語リテラシーⅠ-E	1		
英語リテラシーⅡ-A	1		
英語リテラシーⅡ-B	1		
英語リテラシーⅡ-C	1		
英語リテラシーⅡ-D	1		
英語リテラシーⅡ-E	1		
英語リテラシーⅢ-A	1		
英語リテラシーⅢ-B	1		
英語リテラシーⅢ-C	1		
英語リテラシーⅢ-D	1		
英語リテラシーⅢ-E	1		
英語リテラシーⅣ-A	1		
英語リテラシーⅣ-B	1		
英語リテラシーⅣ-C	1		
英語リテラシーⅣ-D	1		
英語リテラシーⅣ-E	1		
ドイツ語基礎Ⅰ	1		
ドイツ語基礎Ⅱ	1		
ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		
ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		
フランス語基礎Ⅰ	1		
フランス語基礎Ⅱ	1		

外国語系

フランス語コミュニケーションⅠ	1		
フランス語コミュニケーションⅡ	1		
中国語基礎Ⅰ	1		
中国語基礎Ⅱ	1		
中国語コミュニケーションⅠ	1		
中国語コミュニケーションⅡ	1		
朝鮮語基礎Ⅰ	1		
朝鮮語基礎Ⅱ	1		
朝鮮語コミュニケーションⅠ	1		
朝鮮語コミュニケーションⅡ	1		
ロシア語基礎Ⅰ	1		
ロシア語基礎Ⅱ	1		
ロシア語コミュニケーションⅠ	1		
ロシア語コミュニケーションⅡ	1		
日本語リテラシーⅠ	1	外国人留学生限定	
日本語リテラシーⅡ	1	外国人留学生限定	
日本語コミュニケーションⅠ	1	外国人留学生限定	
日本語コミュニケーションⅡ	1	外国人留学生限定	
発展多言語演習ドイツ語	1		
発展多言語演習中国語	1		
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1		
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1		
日本語コミュニケーションⅢ	1	外国人留学生限定	
日本語リテラシーⅢ	1	外国人留学生限定	
日本語/専門研究	1	外国人留学生限定	
日本語/ビジネス	1	外国人留学生限定	
健康・スポーツ/講義	1		
健康・スポーツ/実技	2		
情報処理-A	2		
情報処理-B	2		
情報処理-C	2		
応用情報処理	2		

保健  
体育系

情報  
処理系

別表第2 人文学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2		
はじめの経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
生命の世界	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
医療心理学	選択	2		
認知科学	選択	2		
脳科学入門	選択	2		
免疫学入門	選択	2		
身近な医学	選択	2		
障害とアクセシビリティ	選択	2		
医療と地域社会	選択	2		
環覧	選択	2		
ジェンダー	選択	2		
技術と社会	選択	2		

科目系

科目系	現代文化	選択	2
外国語系	人権と福祉	選択	2
	環日本海	選択	2
	科学と社会	選択	2
	アカデミック・デザイン	選択	2
	ビジネス思考	選択	2
	平和学入門	選択	2
	東アジア共同体論 - 政治・経済・文化 -	選択	2
	新聞投稿に挑戦	選択	2
	富山から考える震災・復興学	選択	2
	環境と安全管理	選択	2
	万葉学	選択	2
	日本海学	選択	2
	富山大学学	選択	2
	とやま地域学	選択	2
	時事的問題	選択	2
	災害救援ボランティア論	選択	2
	感性をはぐくむ	選択	2
	日本事情/芸術文化	選択	2
	日本事情/自然社会	選択	2
	学士力・人間力基礎	選択	2
	富山学	選択	2
	地域ライフブラン	選択	2
	産業観光学	選択	2
	富山のものづくり概論	選択	2
	富山の地域づくり	選択	2
	英語リテラシーⅠ-A	必修	1
	英語リテラシーⅡ-A	必修	1
	英語コミュニケーションⅠ-A	必修	1
	英語コミュニケーションⅡ-A	必修	1
	ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1
	ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1
	フランス語基礎Ⅰ	選択	1
	フランス語基礎Ⅱ	選択	1
	フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1
	フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1
	中国語基礎Ⅰ	選択	1
	中国語基礎Ⅱ	選択	1
	中国語コミュニケーションⅠ	選択	1
	中国語コミュニケーションⅡ	選択	1
	朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	



日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留學生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留學生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
日本語コミュニケーションⅢ	自由	1	外国人留學生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留學生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留學生限定
日本語/ビジネス	自由	1	
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理-A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

別表第2の2 人間発達科学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
異文化理解	選択	2	外国人留學生限定	
現代社会論	選択	2		
日本国憲法	選択	2		
国家と市民	選択	2		
経済生活と法	選択	2		
市民生活と法	選択	2		
はじめての経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
生命の世界	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
医療心理学	選択	2		
概説医療心理学	選択	1		
認知科学	選択	2		
脳科学入門	選択	2		
生命科学入門	選択	1		
免疫学入門	選択	2		
身近な医学	選択	2		
障害とアクセシビリティ	選択	2		
医療と地域社会	選択	2		
環境	選択	2		
ジェンダー	選択	2		
総合				

ロシア語コミュニケーションII	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーI	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーII	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションI	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションII	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語I	自由	1	
発展多言語演習ラテン語II	自由	1	
発展多言語演習ラテン語III	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーIII	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理-A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

技術と社会	選択	2	
現代文化	選択	2	
人権と福祉	選択	2	
環日本海	選択	2	
科学と社会	選択	2	
アカデミック・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	2	
ビジネス入門	選択	2	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	選択	2	
新聞投稿に挑戦	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
万葉学	選択	2	
日本海学	選択	2	
富山大学学	選択	2	
とやま地域学	選択	2	
時事的問題	選択	2	
災害救援ボランティア論	選択	2	
感性をほぐくむ	選択	2	
日本事情/芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
日本事情/自然社会	選択	2	外国人留学生限定
学生力・人間力基礎	選択	2	
富山学	選択	2	
地域ライフブラン	選択	2	
産業観光学	選択	2	
富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	
英語リテラシーI-A	必修	1	
英語リテラシーII-A	必修	1	
英語コミュニケーションI-A	必修	1	
英語コミュニケーションII-A	必修	1	
ドイツ語基礎I	選択	1	
ドイツ語基礎II	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションI	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションII	選択	1	
フランス語基礎I	選択	1	
フランス語基礎II	選択	1	
フランス語コミュニケーションI	選択	1	
フランス語コミュニケーションII	選択	1	
中国語基礎I	選択	1	
中国語基礎II	選択	1	
中国語コミュニケーションI	選択	1	
中国語コミュニケーションII	選択	1	
朝鮮語基礎I	選択	1	
朝鮮語基礎II	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションI	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションII	選択	1	
ロシア語基礎I	選択	1	
ロシア語基礎II	選択	1	
ロシア語コミュニケーションI	選択	1	

科目系

外国語系

別表第2の3 経済学部 (昼間主コース)

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	社会科学系	経済生活と法	選択	2
	市民生活と法	選択	2	
	はじめの経済学	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
自然科学系	物理の世界	選択	2	
	化学物質の世界	選択	2	
	自然と情報の数理	選択	2	
	社会と情報の数理	選択	2	
	技術の世界	選択	2	
	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
	デザインと生物	選択	2	
医療・健康科学系	医療心理学	選択	2	
	認知科学	選択	2	
	脳科学入門	選択	2	
	免疫学入門	選択	2	
	身近な医学	選択	2	
	障害とアクセシビリティ	選択	2	
	医療と地域社会	選択	2	
	環覧	選択	2	
総合	ジェンダー	選択	2	
	技術と社会	選択	2	

科目系	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
外国語系	現代文化	選択	2	
	人権と福祉	選択	2	
	環日本海	選択	2	
	科学と社会	選択	2	
	アカデミック・デザイン	選択	2	
	ビジネス思考	選択	2	
	平和学入門	選択	2	
	東アジア共同体論 - 政治・経済・文化 -	選択	2	
	新聞投稿に挑戦	選択	2	
	富山から考える震災・復興学	選択	2	
	環境と安全管理	選択	2	
	万葉学	選択	2	
	日本海学	選択	2	
	富山大学学	選択	2	
	とやま地域学	選択	2	
	時事的問題	選択	2	
	災害救援ボランティア論	選択	2	
	感性をほぐくむ	選択	2	
	日本事情/芸術文化	選択	2	外国人留學生限定
	日本事情/自然社会	選択	2	外国人留學生限定
	富山学	選択	2	
	地域ライブラプラン	選択	2	
	産業観光学	選択	2	
	富山のものづくり概論	選択	2	
	富山の地域づくり	選択	2	
	英語リテラシーⅠ-A	必修	1	
	英語リテラシーⅡ-A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅠ-A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅡ-A	必修	1	
	ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1	
	ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1	
フランス語基礎Ⅰ	選択	1		
フランス語基礎Ⅱ	選択	1		
フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1		
フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1		
中国語基礎Ⅰ	選択	1		
中国語基礎Ⅱ	選択	1		
中国語コミュニケーションⅠ	選択	1		
中国語コミュニケーションⅡ	選択	1		
朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1		
朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1		
朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1		
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1		
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1		
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1		
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1		
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1		
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留學生限定	

日本語リテラシーII	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションI	選択	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションII	選択	1	外国人留學生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語I	自由	1	
発展多言語演習ラテン語II	自由	1	外国人留學生限定
日本語リテラシーIII	自由	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーションIII	自由	1	外国人留學生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留學生限定
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理-A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

別表第2の4 経済学部 (夜間主コース)

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
社会科学系	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
	市民生活と法	選択	2	
	はじめの経済学	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
	物理の世界	選択	2	
	化学物質の世界	選択	2	
	自然と情報の数理	選択	2	
	社会と情報の数理	選択	2	
	技術の世界	選択	2	
	自然科学系	材料の科学	選択	2
生活の科学		選択	2	
コンピュータの話		選択	2	
デザインと生物		選択	2	
医療心理学		選択	2	
認知科学		選択	2	
脳科学入門		選択	2	
免疫学入門		選択	2	
身近な医学		選択	2	
障害とアクセシビリティ		選択	2	
医療と地域社会		選択	2	
環視		選択	2	
ジェンダー		選択	2	
技術と社会		選択	2	

日本語リテラシーII	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションI	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションII	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語I	自由	1	
発展多言語演習ラテン語II	自由	1	
発展多言語演習ラテン語III	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーIII	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理-A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

保健体育系  
情報  
処理系

現代文化	選択	2	
人権と福祉	選択	2	
環日本海	選択	2	
科学と社会	選択	2	
アカデミック・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	2	
平和学入門	選択	2	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	選択	2	
新聞投稿に挑戦	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
万葉学	選択	2	
日本語学	選択	2	
富山大学学	選択	2	
とやま地域学	選択	2	
時事的問題	選択	2	
災害救援ボランティア論	選択	2	
感性をめぐくむ	選択	2	
日本事情/芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
日本事情/自然社会	選択	2	外国人留学生限定
富山学	選択	2	
地域ライブララン	選択	2	
産業観光学	選択	2	
富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	
英語リテラシーI-A	必修	1	
英語リテラシーII-A	必修	1	
英語コミュニケーションI-A	必修	1	
英語コミュニケーションII-A	必修	1	
ドイツ語基礎I	選択	1	
ドイツ語基礎II	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションI	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションII	選択	1	
フランス語基礎I	選択	1	
フランス語基礎II	選択	1	
フランス語コミュニケーションI	選択	1	
フランス語コミュニケーションII	選択	1	
中国語基礎I	選択	1	
中国語基礎II	選択	1	
中国語コミュニケーションI	選択	1	
中国語コミュニケーションII	選択	1	
朝鮮語基礎I	選択	1	
朝鮮語基礎II	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションI	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションII	選択	1	
ロシア語基礎I	選択	1	
ロシア語基礎II	選択	1	
ロシア語コミュニケーションI	選択	1	
ロシア語コミュニケーションII	選択	1	
日本語リテラシーI	選択	1	外国人留学生限定

外国語系

別表第2の5 理学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2		
はじめの経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
生命の世界	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
医療心理学	選択	2		
概説医療心理学	選択	1		
認知科学	選択	2		
脳科学入門	選択	2		
生命科学入門	選択	1		
免疫学入門	選択	2		
身近な医学	選択	2		
障書とアセスメント	選択	2		
医療と地域社会	選択	2		
環境	選択	2		
総合				

科目系

ジェンダー	選択	2	
技術と社会	選択	2	
現代文化	選択	2	
人権と福祉	選択	2	
環日本海	選択	2	
科学と社会	選択	2	
アカデミック・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	2	
平和学入門	選択	2	
東アジア共同体論 - 政治・経済・文化 -	選択	2	
新聞投稿に挑戦	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
万葉学	選択	2	
日本海学	選択	2	
富山大学学	選択	2	
とやま地域学	選択	2	
時事的問題	選択	2	
災害救援ボランティア論	選択	2	
感性をほぐくむ	選択	2	
日本事情 / 芸術文化	選択	2	外国人留學生限定
日本事情 / 自然社会	選択	2	外国人留學生限定
学士力・人間力基礎	選択	2	
富山学	選択	2	
地域ライブラプラン	選択	2	
産業観光学	選択	2	
富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	
英語リテラシー I - A	必修	1	
英語リテラシー II - A	必修	1	
英語コミュニケーション I - A	必修	1	
英語コミュニケーション II - A	必修	1	
ドイツ語基礎 I	選択	1	
ドイツ語基礎 II	選択	1	
ドイツ語コミュニケーション I	選択	1	
ドイツ語コミュニケーション II	選択	1	
フランス語基礎 I	選択	1	
フランス語基礎 II	選択	1	
フランス語コミュニケーション I	選択	1	
フランス語コミュニケーション II	選択	1	
中国語基礎 I	選択	1	
中国語基礎 II	選択	1	
中国語コミュニケーション I	選択	1	
中国語コミュニケーション II	選択	1	
朝鮮語基礎 I	選択	1	
朝鮮語基礎 II	選択	1	
朝鮮語コミュニケーション I	選択	1	
朝鮮語コミュニケーション II	選択	1	
ロシア語基礎 I	選択	1	
ロシア語基礎 II	選択	1	

外国語系

ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理一A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

別表第2の6 医学部医学科

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	社会科学系	国家と市民	選択	2
経済生活と法	選択	2		
市民生活と法	選択	2		
はじめの経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域と経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	自由	2		
生命の世界	自由	2		
物理の世界	自由	2		
化学物質の世界	自由	2		
自然と情報の数理	自由	2		
社会と情報の数理	自由	2		
技術の世界	自由	2		
材料の科学	自由	2		
生活の科学	自由	2		
コンピュータの話	自由	2		
デザインと生物	自由	2		
自然科学系	生命科学Ⅰ-A	必修	2	
生命科学Ⅱ-A	必修	2		
生物学実験-A	必修	1		
解析学-A	選択	2	「解析学-A」と「解析学-B」からいずれか一つを選択必修	
解析学-B	選択	2	「解析学-A」と「解析学-B」からいずれか一つを選択必修	
線形代数	選択	2		
物理学Ⅰ-A	選択	2	「物理学Ⅰ-A」と「物理学Ⅰ-B」からいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅰ-B	選択	2	「物理学Ⅰ-A」と「物理学Ⅰ-B」からいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅱ-A	選択	2	「物理学Ⅱ-A」と「物理学Ⅱ-B」からいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅱ-B	選択	2	「物理学Ⅱ-A」と「物理学Ⅱ-B」からいずれか一つを選択必修	



ドイツ語基礎 I	選択	1
ドイツ語基礎 II	選択	1
ドイツ語コミュニケーション I	選択	1
ドイツ語コミュニケーション II	選択	1
フランス語基礎 I	選択	1
フランス語基礎 II	選択	1
フランス語コミュニケーション I	選択	1
フランス語コミュニケーション II	選択	1
中国語基礎 I	選択	1
中国語基礎 II	選択	1
中国語コミュニケーション I	選択	1
中国語コミュニケーション II	選択	1
朝鮮語基礎 I	選択	1
朝鮮語基礎 II	選択	1
朝鮮語コミュニケーション I	選択	1
朝鮮語コミュニケーション II	選択	1
ロシア語基礎 I	選択	1
ロシア語基礎 II	選択	1
ロシア語コミュニケーション I	選択	1
ロシア語コミュニケーション II	選択	1
日本語リテラシー I	選択	1
日本語リテラシー II	選択	1
日本語リテラシー III	選択	1
日本語コミュニケーション I	選択	1
日本語コミュニケーション II	選択	1
発展多言語演習ドイツ語	自由	1
発展多言語演習中国語	自由	1
発展多言語演習ラテン語 I	自由	1
発展多言語演習ラテン語 II	自由	1
発展多言語演習ラテン語 III	自由	1
日本語リテラシー III	自由	1
日本語/専門研究	自由	1
日本語/ビジネス	自由	1
健康・スポーツ/講義	選択	1
健康・スポーツ/実技	必修	1
情報処理 - B	必修	2
応用情報処理	自由	2

物理学実験 - A	必修	1
現代物理学入門	選択	2
基礎化学 - A	必修	2
生体有機化学	必修	2
化学実験 - A	必修	1
量子化学入門	選択	2
自然現象のモデル化とその解析	選択	2
生物無機化学入門	選択	2
医療心理学	自由	2
概説医療心理学	必修	1
認知科学	選択	2
脳科学入門	選択	2
生命科学入門	選択	1
免疫学入門	選択	2
身近な医学	選択	2
障害とアクセシビリティ	選択	2
医療と地域社会	選択	2
環境	選択	2
ジェンダー	選択	2
技術と社会	選択	2
現代文化	選択	2
人権と福祉	選択	2
環日本海	選択	2
科学と社会	選択	2
アカデミック・デザイン	選択	2
ビジネス思考	選択	2
平和学入門	選択	2
東アジア共同体論 - 政治・経済・文化 -	選択	2
新聞投稿に挑戦	選択	2
富山から考える震災・復興学	選択	2
環境と安全管理	選択	2
万葉学	選択	2
日本海学	選択	2
富山大学学	選択	2
とやま地域学	選択	2
時事的問題	選択	2
災害救援ボランティア論	選択	2
感性をはぐくむ	選択	2
日本事情/芸術文化	選択	2
日本事情/自然社会	選択	2
学士力・人間力基礎	選択	2
富山学	選択	2
地域ライブララン	選択	2
産業観光学	選択	2
富山のものづくり概論	選択	2
富山の地域づくり	選択	2
英語リテラシー I - B	必修	1
英語リテラシー II - B	必修	1
英語コミュニケーション I - B	必修	1
英語コミュニケーション II - B	必修	1

別表第2の7 医学部看護学科

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2		
はじめの経済学	選択	2		
産業と経済を学ぶ	選択	2		
経営資源のとらえ方	選択	2		
市場と企業の関係	選択	2		
地域の経済と社会・文化	選択	2		
地球と環境	選択	2		
物理の世界	選択	2		
化学物質の世界	選択	2		
自然と情報の数理	選択	2		
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
生命科学 I-C	必修	2	3年次編入学生は選択	
生命科学 II-C	必修	2	3年次編入学生は選択	
線形代数学	選択	2		
現代物理学入門	選択	2		
量子化学入門	選択	2		
自然現象のモデル化とその解析	選択	2		
生物無機化学入門	選択	2		
医療心理学	選択	2		
概説医療心理学	選択	1		
認知科学	選択	2		
脳科学入門	選択	2		

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
総合科目系	生命科学入門	選択	1	
	免疫学入門	選択	2	
	障害とアクセシビリティ	選択	2	
	医療と地域社会	選択	2	
	環境	選択	2	
	ジェンダー	選択	2	
	技術と社会	選択	2	
	現代文化	選択	2	
	人権と福祉	選択	2	
	環日本海	選択	2	
	科学と社会	選択	2	
	アカデミック・デザイン	選択	2	
	ビジネス思考	選択	2	
	平和学入門	選択	2	
	東アジア共同体論-政治・経済・文化-新聞投稿に挑戦	選択	2	
	富山から考える震災・復興学	選択	2	
	環境と安全管理	選択	2	
	方葉学	選択	2	
	日本海学	選択	2	
	富山大学学	選択	2	
	とやま地域学	選択	2	
	時事的問題	選択	2	
	災害救援ボランティア論	選択	2	
	日本事情/芸術文化	選択	2	
	日本事情/自然社会	選択	2	外国人留學生限定
	学士力・人間力基礎	選択	2	外国人留學生限定
	富山学	選択	2	
	地域ライフプラン	選択	2	
	産業観光学	選択	2	
	富山のものづくり概論	選択	2	
	富山の地域づくり	選択	2	
	英語リテラシー I-D	必修	1	
	英語リテラシー II-D	必修	1	
	英語コミュニケーション I-D	必修	1	
	英語コミュニケーション II-D	必修	1	
ドイツ語基礎 I	選択	1		
ドイツ語基礎 II	選択	1		
ドイツ語コミュニケーション I	選択	1		
ドイツ語コミュニケーション II	選択	1		
フランス語基礎 I	選択	1		
フランス語基礎 II	選択	1		
フランス語コミュニケーション I	選択	1		
フランス語コミュニケーション II	選択	1		
中国語基礎 I	選択	1		
中国語基礎 II	選択	1		
中国語コミュニケーション I	選択	1		
中国語コミュニケーション II	選択	1		
朝鮮語基礎 I	選択	1		
朝鮮語基礎 II	選択	1		

朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅢ	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	選択	1	
健康・スポーツ/実技	選択	1	
情報処理-B	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

別表第2の8 薬学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考	
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2		
	人間と倫理	選択	2		
	こころの科学	選択	2		
	現代と教育	選択	2		
	日本の歴史と社会	選択	2		
	東洋の歴史と社会	選択	2		
	西洋の歴史と社会	選択	2		
	日本文学	選択	2		
	外国文学	選択	2		
	言語と文化	選択	2		
	音楽	選択	2		
	美術	選択	2		
	言語表現	選択	2		
	治療の文化史	選択	2		
	異文化間コミュニケーション	選択	2	外国人留学生限定	
	現代社会論	選択	2		
	日本国憲法	選択	2		
社会科学系	国家と市民	選択	2		
	経済生活と法	選択	2		
	市民生活と法	選択	2		
	はじめの経済学	選択	2		
	産業と経済を学ぶ	選択	2		
	経営資源のとらえ方	選択	2		
	市場と企業の関係	選択	2		
	地域の経済と社会・文化	選択	2		
	地球と環境	自由	2		
	生命の世界	自由	2		
	物理の世界	自由	2		
	化学物質の世界	自由	2		
	自然と情報の数理	自由	2		
	社会と情報の数理	自由	2		
	技術の世界	自由	2		
	材料の科学	自由	2		
	自然科学系	生活の科学	自由	2	
コンピュータの話		自由	2		
デザインと生物		自由	2		
生命科学Ⅰ-B		必修	2		
生命科学Ⅱ-B		必修	2		
生物学実験-B		必修	1		
解析学-A		選択	2	「解析学-A」と「解析学-B」からいずれか一つを選択必修	
解析学-B		選択	2	「解析学-A」と「解析学-B」からいずれか一つを選択必修	
線形代数学		選択	2		
物理学Ⅰ-A		選択	2	「物理学Ⅰ-A」と「物理学Ⅰ-B」からいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅰ-B		選択	2	「物理学Ⅰ-A」と「物理学Ⅰ-B」からいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅱ-A		選択	2	「物理学Ⅱ-A」と「物理学Ⅱ-B」からいずれか一つを選択必修	
物理学Ⅱ-B		選択	2	「物理学Ⅱ-A」と「物理学Ⅱ-B」からいずれか一つを選択必修	
理系基礎教育系		物理学Ⅱ-A	選択	2	
		物理学Ⅱ-B	選択	2	

物理学実験-B	必修	1
現代物理学入門	選択	2
基礎化学-B	必修	2
化学実験-B	必修	1
量子化学入門	選択	2
自然現象のモデル化とその解析	選択	2
生物無機化学入門	選択	2
微分積分I-A	自由	2
微分積分I-B	自由	2
微分積分I-C	自由	2
微分積分I-D	自由	2
微分積分I-E	自由	2
線形代数I-A	自由	2
線形代数I-B	自由	2
線形代数I-C	自由	2
線形代数I-D	自由	2
線形代数I-E	自由	2
基礎物理学-A	自由	2
基礎物理学-B	自由	2
基礎物理学-C	自由	2
基礎物理学-D	自由	2
基礎物理学-E	自由	2
基礎生物学-A	自由	2
基礎生物学-B	自由	2
物理学序説I	自由	2
物理学序説II	自由	2
生物圏環境科学概論	自由	2
医療心理学	選択	2
概説医療心理学	選択	1
認知科学	選択	2
脳科学入門	選択	2
生命科学入門	選択	1
免疫学入門	選択	2
身近な医学	選択	2
腫瘍とアクセシビリテイ	選択	2
医療と地域社会	選択	2
環境	選択	2
ジェンダー	選択	2
技術と社会	選択	2
現代文化	選択	2
人権と福祉	選択	2
環日本海	選択	2
科学と社会	選択	2
アカデミック・デザイン	選択	2
ビジネス思考	選択	2
平和学入門	選択	2
東アジア共同体論-政治・経済・文化- 新聞投稿に挑戦	選択	2
富山から考える震災・復興学	選択	2
環境と安全管理	選択	2

医療・健康科学系

総合科目系

万葉学	選択	2
日本語学	選択	2
富山大学学	選択	2
とやま地域学	選択	2
時事的問題	選択	2
災害救援ボランティア論	選択	2
感性をばぐくむ	選択	2
日本事情／芸術文化	選択	2
日本事情／自然社会	選択	2
学士力・人間力基礎	選択	2
富山学	選択	2
地域ライフプラン	選択	2
産業観光学	選択	2
富山のものづくり概論	選択	2
富山の地域づくり	選択	2
英語リテラシーI-C	選択	1
英語リテラシーII-C	選択	1
英語コミュニケーションI-C	選択	1
英語コミュニケーションII-C	選択	1
ドイツ語基礎I	選択	1
ドイツ語基礎II	選択	1
ドイツ語コミュニケーションI	選択	1
ドイツ語コミュニケーションII	選択	1
フランス語基礎I	選択	1
フランス語基礎II	選択	1
フランス語コミュニケーションI	選択	1
フランス語コミュニケーションII	選択	1
中国語基礎I	選択	1
中国語基礎II	選択	1
中国語コミュニケーションI	選択	1
中国語コミュニケーションII	選択	1
朝鮮語基礎I	選択	1
朝鮮語基礎II	選択	1
朝鮮語コミュニケーションI	選択	1
朝鮮語コミュニケーションII	選択	1
ロシア語基礎I	選択	1
ロシア語基礎II	選択	1
ロシア語コミュニケーションI	選択	1
ロシア語コミュニケーションII	選択	1
日本語リテラシーI	選択	1
日本語リテラシーII	選択	1
日本語コミュニケーションI	選択	1
日本語コミュニケーションII	選択	1
発展多言語演習ドイツ語	自由	1
発展多言語演習中国語	自由	1
発展多言語演習ラテン語I	自由	1
発展多言語演習ラテン語II	自由	1
日本語コミュニケーションIII	自由	1
日本語リテラシーIII	自由	1
日本語／専門研究	自由	1

外国語系

健康・スポーツ/講義	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/実技	選択	1	
情報処理一B	必修	2	
応用情報処理	自由	2	

別表第2の9 工学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	外国人留学生限定
	社会科学系	現代社会論	選択	2
日本国憲法		選択	2	
国家と市民		選択	2	
経済生活と法		選択	2	
市民生活と法		選択	2	
はじめの経済学		選択	2	
産業と経済を学ぶ		選択	2	
経営資源のとらえ方		選択	2	
市場と企業の関係		選択	2	
地域と経済と社会・文化		選択	2	
地球と環境		選択	2	
生命の世界		選択	2	
物理の世界		選択	2	
化学物質の世界		選択	2	
自然と情報の数理		選択	2	
自然科学系		社会と情報の数理	選択	2
	技術の世界	選択	2	
	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
	デザインと生物	選択	2	
	生命科学 I-A	選択	2	
	生命科学 I-B	選択	2	
	生命科学 I-C	選択	2	
	生命科学 II-A	選択	2	
	生命科学 II-B	選択	2	
	生命科学 II-C	選択	2	
	自然現象のモデル化とその解析	選択	2	
	生物無機化学入門	選択	2	
	物理学序説I	選択	2	
	物理学序説II	選択	2	
理系基礎教育系				

フランス語コミュニケーションII	選択	1	
中国語基礎I	選択	1	
中国語基礎II	選択	1	
中国語コミュニケーションI	選択	1	
中国語コミュニケーションII	選択	1	
朝鮮語基礎I	選択	1	
朝鮮語基礎II	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションI	選択	1	
朝鮮語コミュニケーションII	選択	1	
ロシア語基礎I	選択	1	
ロシア語基礎II	選択	1	
ロシア語コミュニケーションI	選択	1	
ロシア語コミュニケーションII	選択	1	
日本語リテラシーI	必修	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーII	必修	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションI	必修	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションII	必修	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語I	自由	1	
発展多言語演習ラテン語II	自由	1	
発展多言語演習ラテン語III	自由	1	
日本語コミュニケーションIII	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーIII	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	選択	1	
健康・スポーツ/実技	選択	1	
情報処理-A	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

生物環境科学概論	選択	2	
医療心理学	選択	2	
概説医療心理学	選択	1	
認知科学	選択	2	
脳科学入門	選択	2	
生命科学入門	選択	1	
免疫学入門	選択	2	
身近な医学	選択	2	
障害とアクセシビリティ	選択	2	
医療と地域社会	選択	2	
環境	選択	2	
ジェンダー	選択	2	
技術と社会	選択	2	
現代文化	選択	2	
人権と福祉	選択	2	
環日本海	選択	2	
科学と社会	選択	2	
アカデミック・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	2	
平和学入門	選択	2	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-新聞投稿に挑戦	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
万薬学	選択	2	
日本海学	選択	2	
富山大学学	選択	2	
とやま地域学	選択	2	
時事問題	選択	2	
災害救援ボランティア論	選択	2	
感性をはぐくむ	選択	2	
日本事情/芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
日本事情/自然社会	選択	2	外国人留学生限定
学士力・人間力基礎	選択	2	
富山学	選択	2	
地域ライフブラン	選択	2	
産業観光学	選択	2	
富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	
英語リテラシーI-A	必修	1	
英語リテラシーII-A	必修	1	
英語コミュニケーションI-A	必修	1	
英語コミュニケーションII-A	必修	1	
ドイツ語基礎I	選択	1	
ドイツ語基礎II	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションI	選択	1	
ドイツ語コミュニケーションII	選択	1	
フランス語基礎I	選択	1	
フランス語基礎II	選択	1	
フランス語コミュニケーションI	選択	1	

別表第2の10 芸術文化学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	
	異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
社会科学系	経済生活と法	選択	2	
	市民生活と法	選択	2	
	はじめの経済学	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
	物理の世界	選択	2	
自然科学系	化学物質の世界	選択	2	
	自然と情報の数理	選択	2	
	社会と情報の数理	選択	2	
	技術の世界	選択	2	
	材料の科学	選択	2	
	生活の科学	選択	2	
	コンピュータの話	選択	2	
	デザインと生物	選択	2	
	微分積分I-E	選択	2	
	線形代数I-E	選択	2	
理学基礎 教育系	医療心理学	選択	2	
	概説医療心理学	選択	1	
	認知科学	選択	2	
	脳科学入門	選択	2	
	生命科学入門	選択	1	
	免疫学入門	選択	2	
	身近な医学	選択	2	
	障害とアクセシビリティ	選択	2	

医療と地域社会	選択	2
環境	選択	2
ジェンダー	選択	2
技術と社会	選択	2
現代文化	選択	2
人権と福祉	選択	2
環日本海	選択	2
科学と社会	選択	2
アカデミック・デザイン	選択	2
ビジネス思考	選択	2
平和学入門	選択	2
東アジア共同体論-政治・経済・文化- 新聞投稿に挑戦	選択	2
富山から考える震災・復興学	選択	2
環境と安全管理	選択	2
万葉学	選択	2
日本海学	選択	2
富山大学学	選択	2
とやま地域学	選択	2
時事的問題	選択	2
災害救援ボランティア論	選択	2
感性をほぐくむ	選択	2
日本事情/芸術文化	選択	2
日本事情/自然社会	選択	2
学生力・人間力基礎	選択	2
富山学	選択	2
地域ライブラプラン	選択	2
産業観光学	選択	2
富山のものづくり概論	選択	2
富山の地域づくり	選択	2
英語リテラシーI-E	必修	1
英語リテラシーII-E	必修	1
英語コミュニケーションI-E	必修	1
英語コミュニケーションII-E	必修	1
ドイツ語基礎I	選択	1
ドイツ語基礎II	選択	1
ドイツ語コミュニケーションI	選択	1
ドイツ語コミュニケーションII	選択	1
フランス語基礎I	選択	1
フランス語基礎II	選択	1
フランス語コミュニケーションI	選択	1
フランス語コミュニケーションII	選択	1
中国語基礎I	選択	1
中国語基礎II	選択	1
中国語コミュニケーションI	選択	1
中国語コミュニケーションII	選択	1
朝鮮語基礎I	選択	1
朝鮮語基礎II	選択	1
朝鮮語コミュニケーションI	選択	1
朝鮮語コミュニケーションII	選択	1

総合科目系

外国語系



ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅲ	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	選択	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理Ⅰ-C	必修	2	

別表第2の11 都市デザイン学部

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	選択	2	
	人間と倫理	選択	2	
	こころの科学	選択	2	
	現代と教育	選択	2	
	日本の歴史と社会	選択	2	
	東洋の歴史と社会	選択	2	
	西洋の歴史と社会	選択	2	
	日本文学	選択	2	
	外国文学	選択	2	
	言語と文化	選択	2	
	音楽	選択	2	
	美術	選択	2	
	言語表現	選択	2	
	治療の文化史	選択	2	
	異文化間コミュニケーション	選択	2	外国人留学生限定
社会科学系	現代社会論	選択	2	
	日本国憲法	選択	2	
	国家と市民	選択	2	
	経済生活と法	選択	2	
	市民生活と法	選択	2	
	はじめの経済学	選択	2	
	産業と経済を学ぶ	選択	2	
	経営資源のとらえ方	選択	2	
	市場と企業の関係	選択	2	
	地域の経済と社会・文化	選択	2	
	地球と環境	選択	2	
	生命の世界	選択	2	
	物理の世界	選択	2	
	化学物質の世界	選択	2	
	自然と情報の数理	選択	2	
社会と情報の数理	選択	2		
技術の世界	選択	2		
材料の科学	選択	2		
生活の科学	選択	2		
コンピュータの話	選択	2		
デザインと生物	選択	2		
医療心理学	選択	2		
概説医療心理学	選択	1		
認知科学	選択	2		
脳科学入門	選択	2		
生命科学入門	選択	1		
免疫学入門	選択	2		
身近な医学	選択	2		
障害とアクセシビリティ	選択	2		
医療と地域社会	選択	2		
環境	選択	2		
総合				

ロシア語コミュニケーションⅠ	選択	1	
ロシア語コミュニケーションⅡ	選択	1	
日本語リテラシーⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅡ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅠ	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーションⅡ	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習ドイツ語	自由	1	
発展多言語演習中国語	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	自由	1	
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	自由	1	
日本語コミュニケーションⅢ	自由	1	外国人留学生限定
日本語リテラシーⅢ	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
日本語/ビジネス	自由	1	外国人留学生限定
健康・スポーツ/講義	選択	1	
健康・スポーツ/実技	選択	1	
情報処理Ⅰ	必修	2	
応用情報処理	選択	2	

科目系	ジェンダー	選択	2	
	技術と社会	選択	2	
	現代文化	選択	2	
	人権と福祉	選択	2	
	環日本権	選択	2	
	科学と社会	選択	2	
	アカデミック・デザイン	選択	2	
	ビジネス思考	選択	2	
	平和学入門	選択	2	
	東アジア共同体論-政治・経済・文化-新聞投稿に挑戦	選択	2	
	富山から考える震災・復興学	選択	2	
	環境と安全管理	選択	2	
	万葉学	選択	2	
	日本海学	選択	2	
	富山大学学	選択	2	
	とやま地域学	選択	2	
	時事的問題	選択	2	
	災害救援ボランティア論	選択	2	
	感性をほぐくむ	選択	2	
	日本事情/芸術文化	選択	2	外国人留学生限定
	日本事情/自然社会	選択	2	外国人留学生限定
	学士力・人間力基礎	選択	2	
	富山学	選択	2	
	地域ライフブラン	選択	2	
	産業観光学	選択	2	
	富山のものづくり概論	選択	2	
	富山の地域づくり	選択	2	
	英語リテラシーⅠ-A	必修	1	
	英語リテラシーⅡ-A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅠ-A	必修	1	
	英語コミュニケーションⅡ-A	必修	1	
	ドイツ語基礎Ⅰ	選択	1	
	ドイツ語基礎Ⅱ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	フランス語基礎Ⅰ	選択	1	
	フランス語基礎Ⅱ	選択	1	
	フランス語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	フランス語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	中国語基礎Ⅰ	選択	1	
	中国語基礎Ⅱ	選択	1	
	中国語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	中国語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	朝鮮語基礎Ⅰ	選択	1	
	朝鮮語基礎Ⅱ	選択	1	
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	選択	1	
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	選択	1	
	ロシア語基礎Ⅰ	選択	1	
	ロシア語基礎Ⅱ	選択	1	
外国語系				

別表第3 修得単位数数 (第6条関係)

1 人文学部

必修科目	選択科目	
人文学系	2 単位以上	地域志向科目を1科目 2単位を必ず含むこ と。
社会科学系	2 単位以上	
自然科学系	4 単位以上	
医療・健康科学系		
総合科目系	4 単位以上	
外国語系	4 単位	英語以外の外国語は同 一言語のみで4単位選 択必修
保健体育系	2 単位	—
情報処理系	2 単位	
計	8 単位	16 単位以上

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として16単位を超えて修得した単位は、16単位まで卒業要件単位として算入する。ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 人文学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ② 社会科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ③ 社会科学系及び医療・健康科学系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ④ 自然科学系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ⑤ 総合科目系で4単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ⑥ 外国語系で4単位を超えて修得した単位は4単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

2 人間発達科学部

必修科目	選択科目	
人文学系	10 単位以上 ただし、人文学系 から2 単位以上、 社会科学系から2 単位以上、自然科学 系から2 単位以上 を含むこと。	地域志向科目を1科目 2単位を必ず含むこ と。
社会科学系		
自然科学系		
医療・健康科学系	—	
総合科目系	—	2 単位以上
外国語系	4 単位	2 単位以上
保健体育系	2 単位	—
情報処理系	2 単位	
計	8 単位	14 単位以上

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として14単位を超えて修得した単位は、医療・健康科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10単位まで卒業要件単位として算入する。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

3 経済学部（昼間主コース）

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位以上	
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	2 単位以上	
外国語系	4 単位	4 単位	英語以外の外国語は同一言語のみで 4 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	16 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
 1. 選択科目として 16 単位を超えて修得した単位は、社会科学系及び情報処理系で修得した単位数を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。  
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

4 経済学部（夜間主コース）

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	14 単位以上	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	1 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	7 単位	14 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
 1. 選択科目として 14 単位を超えて修得した単位は、情報処理系で修得した選択科目を含め、8 単位まで卒業要件単位として算入する。  
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

5 理学部

必修科目	選択科目	
—	6 単位	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (自然科学系は含まない。)
—	6 単位	
—		
—	6 単位以上	
—		
4 単位	2 単位以上	英語以外の外国語は同一言語のみで2単位選択必修
2 単位	—	
2 単位		
8 単位	20 単位以上	
卒業要件単位として算入する単位の上限		
1. 選択科目として20単位を超えて修得した単位は、12単位まで卒業要件単位として算入する。ただし、各系の上限は次のとおりとする。 ① 人文科学系、社会科学系でそれぞれ6単位を超えて修得した単位及び自然科学系で取得した単位は、合計4単位まで。 ② 医療・健康科学系及び総合科目系で6単位を超えて修得した単位は4単位まで。 ③ 外国語系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。 ④ 情報処理系で修得した単位は2単位まで。		
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。		

6 医学部医学科

必修科目	選択科目	
—	6 単位	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
—		
11 単位	次の組み合わせから各2単位、計6単位 ①「解析学-A」と「解析学-B」と「物理学 I-A」と「物理学 I-B」 ②「物理学 II-A」と「物理学 II-B」	
1 単位		
—		
4 単位	2 単位	理系基盤教育系、医療・健康科学系及び保健体育系から2単位以上を含め4単位
1 単位		
—		
4 単位	2 単位	英語以外の外国語は同一言語のみで2単位選択必修
1 単位		
2 単位	—	
19 単位	18 単位	

## 7 医学部看護学科

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	6単位	地域志向科目を1科目2単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—		
自然科学系	—	4単位	
理系基盤教育系	4単位※1		
医療・健康科学系	—	4単位	
総合科目系	—	—	
外国語系	4単位	—	
保健体育系	—	1単位	
情報処理系	2単位	—	
計	10単位※3	20単位※4	5単位※2

※3年次編入学生については、次のとおりとする。

※1：「—」、※2：「9単位」、※3：「6単位」、※4：「24単位」

## 8 薬学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4単位	4単位
社会科学系	—	4単位	
理系基盤教育系	9単位	次の組み合わせから各2単位、計6単位 ①「解析学-A」と「解析学-B」 ②「物理学I-A」と「物理学I-B」 ③「物理学II-A」と「物理学II-B」	
医療・健康科学系	—	2単位	
総合科目系	—	—	
外国語系	—	次の組み合わせから各1単位以上修得し、計6単位修得 ①「英語リテラシーI-C」と「英語リテラシーII-C」 ②「英語コミュニケーションI-C」と「英語コミュニケーションII-C」	
保健体育系	1単位	—	
情報処理系	2単位	—	
計	12単位	26単位	



9 工学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	12 単位以上 ただし、人文科学系 4 単位以上、社会科学系 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。 (理系基盤教育系は含まない。)
社会科学系	—		
自然科学系	—		
理系基盤教育系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位	
外国語系	4 単位		外国人留学生は「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」、「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」を必修とする。
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、人文科学系及び社会科学系で合計 12 単位を超えて修得した単位、自然科学系、理系基盤教育科目並びに医療・健康科学系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。  
ただし、各系の上限は次のとおりとする。  
① 総合科目系で 4 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。  
② 外国語系で 4 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。  
③ 保健体育系で 1 単位を超えて修得した単位は 1 単位まで。  
④ 情報処理系で 2 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。  
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

10 芸術文化学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位	地域志向科目を 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—	4 単位	外国人留学生は外国語系科目全てを選択科目とし、当該留学生にとっての外国語科目の中から 6 単位以上
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位	
外国語系	4 単位	2 単位	
理系基盤教育系	—		
保健体育系	1 単位		
情報処理系	2 単位	—	
計	7 単位	21 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
1. 選択科目として 21 単位を超えて修得した単位は、10 単位まで卒業要件単位として算入する。  
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

11 都市デザイン学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	16 単位以上 ただし、人文科学系から 4 単位以上、社会科学系から 4 単位以上、総合科目系から 4 単位以上を含むこと。	地域志向科目を 2 科目 4 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、外国語系並びに情報処理系で修得した選択科目を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

富山大学教養教育追試験内規

平成30年2月9日制定

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第13条第2項の規定に基づき、教養教育の授業科目の追試験に関し必要な事項を定める。

(追試験願)

第2条 追試験を願い出る場合は、当該科目の試験実施日以前又は試験実施の翌日から原則として5日以内（土、日及び祝日を除く。）に、別に定める追試験許可願に掲げる欠席理由を客観的に証明する書類等を添えて、学務部学務課に提出しなければならない。

本人の傷病	欠席理由	欠席理由を証明する書類等
親族（三親等以内）の死亡	医師の診断書	
就職活動（ただし、採用面接（試験）の受験、採用面接（試験）の受験資格となる説明会への出席に限る。）	会葬状又は死亡診断書 企業、官公庁等発行の証明書又は通知文（就職活動の採用面接（試験）又は採用面接（試験）の受験資格となる説明会の場所、日時及び内容が明記されていること。）	
交通機関の遅延	交通機関の遅延証明書	
災害（台風、水害、火災、地震等） 実習（ただし、教育実習、介護等体験、臨床実習、臨地実習、臨床実務実習、博物館実習及びインターンシップに限る。）	罹災証明書等災害の状況が把握できる書類 期間が明記されている協定書等の書類	
課外活動における地区大会等を経た全国大会レベル以上の大会出場（ただし、選手又は団員として、競技や実演に出場する場合に限る。）	次に掲げる書類 1) 招聘機関等発行の証明書又は派遣依頼書 2) 当該大会等の内容が分かる書類	
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの要請等を証明する書類	
交通事故	警察が発行した事故証明	
その他公的機関からの要請	公的機関からの要請等を証明する書類等	

2 前項により提出された書類により、真にやむを得ない事由により試験を受けることができなくなったものと教養教育院長が認めた場合限り、1授業科目につき1回に限り追試験を許可する。

3 追試験を行う場合は、学生掲示等により当該学生に通知する。

(休学期間中の追試験)

第3条 休学期間中に実施された試験については、追試験の対象としない。

(追試験の実施)

第4条 追試験を行う場合、原則として当該学期中に実施する。

2 追試験は原則として当該授業科目の担当教員が行う。

(その他)

第5条 この内規に定めるもののほか、教養教育の授業科目の追試験に必要な事項は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

平成30年2月9日制定

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第14条第2項の規定に基づき、教養教育の授業科目の再履修に関し必要な事項を定める。

(再履修の手続)

第2条 再履修を願い出る場合は、規則第9条第1項に規定する履修申告期間中に、所定の手続きをしなければならない。

2 再履修を願い出た後に、当該授業科目の再履修を取りやめるときは、規則第9条第3項に規定する期日までに再履修の取消しを登録しなければならない。

(再履修の成績評価)

第3条 再履修における成績評価は、規則第11条の定めるところによる。

(その他)

第4条 この内規に定めるもののほか、教養教育の授業科目の再履修に関し必要な事項は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

平成30年2月9日制定

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第15条第1項に規定する再試験の実施に当たり、同条第2項の規定に基づき、必要な事項を定める。

(再試験の手続)

第2条 再試験を願い出る場合は、別に定める再試験許可願に再試験が必要な理由等を証明する書類を添えて、所属する学部の長に提出しなければならない。

2 前項の願い出により所属する学部の長が再試験の実施が必要と認めた場合は、教養教育院長に再試験の実施を依頼する。

3 教養教育院長は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、再試験の実施の可否を決定する。

4 所属する学部の長は、再試験の実施の可否を当該学生に通知する。

(再試験の実施)

第3条 再試験は原則として1授業科目につき、1回に限り再試験を実施する。

2 再試験は、次学期又は次年度の試験期日を実施する。

3 再試験は、当該授業科目の担当教員が実施する。

(再試験の成績評価)

第4条 再試験における成績評価は、可又は不可とする。

(その他)

第5条 この内規に定めるもののほか、再試験の実施に関し必要な事項は、教養教育企画実施委員会の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

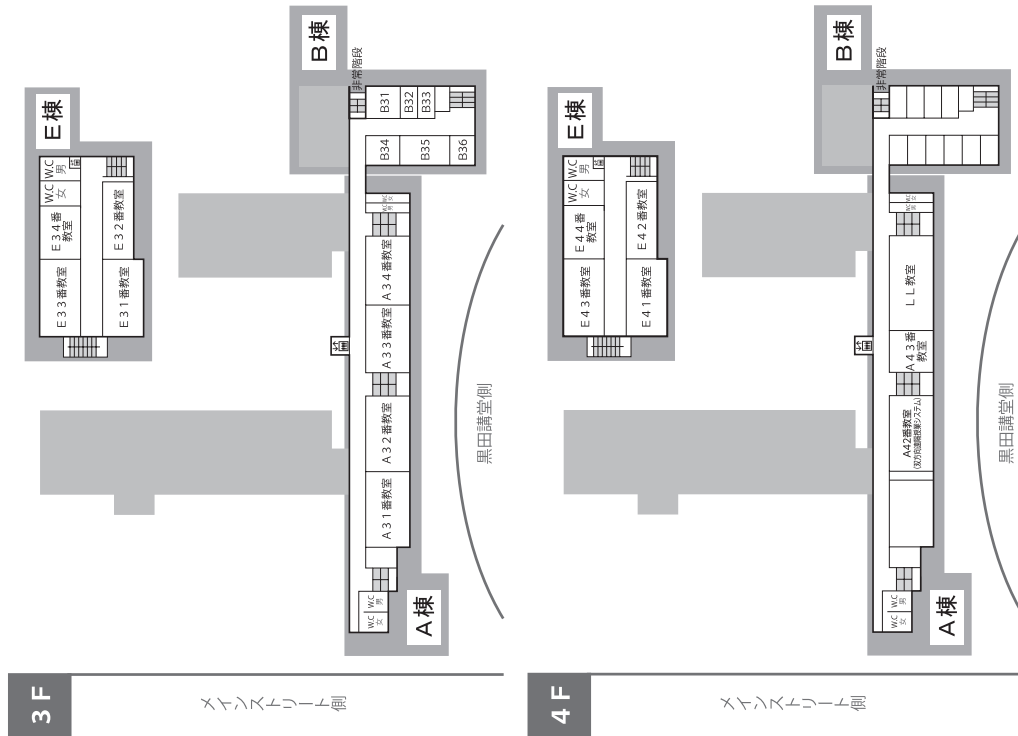
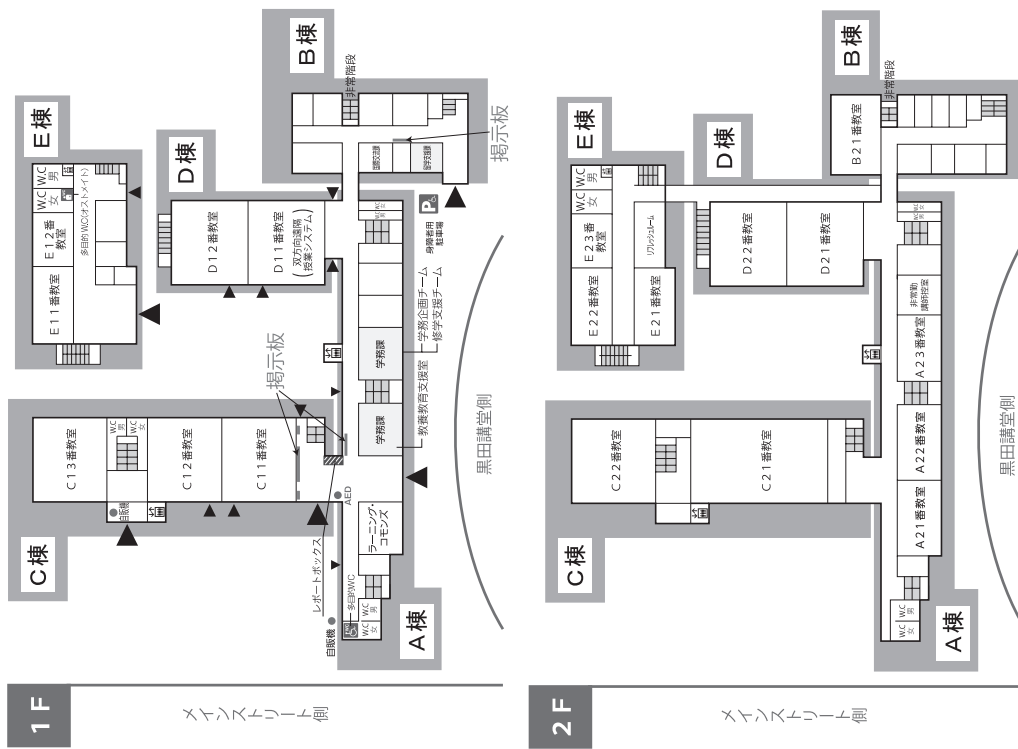
この内規は、平成30年4月1日から施行する。

# 共通教育棟マップ

## ■ 共通教育棟

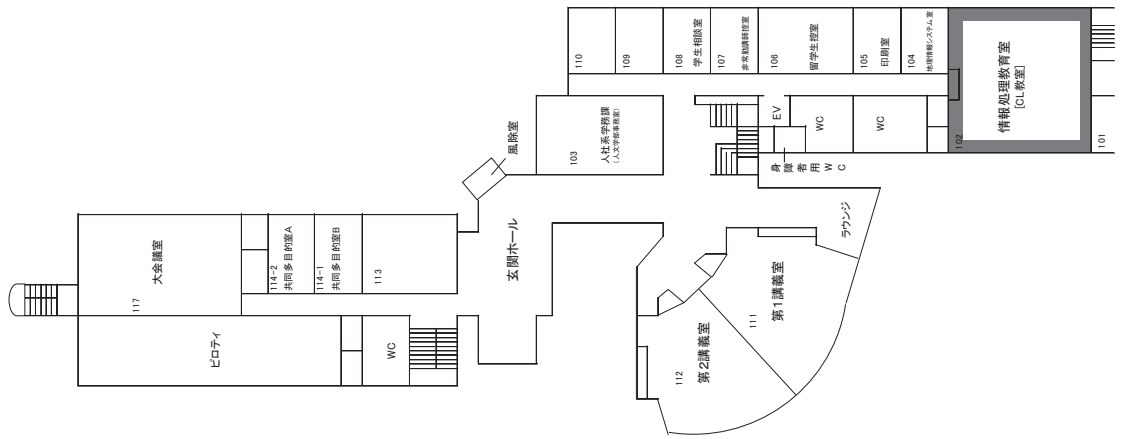
解錠時間帯 (土・日・祝日を除く)  
 授業期間 8:00 ~ 18:30 (火は 19:30 まで) 休業期間 8:00 ~ 17:30

教室番号の例示  
**C13 = C棟1階3番教室**



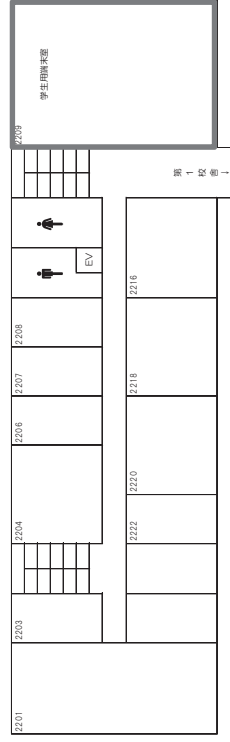
# 教養教育で使用する各学部棟の情報端末室配置図

□ 人文学部棟 情報端末室位置

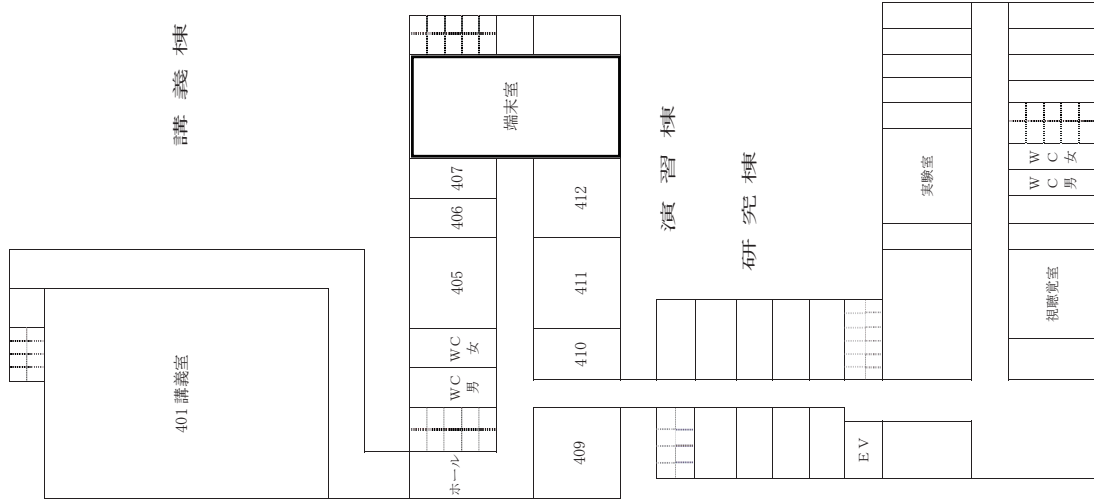


□ 人間発達科学部棟 情報端末室位置

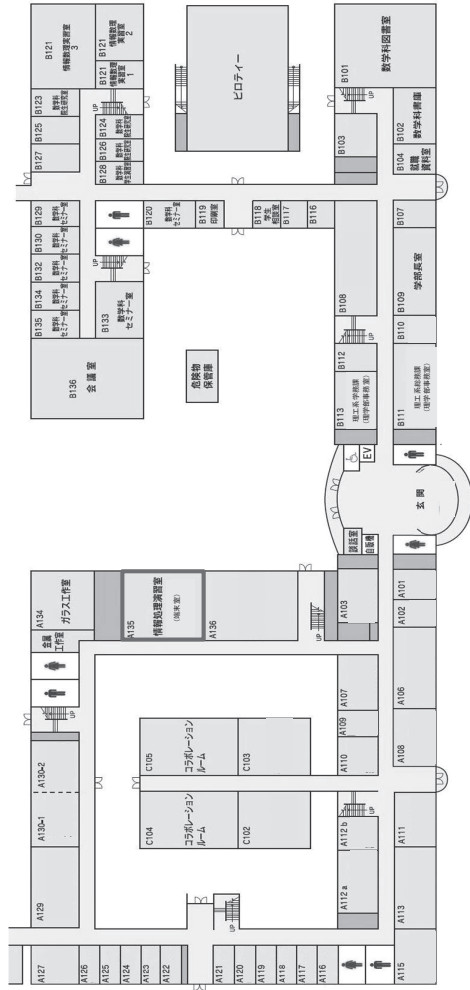
人間発達科学部第2棟 2階



□経済学部棟 情報端末室位置



□理学部棟 情報端末室位置





## ■巻末資料

### 各種担当窓口・緊急時の問い合わせ窓口

主な事務	担当窓口	電話番号
教養教育に関することなど	学務課教養教育支援室 (E-mail : info-kyoyo@adm.u-toyama.ac.jp)	076-445-6031
人文学部	人社系学務課	076-445-6138
人間発達科学部		076-445-6259
経済学部		076-445-6517
理学部	理工系学務課	076-445-6547
工学部		076-445-6701
都市デザイン学部		076-445-6698
医学部	医薬系学務課	076-434-7126
薬学部		
芸術文化学部	芸術文化学部総務課学務チーム	0766-25-9130

---

令和2(2020)年度

### 富山大学 教養教育ガイド

発行 富山大学 学務部学務課教養教育支援室  
富山市五福 3190

---

# 令和2年度前学期 教養教育科目履修計画表

[学籍番号：

氏名：

]

曜日 時限	月	火	水	木	金
1 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
2 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
3 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
4 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
5 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
6 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )

集中講義 ( ( 系) )

前学期に履修を希望する科目数及び単位数

人文科学系	科目 ( 単位)	外国語系	科目 ( 単位)
社会科学系	科目 ( 単位)	保健体育系	科目 ( 単位)
自然科学系	科目 ( 単位)	情報処理系	科目 ( 単位)
理系基盤教育系	科目 ( 単位)	(内数)集中講義	科目 ( 単位)
医療・健康科学系	科目 ( 単位)	(内数)地域志向科目	科目 ( 単位)
総合科目系	科目 ( 単位)		

履修計画作成手順

- ① クラス指定科目の履修曜限を確認し、上記「履修計画表」に記入する。
- ② 巻末の「前学期教養教育授業時間割」を確認し、クラス指定科目を履修しない曜限に開講している授業科目から履修を希望する選択科目を上記「履修計画表」に記入する。
- ③ 「履修を指定する系」、「選択できる科目数」に基づき、選択科目を調整する。
- ④ 抽選結果発表後、ヘルン・システム>時間割で、履修登録された科目を確認し、追加で履修したい場合は、追加登録期間に履修登録を行う。
- ⑤ 集中講義の履修登録は、後日掲示にてお知らせします。



# 令和2年度後学期 教養教育科目履修計画表

[学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ ]

曜日 時限	月	火	水	木	金
1 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
2 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
3 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
4 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
5 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
6 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )

集中講義 ( \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 系) )

## 後学期に履修を希望する科目数及び単位数

人文科学系	科目 ( _____ 単位)	外国語系	科目 ( _____ 単位)
社会科学系	科目 ( _____ 単位)	保健体育系	科目 ( _____ 単位)
自然科学系	科目 ( _____ 単位)	情報処理系	科目 ( _____ 単位)
理系基盤教育系	科目 ( _____ 単位)	(内数)集中講義	科目 ( _____ 単位)
医療・健康科学系	科目 ( _____ 単位)	(内数)地域志向科目	科目 ( _____ 単位)
総合科目系	科目 ( _____ 単位)		

## 履修計画作成手順

- ① クラス指定科目の履修曜限を確認し、上記「履修計画表」に記入する。
- ② 巻末の「前学期教養教育授業時間割」を確認し、クラス指定科目を履修しない曜限に開講している授業科目から履修を希望する選択科目を上記「履修計画表」に記入する。
- ③ 「履修を指定する系」、「選択できる科目数」に基づき、選択科目を調整する。
- ④ 抽選結果発表後、ヘルン・システム>時間割で、履修登録された科目を確認し、追加で履修したい場合は、追加登録期間に履修登録を行う。
- ⑤ 集中講義の履修登録は、後日掲示にてお知らせします。





# 令和2年度前学期教養教育授業時間割表

曜日	時間	授業形態	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	科目名	時間割コード	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室								
水	1	人文科学系	104401	谷口	共C13	日本の歴史と社会	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	高松	英語コミュニケーションⅠ-A	104413	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	英語コミュニケーションⅠ-A	104419	井上	五C体育館等	情報処理解-A	104422	柴田	理学IF				
			104402	小田	共C21	外国文学	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	名取	英語コミュニケーションⅠ-A	104414	英語コミュニケーションⅠ-A	104420	英語コミュニケーションⅠ-A	共E43	栗	104423	濱田	情報処理解-A	104423	大橋	情報処理解-A			
		社会科学系	104408	増田	共C12	経済生活と法	英語コミュニケーションⅠ-A	共E23	山岸	英語コミュニケーションⅠ-A	104415	英語コミュニケーションⅠ-A	104421	英語コミュニケーションⅠ-A	共E42	島海	104424	堀田	情報処理解-A	104424	堀田	情報処理解-A			
			104409	小柳津	共C22	はじめての経済学	英語コミュニケーションⅠ-A	共E11	越谷	英語コミュニケーションⅠ-B	104416	英語コミュニケーションⅠ-B	104417	英語コミュニケーションⅠ-C	共E41	大場	104425	遠山	情報処理解-A	104425	遠山	情報処理解-A			
		自然科学系	104411	米田	共C11	技術の世界	英語コミュニケーションⅠ-A	共E31	高野	英語コミュニケーションⅠ-E	104418	英語コミュニケーションⅠ-E	104418	英語コミュニケーションⅠ-E	共E42	グレイ									
			104412	栗田	共E33		英語コミュニケーションⅠ-A	共E33	萩原	英語コミュニケーションⅠ-E	104412	英語コミュニケーションⅠ-E	104412	英語コミュニケーションⅠ-E	共E33										
		水	2	外国語系	104431	栗	共E21	美術	英語コミュニケーションⅠ-A	共E34	山岸	英語コミュニケーションⅠ-B	104450	英語コミュニケーションⅠ-B	共E31	大場	104453	井上	五C体育館等	情報処理解-A	104457	柴田	理学IF		
					104483	藤井	共E21	日本文学	英語コミュニケーションⅠ-A	共E43	名取	英語コミュニケーションⅠ-C	104451	英語コミュニケーションⅠ-C	104454	英語コミュニケーションⅠ-E	共E42	グレイ	104458	大橋	情報処理解-A	104458	大橋	情報処理解-A	
				社会科学系	104432	伊藤	共C21	現代社会論	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	越谷	英語コミュニケーションⅠ-E	104452	英語コミュニケーションⅠ-E	104455	英語コミュニケーションⅠ-E	共E42	栗	104459	荻戸	情報処理解-A	104459	荻戸	情報処理解-A	
					104433	上田	共E42	日本国憲法	英語コミュニケーションⅠ-A	共E31	高野	英語コミュニケーションⅠ-E	104444	英語コミュニケーションⅠ-E	104445	英語コミュニケーションⅠ-A	共E11	山崎	104460	遠山	情報処理解-A	104460	遠山	情報処理解-A	
自然科学系	104434			木津	共C11	化学物質の世界	英語コミュニケーションⅠ-A	共E11	高野	英語コミュニケーションⅠ-E	104446	英語コミュニケーションⅠ-E	104447	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	グレイ									
	104435			白石	共C13	社会と情報の整理	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	山崎	英語コミュニケーションⅠ-E	104448	英語コミュニケーションⅠ-E	104449	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	グレイ									
総合科目系	104436			明宮	共E02	環境	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	萩原	英語コミュニケーションⅠ-E	104449	英語コミュニケーションⅠ-E	104449	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	グレイ									
	104437			松田	共C12	技術と社会	英語コミュニケーションⅠ-A	共E11	高野	英語コミュニケーションⅠ-E	104446	英語コミュニケーションⅠ-E	104447	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	グレイ									
社会科学系	104438			鈴木信	共C22	人権と福祉	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	山崎	英語コミュニケーションⅠ-E	104448	英語コミュニケーションⅠ-E	104449	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	グレイ									
	104439			鈴木景	共D11	万葉学	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	山崎	英語コミュニケーションⅠ-E	104448	英語コミュニケーションⅠ-E	104449	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	グレイ									
104482	堀見	共E22	富山の地域づくり	英語コミュニケーションⅠ-A	共E22	山崎	英語コミュニケーションⅠ-E	104448	英語コミュニケーションⅠ-E	104449	英語コミュニケーションⅠ-A	共E21	グレイ												
木	3	理系基礎教育系	101101	杉森	共C22	基礎化学-A②	外国語系	101481	(再履修) 中国語基礎Ⅱ	福田	共E23														
			101276	杉森	共C22	基礎化学-B②	外国語系	101481	(再履修) 中国語基礎Ⅱ	福田	共E23														
		医薬・健康科学系	101471	西村	共C11	障害とアクセシビリティ	外国語系	101481	(再履修) 中国語基礎Ⅱ	福田	共E23														
			101337	吉田	共C12	物理学Ⅰ-B②	外国語系	101481	(再履修) 中国語基礎Ⅱ	福田	共E23														
		理系基礎教育系	101125	鹿野	共E21	解析学-A②	外国語系	101481	(再履修) 中国語基礎Ⅱ	福田	共E23														
			101125	鹿野	共E21	解析学-A②	外国語系	101481	(再履修) 中国語基礎Ⅱ	福田	共E23														
		木	1	理系基礎教育系	101501	角島	共C11	微分積分Ⅰ-A (工-知)	外国語系	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館
					101502	谷井	共C03	生命科学Ⅰ-A	外国語系	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101503	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館
				理系基礎教育系	101511	渡邊	共E34	微分積分Ⅰ-D (都-他)	外国語系	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館
					101512	栗本	共C12	物理学序説Ⅰ	外国語系	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101513	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館
理系基礎教育系	101521			石山	共E34	微分積分Ⅰ-A (工-生)	外国語系	101526	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101526	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101526	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館	101526	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	田邊	高C体育館		
	101522			石山	共E36	線形代数Ⅰ-A (工-化)	外国語系	101527	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101527	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101527	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101527	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館		
医薬・健康科学系	101524			佐藤	共C13	生物圏環境科学概論	外国語系	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館		
	101525			堀	共E34	腫瘍医療心理学	外国語系	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101529	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館		
理系基礎教育系	101541			菅野	共E36	微分積分Ⅰ-A (工-化)	外国語系	101545	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101545	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101545	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101545	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館		
	101542			高柳	共E34	微分積分Ⅰ-E (都-都)	外国語系	101546	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101546	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101546	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館	101546	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	水谷	高C体育館		
医薬・健康科学系	101543	佐藤	共E37	線形代数Ⅰ-A (工-知)	外国語系	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館				
	101544	谷井	共E20	生命科学入門	外国語系	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101547	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館				
理系基礎教育系	101551	猪井	共E34	線形代数Ⅰ-E (都-都)	外国語系	101551	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101551	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101551	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101551	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館				
	101552	片桐	共E20	生命科学Ⅰ-B	外国語系	101552	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101552	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101552	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101552	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館				
101523	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101523	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101523	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101523	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館	101523	健康・スポーツ/演技 (インドアスポーツ)	栗	高C体育館					

曜日	時間	授業形態	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	科目名	時間割コード	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室	
金	1	理系基礎教育系	101601	徳野	共E34	解析学-B	外国語系	101611	線形代数Ⅰ-C (都-材)	西村	共E35							
			101602	栗・野久田	共E36	微分積分Ⅰ-A (工-電)	外国語系	101612	線形代数Ⅰ-D (都-他)	栗本	理学A33B	101622	栗本	理学A33B				
		社会科学系	101603	佐山	共E33	基礎化学-E (工-生・化)	外国語系	101613	線形代数Ⅰ-B (工-機)	増田	共E38							
			101604	谷井	共E20	生命科学Ⅰ-C	外国語系	101611	線形代数Ⅰ-C (都-材)	西村	共E35							
		理系基礎教育系	101611	西村	共E35	線形代数Ⅰ-C (都-材)	外国語系	101611	線形代数Ⅰ-C (都-材)	西村	共E35							
			101621	栗木	共E35	微分積分Ⅰ-C (都-材)	外国語系	101621	線形代数Ⅰ-D (都-他)	栗本	理学A33B	101622	栗本	理学A33B				
		理系基礎教育系	101622	栗本	理学A33B	線形代数Ⅰ-D (都-他)	外国語系	101622	線形代数Ⅰ-D (都-他)	栗本	理学A33B	101622	栗本	理学A33B				
			101631	増田	共E38	微分積分Ⅰ-B (工-機)	外国語系	101631	線形代数Ⅰ-B (工-機)	増田	共E38							
		理系基礎教育系	101631	増田	共E38	微分積分Ⅰ-B (工-機)	外国語系	101631	線形代数Ⅰ-B (工-機)	増田	共E38							
			101641	山下	共E38	微分積分Ⅰ-B (工-機)	外国語系	101641	線形代数Ⅰ-B (工-機)	山下	共E38							
101653	杉森	共E34	化学実験-B	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-B (工-機)	山下	共E38										

曜日	時間	授業形態	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	科目名	時間割コード	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室
金	1	理系基礎教育系	101651	猪井	共E34	線形代数Ⅰ-E (都-都)	外国語系	101651	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
			101652	片桐	共E20	生命科学Ⅰ-B	外国語系	101652	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
		理系基礎教育系	101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
			101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
		理系基礎教育系	101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
			101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
		理系基礎教育系	101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
			101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
		理系基礎教育系	101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						
			101653	杉森	共E34	化学実験-A	外国語系	101653	線形代数Ⅰ-E (都-都)	猪井	共E34						

曜日	時間	授業形態	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	科目名	時間割コード	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室	科目名	時間割コード	担当教員	定員又は教室
金	2	理系基礎教育系	101661	西村	共E35	線形代数Ⅰ-C (都-材)	外国語系	101661	線形代数Ⅰ-C (都-材)	西村	共E35						
			101662	栗本	理学A33B	線形代数Ⅰ-D (都-他)	外国語系	101662	線形代数Ⅰ-D (都-他)	栗本	理学A33B	101662	栗本	理学A33B			



# 令和2年度後学期教育授業時間割表

曜日	時間	時間割コード	時間割科目	科目名	担当教員	定員又は教室	科目名	科目名	担当教員	定員又は教室	時間割コード	時間割科目	科目名	担当教員	定員又は教室		
1	人文科学系	102001	こころの科学		小林 共C21	共C21	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	内藤 共E32	共E32	102015	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
		社会科学系	102002	現代社会論		橋本 共E11	共E11	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	須加 共E41	共E41	102020	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102003	企業と企業の間		西塚 共E22	共E22	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	海見 共E31	共E31	102017	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	自然科学系	102004	自然と情報の数理		米井 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	奥野 共E22	共E22	102018	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
		102005	美術		今岡 共E13	共E13	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	福崎 共E32	共E32	102047	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
		102006	国家と市民		青木 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	藤川 共E43	共E43	102048	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
	2	自然科学系	102007	はじめての経済学		山田 共E21	共E21	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	ケニー 共E42	共E42	102050	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102008	コンピュータの話		長谷川 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	ケニー 共E42	共E42	102051	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102009	ジェンダー		佐藤 共E22	共E22	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	高松 共E33	共E33	102044	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	3	人文科学系	102010	音楽		千田 共E12	共E12	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	名義純 共E31	共E31	102079	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			社会科学系	102011	経済生活と法		中出 共E11	共E11	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	名義純 共E31	共E31	102080	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
				102012	産業と経済学		堂谷 共E12	共E12	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	名義純 共E31	共E31	102082	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
自然科学系		102013	技術の世界		伊藤 共E12	共E12	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E31	共E31	102048	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
		102014	現代教育		佐野 共E15	共E15	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E31	共E31	102049	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
		102015	医療と地域社会		宮島 共E21	共E21	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E31	共E31	102054	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
4		社会科学系	102016	現代と教育		松田他 共E21	共E21	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	阿部 共E32	共E32	102101	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102017	自然現象のモデル化とその解析		松田他 共E12	共E12	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	阿部 共E32	共E32	102102	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102018	認知科学		松田他 共E13	共E13	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	阿部 共E32	共E32	102103	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
5		社会科学系	102019	現代と教育		奥野 共E12	共E12	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	阿部 共E32	共E32	102104	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102020	市民生活と法		木戸 共E13	共E13	ドイツ語基礎Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅱ	阿部 共E32	共E32	102105	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102021	国際と環境		渡邊 共E12	共E12	フランス語基礎Ⅰ	フランス語基礎Ⅰ	名義純 共E11	共E11	102106	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	自然科学系	102022	生命科学Ⅱ-C		谷井 共E11	共E11	日本語リテラシーⅢ	日本語リテラシーⅢ	名義純 共E11	共E11	102107	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
		102023	経営資源のとなえ方		森口 共E12	共E12	日本語リテラシーⅢ	日本語リテラシーⅢ	名義純 共E11	共E11	102108	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
		102024	デザインと生物		柏木 共E12	共E12	日本語リテラシーⅢ	日本語リテラシーⅢ	名義純 共E11	共E11	102109	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11		
	5	医療・健康科学系	102114	自然現象のモデル化とその解析		佐野 共E15	共E15	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102120	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102115	認知科学		井戸 共E12	共E12	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102121	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102116	技術と社会		神代 共E22	共E22	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102122	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	6	社会科学系	102117	ビジネス思考		大森 共E11	共E11	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102123	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102118	産業観光学		堀見 共E11	共E11	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102124	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
			102119	経営資源のとなえ方		森口 共E12	共E12	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102125	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	

曜日	時間	時間割コード	時間割科目	科目名	担当教員	定員又は教室	科目名	科目名	担当教員	定員又は教室	時間割コード	時間割科目	科目名	担当教員	定員又は教室	
1	社会科学系	102201	現代と教育		奥野 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	グリマー 共E22	共E22	102219	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102202	日本の歴史と社会		谷口 共E13	共E13	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102224	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102203	日本国憲法		若林 共E11	共E11	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102225	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	自然科学系	102204	経営資源のとなえ方		奥野 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102226	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102205	認知科学		井戸 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102227	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102206	技術と社会		神代 共E22	共E22	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102228	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	2	社会科学系	102207	現代と教育		奥野 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102229	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102208	日本の歴史と社会		谷口 共E13	共E13	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102230	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102209	産業と経済学		渡邊 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102231	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
	3	自然科学系	102210	生命科学Ⅱ-A		谷井 共E11	共E11	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102232	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102211	経営資源のとなえ方		森口 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102233	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102212	デザインと生物		柏木 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102234	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
4	社会科学系	102213	現代と教育		奥野 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102235	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102214	日本の歴史と社会		谷口 共E13	共E13	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102236	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102215	産業と経済学		渡邊 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102237	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	自然科学系	102216	生命科学Ⅱ-A		谷井 共E11	共E11	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102238	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102217	経営資源のとなえ方		森口 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102239	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
		102218	デザインと生物		柏木 共E12	共E12	英語リテラシーⅡ-A	英語リテラシーⅡ-A	水野 共E31	共E31	102240	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11	
	5	医療・健康科学系	102219	自然現象のモデル化とその解析		佐野 共E15	共E15	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102241	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102220	認知科学		井戸 共E12	共E12	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102242	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102221	技術と社会		神代 共E22	共E22	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102243	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
	6	社会科学系	102222	ビジネス思考		大森 共E11	共E11	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102244	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102223	産業観光学		堀見 共E11	共E11	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102245	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11
			102224	経営資源のとなえ方		森口 共E12	共E12	中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅱ	名義純 共E11	共E11	102246	保健体育系	健康・スポーツⅡ-講義	島崎 共E11	共E11

# 令和2年度後学期教養教育授業時間割表

曜日	時間	時間割コード	授業志向科目	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業																										
1	水	<b>人文科学系</b>																																									
		102401	現代と教育	竹村	共E21	102408	英語コミュニケーションⅡ-A	グレイ	共E42	102418	英語コミュニケーションⅡ-B	ムラー	共E11	102419	英語コミュニケーションⅡ-C	大場	共E33	102420	英語コミュニケーションⅡ-E	グリーン	共E22																						
		102402	治政の文化史	谷口	共C13	102409	英語コミュニケーションⅡ-A	高野	共E41	102410	英語コミュニケーションⅡ-A	岡崎	共E21	102411	英語コミュニケーションⅡ-A	ケンダース	共E34	102412	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32	102413	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23	102414	英語コミュニケーションⅡ-A	名取	共E21	102415	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102416	英語コミュニケーションⅡ-A	クーパー	共E31	102417	英語コミュニケーションⅡ-A	萩原	共E31		
		<b>社会科学系</b>																																									
		102403	日本の憲法	上田	共C11	102410	英語コミュニケーションⅡ-A	ケンダース	共E21	102411	英語コミュニケーションⅡ-A	ケンダース	共E34	102412	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32	102413	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23	102414	英語コミュニケーションⅡ-A	名取	共E21	102415	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102416	英語コミュニケーションⅡ-A	クーパー	共E31	102417	英語コミュニケーションⅡ-A	萩原	共E31						
		102404	* 地域の経済と社会・文化	大西	共C12	102410	英語コミュニケーションⅡ-A	ケンダース	共E21	102411	英語コミュニケーションⅡ-A	ケンダース	共E34	102412	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32	102413	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23	102414	英語コミュニケーションⅡ-A	名取	共E21	102415	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102416	英語コミュニケーションⅡ-A	クーパー	共E31	102417	英語コミュニケーションⅡ-A	萩原	共E31						
		<b>自然科学系</b>																																									
		102405	生命の世界	山本博	共E22	102414	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23	102415	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102416	英語コミュニケーションⅡ-A	クーパー	共E31	102417	英語コミュニケーションⅡ-A	萩原	共E31																						
		<b>医療・健康科学系</b>																																									
		102406	薬科学入門	森	共E21	102416	英語コミュニケーションⅡ-A	クーパー	共E31	102417	英語コミュニケーションⅡ-A	萩原	共E31																														
		<b>総合科目系</b>																																									
		102407	新聞技術に挑戦	橋本	共E22	102417	英語コミュニケーションⅡ-A	萩原	共E31																																		
<b>外国語系</b>																																											
102431	こころの科学	兼	共E22	102430	英語コミュニケーションⅡ-A	クーパー	共E31	102431	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23	102432	英語コミュニケーションⅡ-C	ムラー	共E11	102433	英語コミュニケーションⅡ-E	グリーン	共E22																								
102432	西暦の歴史と社会	徳岡	共D12	102440	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E34	102441	英語コミュニケーションⅡ-A	ケンダース	共E21	102442	英語コミュニケーションⅡ-A	グレイ	共E42	102443	英語コミュニケーションⅡ-A	名取	共E23	102444	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102445	英語コミュニケーションⅡ-A	大場	共E33	102446	英語コミュニケーションⅡ-A	高野	共E41	102447	英語コミュニケーションⅡ-A	岡崎	共E21	102448	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32	102449	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23
102433	日本文学	泉野	共D21	102441	英語コミュニケーションⅡ-A	ケンダース	共E21	102442	英語コミュニケーションⅡ-A	グレイ	共E42	102443	英語コミュニケーションⅡ-A	名取	共E23	102444	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102445	英語コミュニケーションⅡ-A	大場	共E33	102446	英語コミュニケーションⅡ-A	高野	共E41	102447	英語コミュニケーションⅡ-A	岡崎	共E21	102448	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32	102449	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23				
<b>社会科学系</b>																																											
102434	日本国憲法	高橋	共C11	102443	英語コミュニケーションⅡ-A	グレイ	共E42	102444	英語コミュニケーションⅡ-A	名取	共E23	102445	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102446	英語コミュニケーションⅡ-A	大場	共E33	102447	英語コミュニケーションⅡ-A	高野	共E41	102448	英語コミュニケーションⅡ-A	岡崎	共E21	102449	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32												
102435	国家と市民	秋葉	共C12	102444	英語コミュニケーションⅡ-A	名取	共E23	102445	英語コミュニケーションⅡ-A	越谷	共E32	102446	英語コミュニケーションⅡ-A	大場	共E33	102447	英語コミュニケーションⅡ-A	高野	共E41	102448	英語コミュニケーションⅡ-A	岡崎	共E21	102449	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32																
<b>自然科学系</b>																																											
102436	* 地球と環境	堀川	共E13	102446	英語コミュニケーションⅡ-A	大場	共E33	102447	英語コミュニケーションⅡ-A	高野	共E41	102448	英語コミュニケーションⅡ-A	岡崎	共E21	102449	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32																								
<b>総合科目系</b>																																											
102437	* アカデミックライティング	小助川	共E21	102447	英語コミュニケーションⅡ-A	高野	共E41	102448	英語コミュニケーションⅡ-A	岡崎	共E21	102449	英語コミュニケーションⅡ-A	山岸	共E32																												
102438	* 富山のものづくり理論	塩見	共D11	102449	英語コミュニケーションⅡ-A	高松	共E23																																				
<b>外国語系</b>																																											
102461	* 富山大学学	入江	共E21	102471	電子化学入門	彦坂	共E32																																				
<b>理系基礎教育系</b>																																											
102471	電子化学入門	彦坂	共E32																																								

曜日	時間	時間割コード	授業志向科目	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業																
1	水	<b>理系基礎教育系</b>																															
		102501	物理学序説Ⅱ	栗本	共C11	102502	物理学Ⅱ-A	彦坂	共C11	102503	物理学Ⅱ-B①	吉田	共C203	102511	繰形代数Ⅰ-A(Ⅰ-Ⅰ)	瀬田	工35	102512	生命科学Ⅱ-C	谷井	共C15	102513	物理学実験-B	片桐	共C15	102521	生体有機化学	杉森	共C15				
		102502	物理学Ⅱ-A	彦坂	共C11	102503	物理学Ⅱ-B①	吉田	共C203	102511	繰形代数Ⅰ-A(Ⅰ-Ⅰ)	瀬田	工35	102512	生命科学Ⅱ-C	谷井	共C15	102513	物理学実験-B	片桐	共C15	102521	生体有機化学	杉森	共C15								
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102503	物理学Ⅱ-B①	吉田	共C203	102511	繰形代数Ⅰ-A(Ⅰ-Ⅰ)	瀬田	工35	102512	生命科学Ⅱ-C	谷井	共C15	102513	物理学実験-B	片桐	共C15	102521	生体有機化学	杉森	共C15												
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102504	生命科学Ⅱ-C	谷井	共C15	102505	物理学実験-A	吉田	共C15	102506	物理学実験-B	片桐	共C15	102507	物理学実験-C	片桐	共C15	102508	物理学実験-D	片桐	共C15	102509	物理学実験-E	片桐	共C15	102510	物理学実験-F	片桐	共C15	102511	物理学実験-G	片桐	共C15
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102505	物理学実験-A	吉田	共C15	102506	物理学実験-B	片桐	共C15	102507	物理学実験-C	片桐	共C15	102508	物理学実験-D	片桐	共C15	102509	物理学実験-E	片桐	共C15	102510	物理学実験-F	片桐	共C15	102511	物理学実験-G	片桐	共C15				
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102506	物理学実験-B	片桐	共C15	102507	物理学実験-C	片桐	共C15	102508	物理学実験-D	片桐	共C15	102509	物理学実験-E	片桐	共C15	102510	物理学実験-F	片桐	共C15	102511	物理学実験-G	片桐	共C15								
		<b>理系基礎教育系</b>																															
102507	物理学実験-C	片桐	共C15	102508	物理学実験-D	片桐	共C15	102509	物理学実験-E	片桐	共C15	102510	物理学実験-F	片桐	共C15	102511	物理学実験-G	片桐	共C15														
<b>理系基礎教育系</b>																																	
102508	物理学実験-D	片桐	共C15	102509	物理学実験-E	片桐	共C15	102510	物理学実験-F	片桐	共C15	102511	物理学実験-G	片桐	共C15																		
<b>理系基礎教育系</b>																																	
102509	物理学実験-E	片桐	共C15	102510	物理学実験-F	片桐	共C15	102511	物理学実験-G	片桐	共C15																						
<b>理系基礎教育系</b>																																	
102510	物理学実験-F	片桐	共C15	102511	物理学実験-G	片桐	共C15																										
<b>理系基礎教育系</b>																																	
102511	物理学実験-G	片桐	共C15																														

曜日	時間	時間割コード	授業志向科目	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業	時間割コード	科目名	担当教員	授業																
1	金	<b>理系基礎教育系</b>																															
		102603	物理学Ⅱ-B②	吉田	共C203	102604	物理学Ⅱ-B③	吉田	共C203	102605	物理学Ⅱ-B④	吉田	共C203	102606	物理学Ⅱ-B⑤	吉田	共C203	102607	物理学Ⅱ-B⑥	吉田	共C203	102608	物理学Ⅱ-B⑦	吉田	共C203	102609	物理学Ⅱ-B⑧	吉田	共C203	102610	物理学Ⅱ-B⑨	吉田	共C203
		102604	物理学Ⅱ-B③	吉田	共C203	102605	物理学Ⅱ-B④	吉田	共C203	102606	物理学Ⅱ-B⑤	吉田	共C203	102607	物理学Ⅱ-B⑥	吉田	共C203	102608	物理学Ⅱ-B⑦	吉田	共C203	102609	物理学Ⅱ-B⑧	吉田	共C203	102610	物理学Ⅱ-B⑨	吉田	共C203				
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102605	物理学Ⅱ-B④	吉田	共C203	102606	物理学Ⅱ-B⑤	吉田	共C203	102607	物理学Ⅱ-B⑥	吉田	共C203	102608	物理学Ⅱ-B⑦	吉田	共C203	102609	物理学Ⅱ-B⑧	吉田	共C203	102610	物理学Ⅱ-B⑨	吉田	共C203								
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102606	物理学Ⅱ-B⑤	吉田	共C203	102607	物理学Ⅱ-B⑥	吉田	共C203	102608	物理学Ⅱ-B⑦	吉田	共C203	102609	物理学Ⅱ-B⑧	吉田	共C203	102610	物理学Ⅱ-B⑨	吉田	共C203												
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102607	物理学Ⅱ-B⑥	吉田	共C203	102608	物理学Ⅱ-B⑦	吉田	共C203	102609	物理学Ⅱ-B⑧	吉田	共C203	102610	物理学Ⅱ-B⑨	吉田	共C203																
		<b>理系基礎教育系</b>																															
		102608	物理学Ⅱ-B⑦	吉田	共C203	102609	物理学Ⅱ-B⑧	吉田	共C203	102610	物理学Ⅱ-B⑨	吉田	共C203																				
		<b>理系基礎教育系</b>																															
102609	物理学Ⅱ-B⑧	吉田	共C203																														
<b>理系基礎教育系</b>																																	
102610	物理学Ⅱ-B⑨	吉田	共C203																														

[注記]

- 月曜日～水曜日の教養教育科目は、全て五福キャンパスで実施します。
- 木曜日～金曜日の教養教育科目は、医学部・薬学部は高岡キャンパスで、芸術文化学部の学生は杉谷キャンパスで実施します。
- 「英語リテラシーⅡ」、「英語コミュニケーションⅡ」はクラス指定科目です。指定されたクラス以外での履修はできません。
- 各学期につき、複数の授業科目からいずれか1科目のみ履修します。
- 同一名称の授業科目は重複履修はできません。
- 教養表記について  
共A=共通教育棟A棟、共B=共通教育棟B棟、共C=共通教育棟C棟、共D=共通教育棟D棟、共E=共通教育棟E棟、共L1=共通教育棟L1教室、併7=総合情報基礎センター  
経済=経済学部棟、理学=理学部棟、人産4第1=人間発達科学部棟4棟第1講義室、人産141=人間発達科学部棟141講義室、人産311=人間発達科学部棟311講義室、工11=工学部棟11講義室、工34=工学部棟34講義室  
杉C202=杉谷キャンパス202講義室、杉C203=杉谷キャンパス203講義室、杉C大講義室=杉谷キャンパス大講義室、杉C化実=杉谷キャンパス化学系実習室、杉C物実=杉谷キャンパス物理系実習室、杉C生実=杉谷キャンパス生物系実習室  
杉C情報=杉谷キャンパス情報処理実習室(大)、高C情報=高岡キャンパスコンピュータ演習室(C-223教室)  
五C体育館=五福キャンパス体育館、杉C体育館=杉谷キャンパス体育館、高C体育館=高岡キャンパス体育館、高C体育館=高岡キャンパス体育館 ※「健康・スポーツ/実技」の実施場所については、別途配布する「平成31年度保健体育科目授業時間表」を参照してください。
- 履修方法については、「教養教育ガイド」を参照してください。

【集中講義】

(102701) 異文化間コミュニケーション(ヨアコバ)、(102702) \* 災害救済ボランティア論(共寺)、(102703) 発展多言語演習ラテン語Ⅱ(未定)、(102704) 外国文学(未定)

(学生版)

Manual of HEARN System  
ヘルン・システム利用の手引き

令和2(2020)年度



学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

# Contents

## 目次

	ページ
<b>1 ヘルン・システムの利用</b> .....	<b>1</b>
(1) 利用可能時間	
(2) 利用できるパソコン	
(3) ユーザ名及びパスワード	
(4) ヘルン・システムへの接続方法	
<b>2 学籍</b> .....	<b>6</b>
<b>3 シラバス参照</b> .....	<b>6</b>
<b>4 履修</b> .....	<b>7</b>
(1) 履修登録(毎週開講授業科目)	
(2) 授業科目の削除	
(3) 履修登録(集中講義等)	
<b>5 事前登録</b> .....	<b>11</b>
(1) 事前登録	
(2) 事前登録科目の削除	

※本手引きは、Windows OS, Internet Explorerを使用している例です。

## 1 ヘルン・システムの利用

ヘルン・システム<HEARN System>(以下、本システム)とは、全学の学生、教職員が利用できる学務情報システムです。『ユーザ名』及び『パスワード』を入力することで、掲示板、履修登録、成績、就職支援等の機能を利用することができます。

### <経済学部・都市デザイン学部の学生へ>

本学では、1年を前期・後期に分けたセメスター制(2学期制)の学部と、1年を第1タームから第4タームに分けた、クォーター制(4学期制)の学部(経済学部、都市デザイン学部)が混在しています。

本紙では、セメスター制を基準として各機能の説明をしているため、クォーター制の学部は、以下のように読替えてください。

- 前期 → 第1ターム(4~6月) + 第2ターム(6~8月)
  - 後期 → 第3ターム(10~11月) + 第4ターム(12~2月)
- ※「ターム」とは、クォーター制における学期のことです。

## ヘルン・システムを利用するに当たっての注意事項①~⑤

- ① パスワード管理 **万一パスワードが他人に漏れた場合、あなたになりすまして悪用され、システム内の情報が漏洩することがあります。パスワードの管理には十分留意してください。**
- ② 時間制限 **本システムは、ログインしてから長時間(約30分間)操作しなかった場合、強制的にログアウトします。(本システムでは、これを『タイムアウト』といいます。)**引き続きシステムを利用する場合は、再度ログインしてください。(詳細は、p.5参照)
- ③ 共有利用 **複数利用者が共有するパソコンを利用する場合は、ブラウザの「お気に入り」又は「ブックマーク」に本システムを登録しないようにしてください。また、cookie等により、IDやパスワードを保存しないでください。他の利用者が、「お気に入り」等に残したページや閲覧履歴から引き続き利用できる恐れがあります。**
- ④ 終了方法 **本システムを終了するときは、必ず画面上部の、『ログアウト』をクリックしてから、画面を閉じてください。ブラウザ画面右上の×印をクリックして画面を閉じると、それまでの閲覧履歴がパソコンに残る可能性があります。**



- ⑤ セキュリティ **全学生は、情報セキュリティ研修(eラーニング)を必ず受講しなければなりません。当該研修の実施については、別途通知を確認してください。指定期間内に受講しない場合は、情報システム利用ユーザIDが停止され、本システムを利用できなくなります。不明な点は、所属学部等の教務担当窓口にお問い合わせください。**

## (1) 利用可能時間

本システムは、24時間利用できます。履修登録や成績確認等、**利用できる期間を限定している機能もある**ため、詳しくは、各学部及び教養教育の掲示板等の情報を確認してください。

また、**メンテナンス等によりシステムを一時停止することがあります**。停止する場合はあらかじめ通知しますが、緊急を要する等のやむを得ない場合に限り、予告なしに停止することがあります。



## (2) 利用できるパソコン

本システムは、以下に設置してある学内パソコンから利用可能です。各端末室等は授業に使用していなければ、自由に利用することができます。自宅のパソコンやスマートフォン等からVPN接続により利用することも可能ですが情報セキュリティを充分理解した上で、各自の責任において利用してください。  
※VPN接続に関する情報は、下記のウェブサイトから確認してください。

(マニュアルは学内から閲覧可)



富山大学総合情報基盤センターウェブサイト>利用案内>マニュアル(学内限定)>学外からのVPNによる接続方法  
<http://www.itc.u-toyama.ac.jp/inside/start.html#outside>

設置場所		
五福	総合情報基盤センター	端末室(1F~4F)
	附属図書館	マルチメディア研修室(6F)
	人文学部校舎	情報処理教育室(1F)
	人間発達科学部第2棟	教育用端末室(2F)
	経済学部研究棟	学生コンピュータ室(1F) 教育用端末室(4F)
	理学部1号館	情報処理演習室(1F)
五福 (工・都市デ)	総合教育研究棟(工学系)	教育用端末室(1F)
	共通講義棟	CAD室(2F)
杉谷	講義実習棟	情報処理実習室(大)(小)(3F)
	看護学科研究棟	情報処理実習室(中)(3F)
高岡	芸術文化学部 C棟	コンピュータ演習室(C-220, C-222, C-223)(2F)

※看護学科・薬学部・大学院研究室配属の学生は、研究室のパソコンを使用

その他、講義室等に設置しているインターネットに接続できるパソコンであれば、本システムを利用することができます。

### (3) ユーザ名及びパスワード

本システム利用時の『ユーザ名』及び『パスワード』は、所属学部等から交付される総合情報基盤センター情報システム利用ユーザID及びパスワードと同じです。(総合情報基盤センター情報システム利用ユーザIDのパスワードを変更すると、本システムのパスワードも自動的に変更されます。)

なお、証明書自動発行機も本システムと同じ『ユーザ名』及び『パスワード』で利用可能です。

#### ① ユーザ名

学部生のユーザ名は『s(小文字)※』+ 学籍番号の初めの1桁を除いた番号 + 『.ems』です。  
例)学籍番号が『12030999』の場合、ユーザ名は『s2030999.ems』になります。

※大学院修士(博士前期)課程の学生はm(小文字)、大学院博士(博士後期)課程の学生はd(小文字)、大学院専門職学位課程の学生はp(小文字)を付けてください。

(例)	学籍番号	→	ユーザ名
学部	12030999	→	s2030999.ems
大学院修士課程(博士前期課程)	22030999	→	m2030999.ems
大学院博士課程(博士後期課程)	32030999	→	d2030999.ems
大学院専門職学位課程	42030999	→	p2030999.ems



#### ② パスワードの再発行

パスワードを忘れた場合は、以下の窓口に学生証を持参して、パスワード再発行の手続きを行ってください。








なお、**すぐに発行することはできないため、時間に余裕をもって手続きを行ってください。**

受付場所	受付時間
五福 : 総合情報基盤センター	9:00~17:00 ※土・日・国民の祝日、夏季一斉休業(8月11日~14日、17日)、年末年始(12月29日~1月3日)を除く。
杉谷 : 総合情報基盤センター杉谷分室 (共同研究棟3F)	
高岡 : 芸術文化学部総務課学務チーム (A棟1F)	



### ③ 各システムのユーザID及びパスワード

本学で使用できるシステムのユーザID及びパスワードは、次のとおりです。各システムに関するお知らせやマニュアル等については、総合情報基盤センターのウェブサイトを確認してください。

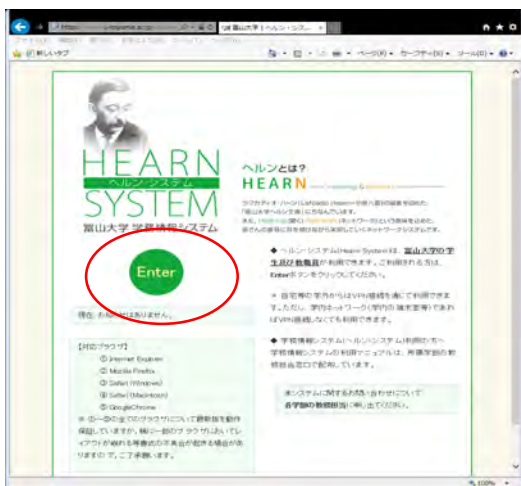
以下のシステムのパスワードは、共通しています。							
	基盤センター 端末室 パソコン 	電子メール Active!mail 	eラーニング Proself 無線LAN Moodle 	VPN 	ヘルン・システム HEARN SYSTEM 富山大学 学務情報システム 	ALC NetAcademy2 	Barracuda 
ID (例)	s2030999	s2030999.ems		s2030999@ems. u-toyama.ac.jp			
問合せ先	総合情報基盤センター		学務課 修学支援チーム		総合情報 基盤センター		

### (4) ヘルン・システムへの接続方法

本学のウェブサイトより、以下の手順で接続することができます。



- 授業・履修**
- ▶ 授業・履修・授業時間
  - ☞ 平成29年度学年暦 [PDF, 356KB]
  - ☞ 平成30年度学年暦 [PDF, 378KB]
  - ☐ 杉谷キャンパス (学年暦・時間割等)
  - ☞ 平成29年度 富山大学履修・成績登録等関連日程 [PDF, 58KB]
  - ▶ 保証人 (学生の親権者等) への成績通知について
  - ▶ Webシラバス (授業案内) について
    - ☐ Webシラバス (授業案内)
  - ☐ 富山大学掲示情報 (「休講」、「補講」等についての情報) モバイル (携帯) 版
  - ☞ ヘルン・システム ※学外の方は利用できません。
  - ☞ 成績評価に対する異議申立てについて [PDF, 74KB]



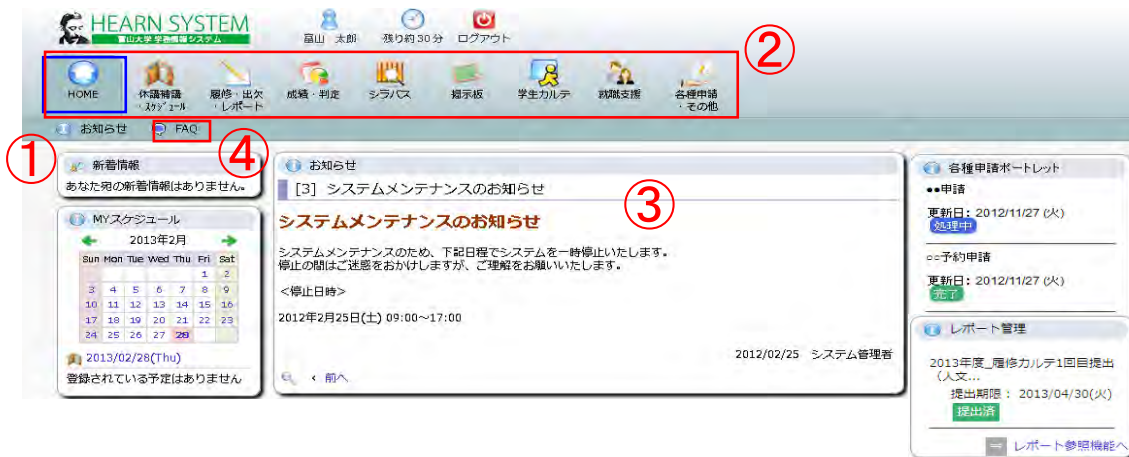
富山大学ウェブサイト>在学生・教職員の方  
 授業・履修>ヘルン・システム  
<https://www.u-toyama.ac.jp/student-staff/hearn system.html>



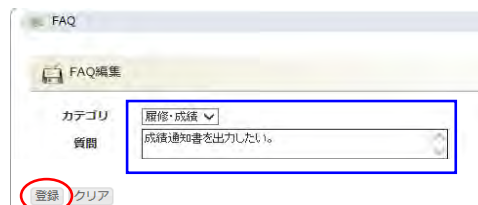
ユーザ名及びパスワードを入力してログインします。

## トップ画面の説明

『HOME』タブでは、システムに関するお知らせ(①～③)及びFAQ(④)を確認することができます



- ① 新着情報  
休講・補講・教室変更・掲示情報等を機能毎に表示します。
- ② 各種タブ  
履修登録やシラバス参照等ができます。詳細は、p.6以降を参照してください。
- ③ お知らせ  
メンテナンス等、重要なお知らせが表示されます。
- ④ FAQ  
本システムについて、『HOME』タブの『FAQ』から質問することができます。『新規登録』をクリック後、「カテゴリ」を選択し、「質問」を入力したら、『登録』をクリックしてください。回答があった場合、『FAQ』内の新着欄に表示されます。



## ⚠ <タイムアウト(強制ログアウト)>

本システムは、情報セキュリティ対策のため、長時間(約30分間)操作されないと強制的にログアウトします。延長したい場合は、タイムアウトになる前に、右図の時計マーク又はいずれかのリンクをクリックしてください。



## 2 学籍

学籍情報等は、『学生カルテ』タブの『学生カルテ』から参照することができます。情報は、下図のようにカテゴリ別に表示されます。



- 学籍情報
- 指導教員情報
- 学生個人情報
- 連絡先情報
- 学籍異動情報
- 履修情報
- 成績修得状況
- レポート情報
- 出欠情報
- 健康管理情報
- 就職情報
- 面談記録
- 追加情報

※学籍情報等に誤りや変更があった場合は、本システム上では変更することができないため、所属学部の教務担当窓口で**必ず変更登録を申請してください。**

## 3 シラバス参照

本機能は、シラバスを参照するときにご利用します。「シラバス参照」をクリック後、検索画面で授業の条件を分かる範囲で指定し、検索します。「年度」及び「時間割所属」は**必須条件**です。



シラバス参照/条件入力

時間割条件検索

年度: 2020

時間割所属: 教養教育 (\*1)

(\*1)杉谷キャンパス科目について  
学科/専攻を選択してください。(薬学部を除く)  
薬学部については、学部を選択してください。

学期: 前期

開講: 指示なし

教員名: ※前方一致

授業科目名: ※前方一致

学年: 1年

曜日: 月曜日

時限: 1限

フリーワード: ※部分一致

検索結果表示件数: 100件

検索開始 クリア



シラバス参照/検索結果

1件目 から 10件目の検索結果を表示しています (全部で 332件あります)

検索結果ページ: << 前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ >>

No.	学期	開講	曜日・時限	時間割コード	科目名	担当	参照
1	前期	前期	月1	101101	健康スポーツ (バレーボール)	〇〇〇〇	参照
2	前期	前期	月1	101102	健康スポーツ (卓球)	〇〇〇〇	参照
3	前期	前期	月1	101103	健康スポーツ (バドミントン)	〇〇〇〇	参照
4	前期	前期	月1	101104	健康スポーツ (テニス)	〇〇〇〇	参照
5	前期	前期	月1	101105	健康スポーツ (フィットネス)	〇〇〇〇	参照
6	前期	前期	月1	103101	日本文学	〇〇〇〇	参照

『参照』をクリックすると、シラバスが閲覧できます。



シラバス参照/授業情報参照

授業情報 / Course information

別の条件でシラバスを参照する/Inquiry syllabus by others conditions

授業基本情報	授業料情報	授業計画詳細情報	授業追加情報
科目名 / Course title	一般地質学 / Physical Geology		
担当教員 (所属) / Instructor	〇〇〇〇 (理学部地球科学科)		
授業科目区分 / Category	専門教育科目 専攻科目		
授業種別 / Type of class	講義科目		
持前記コード / Registration Code	146400		
開講学期 / Semester	2012年度 / Academic Year 後期		
開講曜日 / Class period	火/Tue 1		
対象所属 / Eligible Faculty	理学部 / Faculty of Science		
対象学年 / Eligible grade	1年, 2年, 3年, 4年		
単位数 / Credits	2		
教室 / Classroom			
連絡先 / Contact	大藤 茂 (akeuchi@ems.u-toyama.ac.jp)		
オフィスアワー / Office hours	大藤 茂 (教授会のある道を除く水曜日3時限。あらかじめメールでの予約が望ましい。)		

別の条件でシラバスを参照する/Inquiry syllabus by others conditions

※シラバスは、「富山大学Webシラバス」からも参照できます。(学外からも閲覧可)

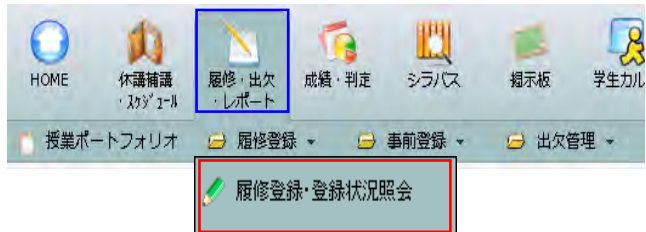
※『Webシラバス(授業案内)』で参照できるシラバスは、ヘルン・システムに記載されてシラバスの一部を省略しています。

富山大学ウェブサイト>在学生・教職員の方>授業・履修>Webシラバス(授業案内)  
<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>



## 4 履修

次の(1)から(3)の履修に関する手続きは、『履修・出欠・レポート』タブの、『履修登録・登録状況照会』から行います。

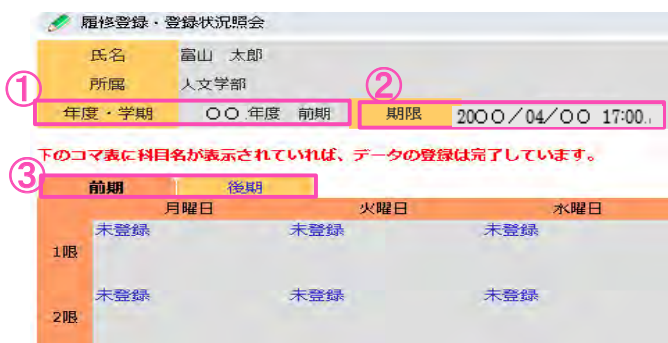


- (1) 履修登録(毎週開講授業科目)
- (2) 授業科目の削除
- (3) 履修登録(集中講義等)

『履修登録・登録状況照会』をクリックすると、右の履修登録・登録状況照会画面が表示されます。本画面の各項目の詳細は、次のとおりです。



### 【Semester制学部】



#### ① 年度・学期

現在表示している履修状況の年度・学期を表しています。学期の表示の切り替えは**学期タブ**(下記③参照)をクリックしてください。

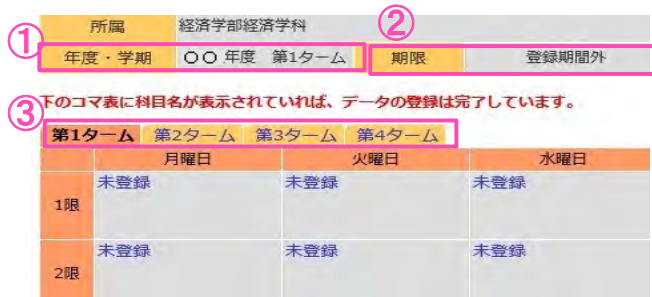
#### ② 期限

履修登録の期限を表します。**この期限を過ぎると、該当年度の学期の履修登録はできなくなるので、注意してください。 ※照会はいつでも可能です。**

#### ③ 学期タブ

履修登録・登録状況照会を行いたい学期を変更するときにクリックします。

### 【クォーター制学部】



### <クォーター制学部>

各タームの履修登録期間は以下のとおりです。4月と10月に、2ターム分の履修登録をする必要があるため、注意してください。

第1, 第2ターム履修登録期間: 第1ターム(4月)

※第2ターム開始月に、第2ターム履修予定科目の修正期間があります。

第3, 第4ターム履修登録期間: 第3ターム(10月)

※第4ターム開始月に、第4ターム履修予定科目の修正期間があります。



## (1) 履修登録(毎週開講授業科目)

- ① 履修登録を行いたい『曜日時限』の『未登録』をクリックします。

※以下の例では、月曜1限に登録すると想定します。

履修登録・登録状況照会

氏名	富山 太郎	学籍番号	
所属	人文学部	学年	
年度・学期	<input type="radio"/> 年度 前期	期限	2000/04/00 17:00
		件数	

下のコマ表に科目名が表示されていれば、データの登録は完了しています。

	前期	後期			
	月曜日		火曜日	水曜日	木曜日
1限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
2限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
3限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

- ② 曜日が『月曜日』、時限が『1限』となっていることを確認し、『時間割コード検索』をクリックします。

※事前に時間割コードが分かっている場合は、『時間割コード欄』に入力し、『登録』をクリックします。(→⑥へ)

履修登録・登録状況照会

履修登録する時間割を入力してください

曜日	月曜日
時限	1限
時間割所属	人文学部
時間割コード	

不明の場合は『時間割コード検索』で検索できます。

- ③ 検索画面で授業の条件を分かる範囲で指定し、検索します。  
『年度』及び『時間割所属』は必須条件です。

履修登録・登録状況照会/条件入力

時間割コードが不明な場合は以下の条件で検索できます

年度 : 2020

時間割所属 : 人文学部 (\*1)

(\*1) 杉谷キャンパス科目について  
学科/専攻を選択してください。(兼学部を除く)  
兼学部については、学部を選択してください。

学期 : 前期

開講 : 指示なし

教員名 :  ※前方一致

科目名 :  ※部分一致

科目名カナ :  ※部分一致

学年 : 1年

曜日 : 月曜日

時限 : 1限

検索結果表示件数 : 100 件

- ④ 検索結果が表示されるので、『履修登録を行いたい授業科目名』をクリックします。この画面でシラバス項目にある『Syllabus』をクリックすると、当該授業科目のシラバスを参照できます。(シラバス参照については、p.6参照)

履修登録・登録状況照会/検索結果

1件目 から 5件目の検索結果を表示しています (全部で 5件あります)

検索結果ページ: << 前へ 1 次へ >>

No.	学期	開講	曜日・時限	時間割コード	科目名	担当	シラバス
1	前	前	月1	103101	日本文学	〇〇〇〇	Syllabus
2	前	前	月1	103102	現代社会論	〇〇〇〇	Syllabus
3	前	前	月1	103103	経済生活と法	〇〇〇〇	Syllabus
4	前	前	月1	103104	経済・経営データを読む	〇〇〇〇	Syllabus
5	前	前	月1	103105	生命の世界	〇〇〇〇	Syllabus

1件目 から 5件目の検索結果を表示しています (全部で 5件あります)

検索結果表示件数 : 100 件

- ⑤ 履修登録を行いたい授業科目名の  
時間割コードが入力されていることを  
確認し、『登録』をクリックします。

履修登録・登録状況照会

履修登録する時間割を入力してください

曜日	月曜日
時限	1限
時間割所属	人文学部
時間割コード	103101

不明の場合は時間割コード検索で検索できます。

登録    クリア    履修登録画面に戻る

- ⑥ 右図のとおり登録されます。  
(時間割表内に表示されれば、  
登録されています。)  
引き続き履修登録を行う場合は、  
①から⑥の手順を繰り返します。

履修登録・登録状況照会

氏名	富山 太郎	学籍番号	1111111111
所属	人文学部	学年	2年
年度・学期	〇〇年度 前期	期限	2000/04/00 17:00
		件数	1件

最終更新日時:

下のコマ表に科目名が表示されていれば、データの登録は完了しています。

前期	後期	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限 103101 日本文学 〇〇〇〇	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
2限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
3限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
4限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録



### <履修登録におけるエラーについて>

履修登録を行うと、右図のような履修登録エラーが表示されることがあります。  
本来登録できるはずの授業科目に登録できない場合は、**至急所属学部の教務担当窓口**  
(**教養教育科目については共通教育棟1Fの教養教育支援室窓口**)に報告してください。

#### 履修登録・登録状況照会

履修登録エラーです 内容を確認して下さい

この時間割は指示されている所属以外の学生は履修することはできません。(11)

履修登録する時間割を入力してください

#### <その他のエラー表示>

- ・履修前提条件を満たしていません。
- ・修得済の単位／授業科目数が排他単位／授業科目数の制限を超えています。
- ・曜日・時限が重複しています。
- ・この時間割は指示されている年次以外の学生は履修することはできません。
- ・クラス制限科目です。
- ・カリキュラム制限科目です。
- ・学期に履修可能な**単位数**を超えています。
- ・学期に履修可能な**科目数**を超えています。

## (2) 授業科目の削除

- ① 削除したい授業科目の『時間割コード』をクリックします。

- ② 授業科目名等を確認して問題なければ、『削除』をクリックします。

※削除後は①の画面に戻るので、引き続き履修登録が可能です。  
(履修登録については、p.8参照)

履修登録・登録状況照会

以下の時間割を削除します よろしいですか？

曜日	火曜日
時限	3限
時間割所属	人文学部
時間割コード	110022
科目名	日本語学特殊講義N

削除 履修登録画面に戻る

## (3) 履修登録(集中講義等)

集中講義等を登録したい場合は、以下の要領で行います。

- ① 『集中講義を登録』をクリックします。

下のコマ表に科目名が表示されていれば、データの登録は完了しています。

- ② 曜日及び時限が『その他』となっていることを確認し、『時間割コード検索』をクリックします。

※事前に時間割コードが分かっている場合は、『時間割コード欄』に記入し、『登録』をクリックします。

履修登録・登録状況照会

履修登録する時間割を入力してください

曜日	その他
時限	その他
時間割所属	人文学部
時間割コード	<input type="text"/>

不明の場合は時間割コード検索で検索できます。

登録 クリア 履修登録画面に戻る

- ③ (1)履修登録(p.8)の③～⑤と同様の手順で登録します。なお、同一曜日時限に複数授業を登録すると、1科目は通常の曜日時限の欄に、残りの1科目は、『集中講義など』欄に表示されます。

5限	110058 東洋史実習 ○○○○	未登録	未登録	未登録
6限		未登録	未登録	未登録
7限		未登録	未登録	未登録

集中講義など		集中講義を登録		
曜日	時限	時間割コード	科目名	担当教員名
その他	その他	110245	日本文学特殊講義	○○○○

テキスト出力 履修状況をテキストファイルに出力する場合に使用します

※履修登録内容を印刷したい場合は、＜履修登録・登録状況照会＞画面左下の『PDF出力』をクリックします。

テキスト出力 履修状況をテキストファイルに出力する場合に使用します

PDF出力 履修状況をPDFファイルに出力する場合に使用します

## 5 事前登録

事前登録に関する手続きは、『履修・出欠・レポート』タブの『事前登録』又は『事前登録照会』から行います。

- (1) 事前登録
- (2) 事前登録科目の削除

### (1) 事前登録

- ① 『事前登録』をクリックし、事前登録を行う授業科目の『カテゴリ』をクリックします。

事前登録を行う抽選カテゴリ!

カテゴリ名
全学共通科目 (選必)
全学共通科目 (選択)
一般外国語
学科科目 (人文学部)
学科科目 (教職科目)

登録済みの科目は 事前登録



- ② 事前登録を行う科目の『科目グループ』をクリックします。カテゴリ選択に戻る場合は、『戻る』をクリックします。

科目グループ	状態
全学共通科目(選必)グループ	未登録

戻る カテゴリ選択画面へ戻ります。

- ③ 優先順位(右画面であれば、『1』又は『2』)を入力して、『確認』をクリックします。優先順位には、数値のみ入力可能です。

事前登録

カテゴリ 全学共通科目(選必)

科目グループ 全学共通科目(選必)グループ

科目の優先順位を1件以上2件まで入力してください

全学共通科目(選必)グループ

優先順位	時間割コード	科目名	担当	曜日	時間	定員	申込者数	申込人数(第1希望)	備考
	131503	経済史総論	大分 花子	火6, 火7	3	0	8		
	131505	労働法	大分 次郎	火6, 火7	3	0	1		

確認 入力内容をチェックし、事前登録画面へ移動します

戻る この科目グループに登録されている事前登録情報を全て削除し、科目グループ選択画面に戻ります。

キャンセル 画面の入力を初期状態に戻します

- ④ 内容を確認後、『登録』をクリックします。一つ前の画面に戻る場合は、『戻る』をクリックします。

※事前登録期間内であれば、登録内容の変更が可能です。変更する場合は、「(2)事前登録科目の削除」(下記参照)から削除し、再度「(1)事前登録」の①から④の手順で登録を行います。

事前登録/登録確認

科目の優先順位に間違いがあれば「登録」ボタンを押してください  
優先順位を変更する場合は「戻る」ボタンで事前登録画面へ戻ってください

全学共通科目(選必)グループ

優先順位	時間割コード	科目名	担当教員	曜日	時間	定員	申込者数	申込人数(第1希望)	備考
1	131503	経済史総論	大分 花子	火6, 火7	3	0	8		
2	131505	労働法	大分 次郎	火6, 火7	3	0	1		

登録 事前登録を行います

戻る 事前登録画面へ戻ります

## (2) 事前登録科目の削除

- ① 「(1)事前登録の①・②と同じ手順で、削除したい授業科目の『カテゴリ』及び『科目グループ』を選択します。

事前登録/カテゴリ選択

学生氏名 大分 太郎

学生所属 人文学部

登録期間 2012/11/01 00:00 から 2012/11/30 00:00

登録科目 1回 経済・学級 2012年度 後期

事前登録を行う授業科目を選択してください

全学共通科目(選必)グループ

全学共通科目(選必)グループ

事前登録を行う科目グループを選択して下さい

科目グループ	状態
全学共通科目(選必)グループ	未登録

戻る カテゴリ選択画面へ戻ります。

- ② 既に登録した授業科目が表示されるので、『削除』をクリックすると、表示されている授業科目が全て削除されます。

事前登録

カテゴリ 全学共通科目(選必)

科目グループ 全学共通科目(選必)グループ

科目の優先順位を1件以上2件まで入力してください

全学共通科目(選必)グループ

優先順位	時間割コード	科目名	担当	曜日	時間	定員	申込者数	申込人数(第1希望)	備考
	131503	経済史総論	大分 花子	火6, 火7	3	0	8		
	131505	労働法	大分 次郎	火6, 火7	3	0	1		

確認 入力内容をチェックし、事前登録画面へ移動します

削除 この科目グループに登録されている事前登録情報を全て削除し、科目グループ選択画面に戻ります。

キャンセル 画面の入力を初期状態に戻します

ヘルン・システム利用の手引き(学生版)  
令和2(2020)年度

令和2年3月発行  
発行 国立大学法人富山大学学務部学務課  
〒930-8555 富山市五福3190  
E-mail:j-gakumu@adm.u-toyama.ac.jp  
TEL 076-445-6122  
FAX 076-445-6034

